

小学校・中学校

# 多様な教育課題に対応した カリキュラムモデル

平成 27 年 9 月

東京都教職員研修センター

## はじめに

近年、グローバル化や情報化など社会の進展に伴い、子供たちには、変化の激しい社会においてたくましく生き抜く力を育成していくことが求められており、なかでもそのような社会の進展の中で発生する様々な問題に対応する教育・指導の必要性が叫ばれている現状があります。

こうしたことから、学校教育には、ICT教育、環境教育、キャリア教育、食育等といった社会の要請による多様な教育課題への対応が求められてきました。

また、平成27年6月には、改正公職選挙法が成立し、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられたことを受け、主権者としての自覚と社会参画の力を育てるために、主権者教育の重要性が指摘されています。

このような社会からの要請による教育課題への対応は、今後も一層、学校教育に求められてくるものと考えます。

現在でも各学校では、様々な教育課題の解決に向けて、着実な実践が行われておりますが、一方で、今後、ますます広がりを見せる多様な教育課題への対応を考えると、各学校が学習指導要領に定められた内容の範囲で、しかも限られた時間内に、個々の教育課題を十分に取り扱うことが困難になってきていることも事実だと思えます。

こうした問題を解決するには、児童・生徒に育成すべき資質・能力を明確にした上で、多様な教育課題を分析・整理し、効果的・効率的な教育課程を編成・実施していくことが不可欠であると考え、東京都教職員研修センターでは、「多様な教育課題に対応したカリキュラムモデル」を研究・開発し、本指導資料にまとめました。

各学校や教育委員会におかれましては、多様な教育課題と現在実践している教育活動との関連を再確認し、それらに対応した特色ある教育課程を適切に編成・実施するために、本指導資料を役立ててくださるようお願いいたします。

平成27年9月

東京都教職員研修センター所長  
金子一彦



# 目次

はじめに

## 第1章

### 学校教育における多様な教育課題に対応するための基本的な考え方

- |   |                      |   |
|---|----------------------|---|
| 1 | 社会的な要請による多様な教育課題への対応 | 6 |
| 2 | 多様な教育課題への対応の基本的な考え方  | 8 |

## 第2章

### 多様な教育課題に対応した【学校必修】として扱っている指導計画例

- |   |                            |    |
|---|----------------------------|----|
| 1 | 【学校必修】として扱っている各教科等の年間指導計画例 | 16 |
| 2 | 【学校必修】として扱っている単元の指導計画例     | 18 |

### 小学校

- |   |             |          |                 |    |
|---|-------------|----------|-----------------|----|
| 1 | 【健康教育】第6学年  | 体育〔保健領域〕 | 病気の予防           | 20 |
| 2 | 【租税教育】第6学年  | 社会       | 私たちの願いを実現する政治   | 21 |
| 3 | 【主権者教育】第6学年 | 社会       | 私たちの暮らしを守る日本国憲法 | 22 |

### 中学校

- |   |             |           |                  |    |
|---|-------------|-----------|------------------|----|
| 4 | 【主権者教育】第3学年 | 社会〔歴史的分野〕 | 大正デモクラシーと政党内閣の成立 | 23 |
| 5 | 【租税教育】第3学年  | 社会〔公民的分野〕 | 私たちの生活と社会保障      | 24 |
| 6 | 【租税教育】第3学年  | 社会〔公民的分野〕 | これからの日本の財政と納税    | 25 |
| 7 | 【主権者教育】第3学年 | 社会〔公民的分野〕 | 住民としての地方の政治      | 26 |
| 8 | 【主権者教育】第3学年 | 社会〔公民的分野〕 | 現代の民主政治          | 27 |

## 第3章

### 多様な教育課題に対応した【学校選択】として扱う指導計画例

- |   |                             |    |
|---|-----------------------------|----|
| 1 | 総合的な学習の時間のカリキュラムモデルの基本的な考え方 | 30 |
| 2 | 総合的な学習の時間のカリキュラムモデルの活用      | 42 |

## カリキュラム市民

- |         |    |
|---------|----|
| 年間指導計画例 | 44 |
|---------|----|

### 小学校

- |   |      |               |    |
|---|------|---------------|----|
| 1 | 第3学年 | みんなにやさしい町     | 46 |
| 2 | 第4学年 | 地域で働く人に学ぼう    | 48 |
| 3 | 第5学年 | 私たちにかかるお金はいくら | 50 |
| 4 | 第5学年 | 最上級生になるには     | 52 |
| 5 | 第6学年 | 1年生に教えてあげよう   | 54 |
| 6 | 第6学年 | 中学校生活を体験しよう   | 56 |
| 7 | 第6学年 | これからの自分の暮らし   | 58 |

## 中学校

|    |      |                 |    |
|----|------|-----------------|----|
| 8  | 第1学年 | 輝く中学生を目指して      | 60 |
| 9  | 第1学年 | 将来の町づくりのために     | 62 |
| 10 | 第1学年 | 10年後の私          | 64 |
| 11 | 第2学年 | 自己実現を目指して       | 66 |
| 12 | 第2学年 | 賢い消費者になろう       | 68 |
| 13 | 第2学年 | ボランティアのすすめ      | 70 |
| 14 | 第3学年 | もし学校が避難所になったら   | 72 |
| 15 | 第3学年 | 自分に合った進路選択を目指して | 74 |
| 16 | 第3学年 | 20年後の私・未来の創造    | 76 |

## カリキュラム国際

|         |    |
|---------|----|
| 年間指導計画例 | 78 |
|---------|----|

## 小学校

|   |      |                       |    |
|---|------|-----------------------|----|
| 1 | 第3学年 | 地域の伝統的な文化を調べよう        | 80 |
| 2 | 第4学年 | 世界の国々の生活・文化ガイドブックを作ろう | 82 |
| 3 | 第5学年 | 日本の世界遺産を調べよう          | 84 |
| 4 | 第6学年 | 世界に広げよう おもてなしの心       | 86 |

## 中学校

|   |      |                   |    |
|---|------|-------------------|----|
| 5 | 第1学年 | 世界の仲間と共に生きる町を目指して | 88 |
| 6 | 第2学年 | 発見！ 地域の宝          | 90 |
| 7 | 第3学年 | 日本の伝統文化の価値を考えよう   | 92 |
| 8 | 第3学年 | 国際社会に生きる私たち       | 94 |

## カリキュラム環境

|         |    |
|---------|----|
| 年間指導計画例 | 96 |
|---------|----|

## 小学校

|   |      |                  |     |
|---|------|------------------|-----|
| 1 | 第3学年 | 緑のカーテンを作ろう       | 98  |
| 2 | 第4学年 | ごみの減量化プロジェクトをしよう | 100 |
| 3 | 第5学年 | 米作りからのおくり物       | 102 |
| 4 | 第6学年 | 自然の宝庫、私たちの多摩川    | 104 |

## 中学校

|   |      |                   |     |
|---|------|-------------------|-----|
| 5 | 第1学年 | 移動教室で訪れる地域の食文化を学ぶ | 106 |
| 6 | 第1学年 | 減らそう、学校の「もったいない」  | 108 |
| 7 | 第2学年 | 学校ビオトープを作ろう       | 110 |
| 8 | 第3学年 | 身近な環境について調査研究をしよう | 112 |
| 9 | 第3学年 | 地球のことを考えた私たちの生活   | 114 |

※各学校の教育課程の編成における本カリキュラムモデルの活用のポイント — 116

※「カリキュラム市民」「カリキュラム国際」「カリキュラム環境」を  
配置した年間指導計画例 — 118

## 第1章

# 学校教育における多様な教育課題に 対応するための基本的な考え方

## 1 社会的な要請による多様な教育課題への対応

### (1) 学校教育における現状と課題

学校教育には、時代の進展に伴い、多様な教育課題への対応が求められてきました。

例えば、高度経済成長により大気汚染や水質汚濁などの公害問題が生じて環境が悪化すると環境教育の指導が求められ、昭和43年告示の小学校学習指導要領社会において、「産業による公害」といった内容が位置付けられました。同様に、昭和44年告示の中学校学習指導要領社会においては、「公害の防除」といった内容が位置付けられました。

また、国民の食生活をめぐる環境が大きく変化するようになると、栄養の偏り、不規則な食事、肥満や生活習慣病の増加、食材の海外への依存、伝統的な食文化の危機、食の安全等、様々な問題が顕在化しました。そのため、平成17年に食育基本法が制定され、その基本的施策に学校における食育の推進が位置付けられ、学校の教育活動全体を通じて食育の指導が求められるようになりました。さらに近年、情報化社会の進展に伴い、情報手段を適切に活用する能力や態度、判断力の育成が求められ、平成20年告示の小学校及び中学校学習指導要領総則において、「情報モラルを身に付け、適切に活用できるようにするための学習活動を充実すること」といった内容が位置付けられました。

こうしたことは、環境教育、食育、情報モラル教育に限ったことではありません。キャリア教育、法教育、消費者教育等においても同様で、時代の進展に伴う教育課題として社会的な要請が生まれ、学習指導要領に関連する内容が位置付けられたり、既に学習指導要領に位置付けられている内容に関連させたりして実践することが求められてきました。

では、学校は、こうした多様な教育課題にどのように対応しているのでしょうか。各学校では、教育課程の編成の際に、「学校教育目標を達成するための基本方針」や「指導の重点」などに多様な教育課題への対応を位置付け、各教科等の指導の中で実践しています。しかしながら、教育課題が増大するあまり、一つ一つの教育課題を十分に取り扱うことが難しくなっている状況もあると指摘されています。

このようなことから、今、学校教育に求められているのは、多様な教育課題への対応についての基本的な考え方を整理して効果的・効率的な教育課程を適切に編成し、児童・生徒に「育てたい資質・能力」をいかに身に付けさせることができるかということです。

## (2) 学校教育に求められる多様な教育課題

社会的な要請により、例えば、次のような多様な教育課題が、教育行政をはじめとする多くの行政分野、産業界、関係組織・団体により提唱され、学校教育に対応が求められてきました。

### 【教育課題の例】

キャリア教育 シティズンシップ教育 主権者教育 消費者教育 国際教育 食育  
 金融教育（金銭教育） 租税教育 住教育 法教育 福祉教育 いじめ防止教育  
 日本の伝統・文化理解教育 環境教育 森林環境教育 安全教育 防災教育  
 再生可能エネルギー教育 持続可能な開発のための教育（E S D） 薬物乱用防止教育  
 放射線に関する教育 健康教育 性教育 海洋教育 情報モラル教育  
 I C T教育 メディアリテラシー教育 情操教育 等

そして、このような多様な教育課題に対応するために、国や東京都、関係組織・団体から、例えば、次のような指導資料等が学校に配布されています。

| 教育課題                     | 指導資料等   |
|--------------------------|---|
| キャリア教育                   | 「小学校（中学校）キャリア教育の手引き」文部科学省                       |
| 消費者教育                    | 「契約ってなんだろう？」東京都消費生活総合センターホームページ                 |
| 食育                       | 「食に関する指導資料集」東京都教育委員会                            |
| 金融教育（金銭教育）               | 「金融教育プログラムー社会の中で生きる力を育む授業とはー」<br>金融広報中央委員会      |
| 租税教育                     | 「わたしたちの暮らしと税」国税庁ホームページ                          |
| 法教育                      | 「法」に関する教育カリキュラム」東京都教育委員会                        |
| 福祉教育                     | 「学校における福祉教育ハンドブック」全国社会福祉協議会                     |
| いじめ防止教育                  | 「いじめ問題に対応できる力を育てるためにーいじめ防止教育プログラムー」<br>東京都教育委員会 |
| 日本の伝統・文化理解教育             | 「日本の伝統・文化理解教育指導資料」東京都教育委員会                      |
| 環境教育                     | 「環境教育カリキュラム」東京都教育委員会                            |
| 森林環境教育                   | 「森林環境教育手引書（小学校編）」近畿中国森林管理局                      |
| 安全教育                     | 「安全教育プログラム」東京都教育委員会                             |
| 防災教育                     | 「安全教育プログラム」「3.11を忘れない」東京都教育委員会                  |
| 再生可能エネルギー教育              | 「エネルギー環境教育ガイドライン」新・エネルギー環境教育情報センター              |
| 持続可能な開発の<br>ための教育（E S D） | 「学校における持続可能な開発のための教育に関する研究」<br>国立教育政策研究所        |
| 放射線に関する教育                | 「小学生（中学生・高校生）のための放射線副読本」文部科学省                   |
| 性教育                      | 「性教育の手引」東京都教育委員会                                |
| 情報モラル教育                  | 「情報モラル教育実践ガイダンス」国立教育政策研究所                       |
| I C T教育                  | 「教育の情報化に関する手引」文部科学省                             |



## 2 多様な教育課題への対応の基本的な考え方

### (1) 多様な教育課題と学習指導要領に示されている各教科等の内容との関連

学校教育において、多様な教育課題の指導は、学習指導要領に示されている各教科等の内容と関連させながら、横断的・総合的に取り組んでいます。

例えば、多様な教育課題の指導に関する内容が、学習指導要領に示されている各教科等のどの内容と関連しているのかについて示すと次のようになります。

**【例1】シティズンシップ教育……社会において自己実現を図るとともに、よりよい社会の実現に向けて、個人としての権利と義務を行使し、様々な関係者と積極的に関わるために必要な資質や能力を養う。**

| 校種  | 学年 | 教科等                                  | 指導項目・単元名 (扱う時数の例/標準授業時数)              | シティズンシップ教育に関する学習指導要領に示されている内容 (扱う時数の例)                   |
|-----|----|--------------------------------------|---------------------------------------|--|
| 小学校 | 1年 | 道徳                                   | 規則の尊重・公德心 (1/34)<br>公正・公平・社会正義 (1/34) | 規則の尊重 (1)<br>公正・公平・社会正義 (1)                              |
|     | 2年 | 道徳                                   | 規則の尊重・公德心 (1/35)<br>公正・公平・社会正義 (1/35) | 規則の尊重 (1)<br>公正・公平・社会正義 (1)                              |
|     | 3年 | 道徳                                   | 規則の尊重・公德心 (1/35)<br>公正・公平・社会正義 (1/35) | 規則の尊重 (1)<br>公正・公平・社会正義 (1)                              |
|     | 4年 | 道徳                                   | 規則の尊重・公德心 (1/35)<br>公正・公平・社会正義 (1/35) | 規則の尊重 (1)<br>公正・公平・社会正義 (1)                              |
|     | 5年 | 道徳                                   | 規則の尊重 (1/35)<br>公正・公平・社会正義 (1/35)     | 規則の尊重 (1)<br>公正・公平・社会正義 (1)                              |
|     |    | 家庭                                   | 身近な消費生活と環境 (10/60)                    | 物や金銭の使い方と買い物 (7)   |
|     | 6年 | 道徳                                   | 規則の尊重 (1/35)<br>公正・公平・社会正義 (1/35)     | 規則の尊重 (1)<br>公正・公平・社会正義 (1)                              |
|     |    | 社会                                   | 我が国の政治の働き (16/105)                    | 市の政治 (3) 税金の働き (1)<br>国会・内閣・裁判所の働き (3)<br>市の政治と日本国憲法 (5) |
| 中学校 | 1年 | 道徳                                   | 遵法精神・公德心 (1/35)<br>社会参画・公共の精神 (1/35)  | 遵法精神・公德心 (1)<br>社会参画・公共の精神 (1)                           |
|     | 2年 | 技術・家庭                                | 身近な家庭生活と消費 (6/70)                     | 消費者の基本的な権利と責任 (2)  |
|     |    | 道徳                                   | 遵法精神・公德心 (1/35)<br>社会参画・公共の精神 (1/35)  | 遵法精神・公德心 (1)<br>社会参画・公共の精神 (1)                           |
|     | 3年 | 社会                                   | 現代社会をとらえる見方や考え方 (6/140)               | 合意形成 きまりの意義 (3)  |
| 道徳  |    | 遵法精神・公德心 (1/35)<br>社会参画・公共の精神 (1/35) | 遵法精神・公德心 (1)<br>社会参画・公共の精神 (1)        |  |

【例2】環境教育……人間と環境との関わりについての正しい認識に立ち、持続可能な社会づくりに主体的に参画できる人材を育成する。

| 校種  | 学年 | 教科等                                | 指導項目・単元名 (扱う時数の例/標準授業時数)           | 環境教育に関する学習指導要領に示されている内容 (扱う時数の例)                       |                             |
|-----|----|------------------------------------|------------------------------------|--|-----------------------------|
| 小学校 | 1年 | 生活                                 | 身近な自然の観察 (14/102)                  | 四季の変化 (14)   |                             |
|     |    |                                    | 身近な自然の利用 (19/102)                  | 遊びに使う物の工夫 (6)  |                             |
|     |    |                                    | 動物の飼育及び植物の栽培 (13/102)              | 植物の栽培 (7) 動物の飼育 (6)                                    |                             |
|     | 2年 | 生活                                 | 身近な自然の観察 (3/105)                   | 四季の変化 (3)  |                             |
|     |    |                                    | 身近な自然の利用 (6/105)                   | 遊びに使う物の工夫 (6)  |                             |
|     |    |                                    | 動物の飼育及び植物の栽培 (18/105)              | 植物の栽培 (9) 動物の飼育 (9)                                    |                             |
|     | 3年 | 理科                                 | 生命・地球 身近な自然の観察 (10/90)             | 周辺的环境とのかかわり (4)  |                             |
|     |    |                                    | 生命・地球 昆虫と植物 (23/90)                | 成長の過程や体のつくり (23)                                       |                             |
|     |    |                                    | 自然愛護 (1/35)                        | 自然愛護 (1)   |                             |
|     | 4年 | 社会                                 | 飲料水の確保 (12/90)                     | 水源林の役割 (2)<br>川の環境を守る活動 (2)                            |                             |
|     |    |                                    | 廃棄物の処理 (14/90)                     | ごみ処理やリサイクル (8)<br>ごみを減らす取組 (2)                         |                             |
|     |    |                                    | 自然愛護 (1/35)                        | 自然愛護 (1)   |                             |
| 5年  | 社会 | 我が国の国土の自然などの様子 (34/100)            | 森林の役割 (5) 環境を守る活動 (4)              |  |                             |
|     |    | 身近な消費生活と環境<br>環境に配慮した生活の工夫 (8/60)  | 身近な環境とのかかわり (1)                    |  |                             |
|     |    | 自然愛護 (1/35)                        | 自然愛護 (1)                           |  |                             |
| 6年  | 理科 | 生物と環境 (14/105)                     | 生き物の暮らしと環境 (6)<br>人の暮らしと環境 (8)     |  |                             |
|     |    | 身近な消費生活と環境<br>環境に配慮した生活の工夫 (14/55) | 身近な環境とのかかわり (2)                    |  |                             |
|     |    | 自然愛護 (1/35)                        | 自然愛護 (1)                           |  |                             |
| 中学校 | 1年 | 社会                                 | 世界の様々な地域<br>世界の諸地域 (26/105)        | 環境保全に対する意識や政策 (1)                                      |                             |
|     |    |                                    | 自然愛護 (1/35)                        | 自然愛護 (1)   |                             |
|     | 2年 | 社会                                 | 日本の様々な地域<br>日本の諸地域 (34/105)        | 地域における環境保全の取組 (2)                                      |                             |
|     |    |                                    | 生物育成に関する技術<br>生物の育成環境と育成技術 (4/70)  | 生物育成に関する技術の適切な評価と活用 (2)                                |                             |
|     |    |                                    | 身近な消費生活と環境<br>家庭生活と環境 (3/70)       | 環境に配慮した消費生活の工夫 (3)                                     |                             |
|     | 3年 | 理科                                 | 自然愛護 (1/35)                        | 自然愛護 (1)   |                             |
|     |    |                                    | 社会                                 | 私たちと国際社会の諸課題 (14/140)                                  | 地球環境の課題の解決のための経済的、技術的協力 (1) |
|     |    |                                    | 科学技術と人間 (14/140)<br>自然と人間 (20/140) | エネルギー資源 (3)<br>自然環境の調査と環境保全 (5)<br>自然環境の保全と科学技術の利用 (3) |                             |
|     |    |                                    | 自然愛護 (1/35)                        | 自然愛護 (1)   |                             |

【例3】食育……食に関する適切な判断力を養い、生涯にわたって健全な食生活を実現することにより、国民の心身の健康の増進と豊かな人間形成を図る。

| 校種       | 学年 | 教科等 指導項目・単元名 (扱う時数の例/標準授業時数)            | 食育に関する学習指導要領に示されている内容 (扱う時数の例)                         |
|----------|----|---|--|
| 小学校      | 1年 | 特別活動(34)                                | 望ましい食習慣の形成(2)  |
|          | 2年 | 特別活動(35)                                | 望ましい食習慣の形成(2)  |
|          | 3年 | 体育[保健] 健康によい生活(4/105)                   | 食事と健康(1)   |
|          |    | 特別活動(35)                                | 望ましい食習慣の形成(1)  |
|          | 4年 | 体育[保健] 体の発育・発達(4/105)                   | 調和のとれた食事(1)  |
|          |    | 特別活動(35)                                | 望ましい食習慣の形成(1)  |
|          | 5年 | 家庭 日常の食事と調理の基礎<br>栄養を考えた食事(10/60)       | 栄養素の働き(2)  |
|          |    | 特別活動(35)                                | 望ましい食習慣の形成(1)  |
|          | 6年 | 体育[保健] 病気の予防(8/90)                      | 栄養の偏りのない食事(2)  |
|          |    | 家庭 日常の食事と調理の基礎<br>食事の役割、栄養を考えた食事(20/55) | 食事の役割(2) 栄養のバランス(2)<br>献立を考える(3)<br>楽しく食事をするためのマナー(3)  |
| 特別活動(35) |    | 望ましい食習慣の形成(1)                           |  |
| 中学校      | 1年 | 技術・家庭 食生活と自立(29/70)                     | 中学生の食生活と栄養(5)<br>日常食の献立と食品の選び方(9)<br>日常食の調理と地域の食文化(15) |
|          |    | 特別活動(35)                                | 望ましい食習慣の形成(1)  |
|          | 2年 | 特別活動(35)                                | 望ましい食習慣の形成(1)  |
|          | 3年 | 保健体育 健康的な生活と疾病の予防<br>健康の保持増進(5/105)     | 年齢、生活環境等に応じた食事(1)<br>食事の量や質と生活習慣病との関連(1)               |
|          |    | 特別活動(35)                                | 望ましい食習慣の形成(1)  |

【例4】日本の伝統・文化理解教育……国際社会に生きる日本人としての自覚と誇りを養うとともに  
多様な文化を尊重できる態度や資質を育む。

| 校種   | 学年   | 教科等                       | 指導項目・単元名 (扱う時数の例/標準授業時数)                    | 日本の伝統・文化理解教育に関する学習指導要領に示されている内容 (扱う時数の例) |
|------|------|---------------------------|---|--|
| 小学校  | 1年   | 国語                        | 伝統的な言語文化に関する事項(46/306)                      | 昔話(3)                                    |
|      |      | 音楽                        | 鑑賞 我が国のわらべ歌(8/68)                           | 我が国のわらべ歌(8)                              |
|      | 2年   | 国語                        | 伝統的な言語文化に関する事項(39/315)                      | 神話・伝承(2)                                 |
|      |      | 音楽                        | 鑑賞 我が国のわらべ歌(7/70)                           | 我が国のわらべ歌(7)                              |
|      | 3年   | 国語                        | 伝統的な言語文化に関する事項(26/245)                      | 文語調の短歌や俳句(1)                             |
|      |      | 音楽                        | 鑑賞 和楽器の音楽を含めた我が国の音楽(5/60)                   | 和楽器の音楽を含めた我が国の音楽(5)                      |
|      |      | 社会                        | 地域の人々の生活(19/70)                             | 古い道具と昔の暮らし(9)<br>文化財・年中行事(8)             |
|      | 4年   | 国語                        | 伝統的な言語文化に関する事項(26/245)                      | 短歌(2)                                    |
|      |      | 音楽                        | 鑑賞 和楽器の音楽を含めた我が国の音楽(7/60)                   | 和楽器の音楽を含めた我が国の音楽(7)                      |
|      |      | 社会                        | 地域の人々の生活(13/90)                             | 地域の発展に尽くした先人の具体的事例(10)                   |
|      | 5年   | 国語                        | 伝統的な言語文化に関する事項(13/175)                      | 古文(3)                                    |
|      |      | 音楽                        | 鑑賞 和楽器の音楽を含めた我が国の音楽(6/50)                   | 和楽器の音楽を含めた我が国の音楽(6)                      |
| 図画工作 |      | 鑑賞 我が国の親しみのある美術作品(1/50)   | 我が国の美術作品(1)                                 |  |
| 6年   | 国語   | 伝統的な言語文化に関する事項(14/175)    | 漢文(1)                                       |  |
|      | 社会   | 我が国の歴史(72/105)            | 我が国の歴史(先人の業績・文化遺産)(72)                      |  |
|      | 音楽   | 鑑賞 和楽器の音楽を含めた我が国の音楽(6/50) | 和楽器の音楽を含めた我が国の音楽(6)                         |  |
|      | 図画工作 | 鑑賞 我が国の親しみのある美術作品(1/50)   | 我が国の美術作品(1)                                 |  |
| 中学校  | 1年   | 国語                        | 伝統的な言語文化に関する事項(30/140)                      | 様々な種類の古典作品(10)                           |
|      |      | 音楽                        | 表現 我が国の伝統的な歌唱(3/45)<br>鑑賞 我が国や郷土の伝統音楽(3/45) | 我が国の伝統的な歌唱(3)<br>我が国や郷土の伝統音楽(3)          |
|      |      | 美術                        | 鑑賞 日本の文化遺産(4/45)                            | 日本の文化遺産の鑑賞(4)                            |
|      | 2年   | 国語                        | 伝統的な言語文化に関する事項(30/140)                      | 古典を読む(17)                                |
|      |      | 音楽                        | 表現 我が国の伝統的な歌唱(3/45)<br>鑑賞 我が国や郷土の伝統音楽(3/45) | 我が国の伝統的な歌唱(2)<br>我が国や郷土の伝統音楽(3)          |
|      |      | 美術                        | 鑑賞 日本の美術や伝統と文化(2/35)                        | 日本の伝統的な美術(2)                             |
|      | 3年   | 国語                        | 伝統的な言語文化に関する事項(22/140)                      | 古典を読む(9)                                 |
|      |      | 音楽                        | 表現 我が国の伝統的な歌唱(2/35)<br>鑑賞 我が国や郷土の伝統音楽(3/45) | 我が国の伝統的な歌唱(2)<br>我が国や郷土の伝統音楽(3)          |
|      |      | 美術                        | 鑑賞 日本の美術や伝統と文化(6/35)                        | 日本の伝統的な美術(6)                             |

## (2) 多様な教育課題の教育課程上の位置付けの考え方

(1) で述べたように、シティズンシップ教育、食育、環境教育、日本の伝統・文化理解教育等といった多様な教育課題の指導は、学習指導要領に示されている各教科等の内容と関連させて実施することが前提となります。

そのため、多様な教育課題の指導で扱う内容の教育課程上の位置付けについて、【学校必修】と【学校選択】の考え方を示しました。

- 【学校必修】…全ての学校で各教科等の指導において学習する内容
- 【学校選択】…学校の教育活動の特色化を図るための取組に位置付け、【学校必修】で扱う内容を広げたり深めたりして学習する内容

例えば、法教育の趣旨やねらいである、ルールの基本的な考え方や、司法が果たす役割と司法参加の意義を学ぶことについては、小学校学習指導要領社会において、第3・4学年で「社会生活を営む上で大切な法やきまり」、第6学年で「国民の司法参加」といった内容を扱うことになっています。

また、中学校学習指導要領社会においては、公民的分野で「きまりの意義」や「法の意義、法に基づく政治の大切さの理解」、「法に基づく公正な裁判の保障の理解」といった内容を扱うことになっています。

このように、法教育に関する指導は、全ての小学校、中学校において、社会科の通常の授業の中で、【学校必修】として実施しています。

さらに、学校によっては、例えば、社会科において、学習指導要領に示されている内容を発展的に扱って模擬裁判の授業を計画し、弁護士を招へいするといった学習を実施したり、総合的な学習の時間において、「法」について考えを深めるテーマ学習を実施したりしています。これらの法教育に関する指導は、学校の教育活動の特色化を図るための取組として位置付け、【学校選択】として扱うこととなります。

こうしたことから、多様な教育課題の指導に関する【学校必修】と【学校選択】の扱いについての教育課程上の位置付けについては、次のように整理することができます。

- 【学校必修】として位置付ける内容の扱い
  - ・学習指導要領に示されている各教科等の内容のため、“標準授業時数内”の扱いとして位置付ける。
- 【学校選択】として位置付ける内容の扱い
  - ・総合的な学習の時間において、多様な教育課題について特定のテーマを設定して、より広く深く学習する内容のため、“標準授業時数内”の扱いとして位置付ける。
  - ・学習指導要領に示されている各教科等の内容における特定の項目について発展的に指導する内容のため、いわゆる標準授業時数に上乗せした授業時数を用いて実施することから、“標準授業時数外”の扱いとして位置付ける。

【多様な教育課題の教育課程上の位置付けの考え方】

※学校における「多様な教育課題」の扱いは、学習指導要領に示されている各教科等の内容と関連させて実施するため、全ての学校で実施している。

**【学校必修】** 全ての学校で、各教科等の指導において学習する内容

**【学校選択】**

学校の教育活動の特色化を図るための取組として、【学校必修】で扱う内容を広げたり深めたりして学習する内容

(例) 「法教育」

**【学校必修】** 「社会科」の授業で、「法教育」に関する学習内容

**【学校選択】**

「法」について考えを深めるテーマ学習  
 模擬裁判の授業で弁護士を招へいして行う学習

【教育課程上の位置付け】

標準授業時数内

**【学校必修】** 「法教育」の趣旨やねらいを踏まえて、「社会科」で指導

**【学校選択】**

「総合的な学習の時間」に、特定のテーマを設定して広く深く学ばせるなど計画的な指導を実施

**【学校選択】**

標準授業時数外

「標準授業時数に上乗せした授業時数」を用いて、特定の項目についての発展的な指導を実施



## 第2章

### 多様な教育課題に対応した 【学校必修】として扱っている指導計画例



# 1 【学校必修】として扱っている各教科等の年間指導計画例

ここでは、多様な教育課題について、【学校必修】として各教科等のどのような内容を、どの学年で、どの時期に扱っているのかを示した年間指導計画例を掲載します。

| 学年          |      | 4月   | 5月 | 6月 | 7月  | 8月 |
|-------------|------|--|----|----|---|----|
| 小<br>学<br>校 | 第1学年 | <b>〈植物の栽培や動物の飼育と生命尊重〉●環境教育</b><br>【必修】○生活「四季の変化」「遊びに使う物の工夫」「植物の栽培」「動物の飼育」<br>○道徳「自然愛護」   |    |    |   |    |
|             | 第2学年 | <b>〈町の人々に学ぶ〉●シティズンシップ教育●法教育●キャリア教育</b><br>【必修】○生活「校外学習におけるルール」「地域で生活したり、働いたりしている人々」<br>○道徳「規則の尊重」「公正・公平・社会正義」<br>○特活「学級や学校の生活づくり」                                      |    |    |   |    |
|             | 第3学年 | <b>〈夏の過ごし方を通して環境問題を考える〉●環境教育●再生可能エネルギー教育●持続可能な開発のための教育(ESD)●ICT教育</b><br>【必修】○国語「説明や報告の発表」<br>○理科「生物とその周辺の環境とのかかわり」「成長の過程や体のづくり」「風の働き」「光の性質」<br>○道徳「自然愛護」              |    |    |   |    |
|             | 第4学年 |  |    |    |   |    |
|             | 第5学年 | <b>〈自然の恵みに感謝する〉●環境教育●持続可能な開発のための教育(ESD)●森林環境教育●ICT教育</b><br>【必修】○社会「水産資源の保護・育成」「食料生産と国民の食生活」「森林の役割」<br>○家庭「身近な環境とのかかわり」「物の使い方の工夫」<br>○道徳「自然愛護」                         |    |    |   |    |
|             | 第6学年 |  |    |    | <b>〈中学校生活への希望〉●キャリア教育●シティズンシップ教育</b><br>【必修】○体育(保健)「 <b>病気の予防</b> 」<br>○道徳「規則の尊重」「公正・公平・社会正義」<br>○特活「健康で安全な生活態度の育成」 |    |
| 中<br>学<br>校 | 第1学年 | <b>〈自然や風土が育む食文化〉●食育●環境教育●メディアリテラシー教育</b><br>【必修】○国語「目的に応じた情報選択」<br>○社会「環境保全に対する意識や政策」<br>○技術・家庭「日常食の調理と地域の食文化」<br>○道徳「自然愛護」 ○特活「望ましい食習慣の形成」                            |    |    |   |    |
|             | 第2学年 | <b>〈職場体験を通して自分の生き方を考える〉●キャリア教育●シティズンシップ教育●消費者教育●金融教育(金銭教育)</b><br>【必修】○技術・家庭「消費者の基本的な権利と責任」「家庭生活と消費」<br>○道徳「遵法精神・公德心」「社会参画・公共の精神」<br>○特活「学ぶことと働くことの意義」「望ましい勤労観・職業観の形成」 |    |    |   |    |
|             | 第3学年 | <b>〈社会参画に向けて〉●防災教育●安全教育●シティズンシップ教育●主権者教育</b><br>【必修】○社会「 <b>大正デモクラシーと政党内閣の成立</b> 」<br>○道徳「遵法精神・公德心」「生命の尊さ」「社会参画・公共の精神」<br>○特活「安全な生活態度や習慣」                              |    |    |   |    |

※表中の教育課題で、●主権者教育 のように示している所は、対応する下の「大正デモクラシーと政党内閣の成立」の単元を、本章の「【学校必修】として扱っている単元の指導計画例」で取り上げている。

※【必修】→【学校必修】、【選択】→【学校選択】、特活→特別活動

第2章 多様な教育課題に対応した【学校必修】として扱っている指導計画例



第1章の2(2)で述べたように、キャリア教育、シティズンシップ教育、法教育、食育、環境教育、主権者教育、租税教育等といった多様な教育課題は、学習指導要領に示されている各教科等の内容と関連付けて取り組むため、【学校必修】として、全ての学校で各教科等の指導において実施しています。

そのため、学校教育に求められる多様な教育課題への対応については、各教育課題の趣旨やねらいを意識しながら指導すれば、【学校必修】として扱っている各教科等の内容をもって解決することができます。

例えば、現在、社会的な課題として、「少子高齢社会における問題への対応」や「改正公職選挙法の成立に伴う選挙権年齢を18歳以上に引き下げることへの対応」などが話題となっていますが、それらに関する内容については、以下の表にあるように、小学校及び中学校の学習指導要領に位置付いており、“標準授業時数内”で指導することになっています。

本章では、主権者教育や租税教育、健康教育と関連のある【学校必修】として扱っている単元の指導計画例を掲載しています。

各学校においては、この単元の指導計画例を参考に、扱う教育課題の趣旨やねらいとの関連を図り、本時のテーマを明確にして意図的・計画的に指導していくことが求められます。

### ＜【学校必修】として扱っている小学校の単元の指導計画例＞

|  |  |
|--|--|
| <p><b>【教育課題】</b></p> <p>○健康教育</p> <p>・健康問題を解決するために、健康的な生活習慣と実践化に向けた態度の育成</p> | <p><b>【体育〔保健領域〕】</b>＜小学校・第6学年＞</p> <p>◆単元名<br/>「病気の予防」</p> <p>☆本時のテーマ<br/>「少子高齢社会の中で、健康寿命を延ばすにはどうしたらよいか。」</p>    |
| <p><b>【教育課題】</b></p> <p>○租税教育</p> <p>・納税者として社会や国の在り方を主体的に考える国民の育成</p>        | <p><b>【社会】</b>　　＜小学校・第6学年＞</p> <p>◆単元名<br/>「私たちの願いを実現する政治」</p> <p>☆本時のテーマ<br/>「将来、納税者としてどのように社会に関わっていくのか。」</p>   |
| <p><b>【教育課題】</b></p> <p>○主権者教育</p> <p>・主権者としての自覚と社会参画の力の育成</p>               | <p><b>【社会】</b>　　＜小学校・第6学年＞</p> <p>◆単元名<br/>「私たちの暮らしを守る日本国憲法」</p> <p>☆本時のテーマ<br/>「将来、主権者としてどのように政治に参加していくのか。」</p> |

＜【学校必修】として扱っている中学校の単元の指導計画例＞

|   |   |
|---|---|
| <p><b>【教育課題】</b></p> <p>○主権者教育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主権者としての自覚と社会参画の力の育成</li> </ul> | <p><b>【社会〔歴史的分野〕】＜中学校・第3学年＞</b></p> <p>◆単元名<br/>「大正デモクラシーと政党内閣の成立」</p> <p>☆本時のテーマ<br/>「日本では、どのようにして普通選挙権が実現したのか。」</p> |
|---|---|

|  |  |
|--|--|
| <p><b>【教育課題】</b></p> <p>○租税教育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・納税者として社会や国の在り方を主体的に考える国民の育成</li> </ul> | <p><b>【社会〔公民的分野〕】＜中学校・第3学年＞</b></p> <p>◆単元名<br/>「私たちの生活と社会保障」</p> <p>☆本時のテーマ<br/>「国民皆保険制度とは、どのようなものか。」</p> |
|--|--|

|  |   |
|--|---|
| <p><b>【教育課題】</b></p> <p>○租税教育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・納税者として社会や国の在り方を主体的に考える国民の育成</li> </ul> | <p><b>【社会〔公民的分野〕】＜中学校・第3学年＞</b></p> <p>◆単元名<br/>「これからの日本の財政と納税」</p> <p>☆本時の主題<br/>「どんどん伸びていく社会保障関係費（医療費）をどうするのか。」</p> |
|--|---|

|   |   |
|---|---|
| <p><b>【教育課題】</b></p> <p>○主権者教育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主権者としての自覚と社会参画の力の育成</li> </ul> | <p><b>【社会〔公民的分野〕】＜中学校・第3学年＞</b></p> <p>◆単元名<br/>「住民としての地方の政治」</p> <p>☆本時のテーマ<br/>「将来の主権者として、住民自治への参画についてどのように考えていけばよいのか。」</p> |
|---|---|

|   |   |
|---|---|
| <p><b>【教育課題】</b></p> <p>○主権者教育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主権者としての自覚と社会参画の力の育成</li> </ul> | <p><b>【社会〔公民的分野〕】＜中学校・第3学年＞</b></p> <p>◆単元名<br/>「現代の民主政治」</p> <p>☆本時のテーマ<br/>「将来、主権者としてどのように政治に参加していくのか。」</p> |
|---|---|

## 第6学年 体育〔保健領域〕 「病気の予防」(8時間)

### 1 単元の目標

- ① 病気は、病原体、体の抵抗力、生活行動、環境などが関わり合って起こることを理解する。
- ② 感染症の予防には、病原体の発生源をなくすこと、病原体が体に入ることを防ぎ、うつる道筋を断ち切ること、病原体に対する体の抵抗力を高めることが必要なことや、生活習慣病の予防には、栄養に偏りのない食事や口腔の衛生など、健康によい生活習慣を身に付ける必要があることを理解する。
- ③ 喫煙や飲酒、薬物乱用などの行為は、健康を損なう原因となることを理解する。

### 2 単元の指導計画

- |                           |                |               |
|---------------------------|----------------|---------------|
| (1) 病気の起こり方               | (4) 生活習慣病の予防-② | (7) 薬物乱用の害と健康 |
| (2) 感染症の予防                | (5) 喫煙の害と健康    | (8) 地域の保健活動   |
| (3) <b>生活習慣病の予防-①(本時)</b> | (6) 飲酒の害と健康    |               |

### 3 本時の指導計画

- (1) 本時のねらい
  - ・生活習慣病の原因や体への影響について知り、予防のためには食事や運動などのよい生活習慣を身に付ける必要があることを理解する。
- (2) 健康教育との関連
  - ・少子高齢社会にあつて、健康寿命を延ばすことの重要性が求められているため、生活習慣病の予防に関する学習を通して、生涯にわたり心身の健康を保持増進するために必要な能力の基礎を育てる。
- (3) 本時のテーマ

**少子高齢社会の中で、健康寿命を延ばすにはどうしたらよいか。**

#### (4) 本時の展開

| 主な学習活動・内容   | ★健康教育との関連で<br>評価する視点  | 指導上の留意点  |
|---|---|--|
| 1 生活の仕方が関係して起こる生活習慣病について知っていることを発表する。<br>・心臓病 ・糖尿病 ・高血圧 等<br>2 生活習慣病が身体や周りの人へ与える影響について考える。<br>・生命の危機 ・身体の障害<br>・リハビリテーション ・介護生活 等<br>3 健康寿命とそれを延ばすことの大切さを知る。<br>・支障なく日常生活を送ることの意義<br>4 生活習慣病の起こり方とその原因を調べる。<br>・心臓や脳の血管が硬くなったり狭くなったりする。<br>・不規則な生活 ・偏った食事 ・運動不足 等<br>5 生活習慣病を未然に防いで、生涯にわたって健康に過ごすためには、どのようにすればよいか話し合う。<br>・適度な運動 ・バランスのよい食事 等 | ★健康寿命とそれを延ばすことの大切さを理解している。<br><br>★将来の社会を支える一員として、生活習慣病の予防に向けて自分ができることを考えている。 | ・生活習慣病で亡くなる人だけではなく、健康状況が悪化する人もいることに気付かせるとともに、健康寿命を延ばすことの意義について伝える。<br>・一度、身に付いた生活習慣は変えにくいので、今からの行動が大切になることを助言する。 |

## 第6学年 社会

# 「私たちの願いを実現する政治」(8時間)

### 1 単元の目標

- ① 区市町村や都道府県、国による社会保障制度は、地方公共団体や国の政治の働きによるものであることを調べ、政治は国民生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることを考える。
- ② 身近な社会保障制度の具体的事例について調査したり資料を活用したりして調べ、地方公共団体や国の政治の働きと国民生活との関わりについて考える。

### 2 単元の指導計画

- (1) 高齢者福祉施設と私たちの暮らし (4) 区の政治の働き (7) 内閣や裁判所の働き  
 (2) 区の福祉政策と介護保険サービス (5) **社会保障制度と税金(本時)** (8) 国民生活と政治  
 (3) 私たちの暮らしと介護保険制度 (6) 国会の働き

### 3 本時の指導計画

- (1) 本時のねらい
- ・介護保険サービスと私たちが納める税金や介護保険料との関係について理解し、社会保障制度と自分との関わり方について考える。
- (2) 租税教育との関連
- ・地方公共団体や国の政治の働きにおける租税の役割を正しく理解し、国や社会の在り方を主体的に考えることを通して、納税者としての意識を養う。

(3) 本時のテーマ

**将来、納税者としてどのように社会に関わっていくのか。**

(4) 本時の展開

| 主な学習活動・内容  | ★租税教育との関連で評価する視点  | 指導上の留意点  |
|--|---|--|
| 1 介護保険制度に関わる費用について調べる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平均寿命の延伸と高齢者の人口増加</li> <li>・介護保険の総費用の推移</li> <li>・介護保険制度を支える財源</li> </ul> 2 介護保険制度との関わりを給付と負担の視点から考え、話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・税金や40～64歳の人たちが納める介護保険料によって、介護保険制度は成り立っている。</li> <li>・介護保険制度は、世代と世代の支え合いによって成り立っている。</li> </ul> 3 税金や介護保険料を納めることの大切さについて考え、自分が将来どのように関わっていくかについて話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の将来や社会のためにも働いて、税金や保険料を納めていきたい。等</li> </ul> | ★納税や介護保険料の納付の大切さについて考えている。<br><br>★将来の納税者として、社会保障制度への関わり方について考えている。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の年齢別人口構成や平均寿命の変化などから、高齢者への福祉政策の重要性に気付かせる。</li> <li>・社会保障により助け合いの仕組みが成り立っていることについて考えさせるようにする。</li> <li>・納税は国民の義務の一つであることを押さえる。</li> </ul> |

## 第6学年 社会

# 「私たちの暮らしを守る日本国憲法」(7時間)

### 1 単元の目標

- ① 日本国憲法には、国家としての理想、天皇の地位、国民としての権利及び義務など国民生活にとって大切なことが定められていることを調べ、我が国の民主政治が日本国憲法の考え方に基づいていることを理解する。
- ② 日本国憲法の基本的な考え方に結び付く日常生活の具体的な事象を調査したり資料を活用したりして調べ、国民の権利と義務の行使について考える。

### 2 単元の指導計画

- |                    |                        |                  |
|--------------------|------------------------|------------------|
| (1) 身近な政治と日本国憲法    | (4) <b>国民主権と政治(本時)</b> | (7) 憲法の精神の実現に向けて |
| (2) 日本国憲法の基本原則     | (5) 暮らしの中の平和主義         |                  |
| (3) 基本的人権と国民の権利・義務 | (6) 天皇の国事行為と国民の祝日      |                  |

### 3 本時の指導計画

- (1) 本時のねらい
  - ・選挙は、私たちの生活の安定と向上のために、国民や住民の代表者を選出する仕組みであることを理解し、国民主権につながる参政権の一つである選挙権を確実に行使することの大切さについて考える。
- (2) 主権者教育との関連
  - ・主権者として参政権の重要性を理解し、選挙権を行使して、政治に参加しようとする態度を育てる。
- (3) 本時のテーマ

**将来、主権者としてどのように政治に参加していくのか。**

#### (4) 本時の展開

| 主な学習活動・内容  | ★主権者教育との関連で評価する視点   | 指導上の留意点   |
|--|---|---|
| 1 日本国憲法の三原則について想起し、国民主権と選挙とのつながりについて話し合う。<br>・国民主権 ・参政権の行使<br>2 選挙の仕組みについて調べる。<br>・公示、告示 ・立候補者の届出・発表<br>・選挙運動 ・投票、開票 ・議員の決定<br>3 投票をする際に、気を付けることや大切だと思ふことを発表する。<br>・支持する候補者の考えをよく理解する。<br>・自分の政治への願いとの関連を捉える。<br>4 最近の選挙の動向を調べ、話し合う。<br>・投票率の低下<br>・改正公職選挙法の成立<br>5 国民がもつ「一票の重み」の意味について自分の考えをまとめる。 | ★選挙権を行使することの大切さについて考えている。<br><br>★将来の主権者として、国民がもつ「一票の重み」の意味について考えている。 | ・日本国憲法の前文と関係付けながら政治における国民の役割を理解させる。<br>・選挙の仕組みと児童の日常生活との関わりを関連付けて捉えさせるようにする。<br>・改正公職選挙法の成立により、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられることに触れる。 |

## 第3学年 社会〔歴史的分野〕

### 「大正デモクラシーと政党内閣の成立」(4時間)

#### 1 単元の目標

- ① 大正時代の政治・経済・社会・文化の概要を理解し、多くの民衆運動が起こった背景として国際協調の高まりや民族運動などを調べ、国際情勢について考察する。
- ② 有権者数の増加などの資料を用いて民衆運動の動きを読み取り、大正デモクラシーを現代の民主主義と比較して考察し、自分の意見を表現する。

#### 2 単元の指導計画

- (1) 国際協調の高まり
- (2) アジアの民族運動
- (3) 大正デモクラシーと政党内閣の成立
- (4) **広がる社会運動と普通選挙の実現(本時)**

#### 3 本時の指導計画

- (1) 本時のねらい
  - ・第一次世界大戦後の日本や世界の民主主義の動きを知り、大正デモクラシーの考え方や男子普通選挙の実現について理解する。
- (2) 主権者教育との関連
  - ・大正14年の普通選挙法が成立されるまでの過程を考察することを通して、主権者として選挙権の重要性を理解し、選挙権を行使しようとする態度を育てる。
- (3) 本時のテーマ

日本では、どのようにして普通選挙権が実現したのか。

#### (4) 本時の展開

| 主な学習活動・内容  | ★主権者教育との関連で評価する視点  | 指導上の留意点  |
|--|--|--|
| 1 吉野作造の「民本主義」の主張にある普通選挙が、どのように実現してきたか予想する。<br>2 大正デモクラシーで起こった政治的な出来事と社会運動について調べる。<br>・大戦景気とその後の米騒動<br>・第一次護憲運動の展開<br>・政党内閣の成立<br>・様々な社会運動の増加<br>3 大正デモクラシーの時期の国際情勢を調べる。<br>・シベリア出兵 ・協調外交<br>4 男子普通選挙法が成立したことは、この時代にどのような意味をもたらしたのか話し合う。<br>・大正デモクラシーの思想の実現<br>・国際的にも実現は少なかったが、女性の参政権がないことに課題が残る。 | ★選挙権が拡大した過程を学ぶことで、選挙の重要性を理解している。<br><br>★普通選挙法が成立した意義を基に、選挙権を行使することの大切さを考えている。 | ・平塚らいてうや全国水平社などの社会運動に参加している人々や、それぞれが要求していたことなどを整理する。<br>・普通選挙法と同年に治安維持法が施行された意味についても考えさせるようにする。<br>・現代の民主主義と比較する視点をもたせる。 |



## 第3学年 社会〔公民的分野〕

### 「私たちの生活と社会保障」（3時間）

#### 1 単元の目標

- ① 社会資本の整備や公共サービスなど、政府の経済活動や租税の働きについて理解する。
- ② 社会保障の充実など市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす経済的役割について効率や公正の考え方に基づいて考え、理解する。

#### 2 単元の指導計画

- (1) 国の経済活動
- (2) 国の歳入と歳出の特色
- (3) **社会保障の仕組（本時）**

#### 3 本時の指導計画

- (1) 本時のねらい
  - ・社会保障制度が私たちの生活にもたらす役割とともに、現在の社会保障制度には、どのような課題があるのか理解する。
- (2) 租税教育との関連
  - ・少子高齢社会の中で、将来の納税者として社会や国の在り方を主体的に考える資質や能力を育てる。
- (3) 本時のテーマ

**国民皆保険制度とは、どのようなものか。**

#### (4) 本時の展開

| 主な学習活動・内容  | ★租税教育との関連で評価する視点  | 指導上の留意点  |
|--|---|--|
| 1 病院の領収書の内訳を調べる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・領収書の合計金額と負担額の違い</li> <li>・日本の国民皆保険制度の特徴</li> <li>・諸外国の医療保険制度</li> </ul> 2 社会保障制度を調べる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会保険</li> <li>・公的扶助</li> <li>・社会福祉</li> <li>・保険医療及び公衆衛生</li> </ul> 3 社会保障制度が抱える課題を調べ、話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会保障費の増大</li> <li>・財源不足</li> <li>・世代間、地域間の差</li> <li>・高齢者の自己負担額</li> </ul> 4 社会保障制度が抱える課題について自分の考えをまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会保障の安定財源の確保</li> <li>・税金と社会保険料</li> <li>・世代間、地域間の公平</li> </ul> | ★社会保障制度の大切さを理解している。<br><br>★社会保障制度の課題から将来を見据え、解決に向けてどのようなことができるか考察している。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・導入の場面で、病院の領収書を提示し、関心をもたせるようにする。</li> <li>・憲法で保障されている「生存権」との関連について触れる。</li> <li>・4つの社会保障制度の内容と実際の生活とを関連付けるように助言する。</li> <li>・少子高齢社会の状況を踏まえて、課題を考えるように助言する。</li> <li>・負担者と利用者の立場から考えるように助言する。</li> </ul> |

## 第3学年 社会〔公民的分野〕

### 「これからの日本の財政と納税」（3時間）

#### 1 単元の目標

- ① 少子高齢社会の進展と社会保障の現状を理解するとともに、他国の社会保障との比較などを通して、今後の在り方を多面的・多角的に考えて理解する。
- ② 国民の生活と福祉の向上に向け、政府が果たすべき役割について、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察する。

#### 2 単元の指導計画

- (1) 少子高齢社会がもたらす課題
- (2) 少子高齢社会と財政（本時）
- (3) 財政の課題と将来の財政の在り方

#### 3 本時の指導計画

- (1) 本時のねらい
  - ・将来の社会保障と税の在り方について、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、自分の考えをまとめる。
- (2) 租税教育との関連
  - ・少子高齢社会の中で、将来の納税者として社会や国の在り方を主体的に考える資質や能力を育てる。
- (3) 本時のテーマ

どんどん伸びていく社会保障関係費(医療費)をどうするのか。

#### (4) 本時の展開

| 主な学習活動・内容   | ★租税教育との関連で<br>評価する視点   | 指導上の留意点  |
|---|--|--|
| 1 日本の財政上の問題を調べる。<br>・ 税収の減少<br>・ 社会保障関係費の増加<br>・ 国の借金の増加<br>2 現在の日本の財政状況から消費税の役割について考え、話し合う。<br>・ 国民の義務としての納税<br>・ 安定した財源の確保<br>3 外国の社会保障制度について調べ、日本の社会保障制度の在り方について考え、話し合う。<br>・ 高福祉高負担の国                      ・ 低福祉低負担の国<br>4 今後、増加が予想される社会保障関係費(医療費)に、国民はどのように対応していくべきか、自分の考えをまとめ、発表する。<br>・ 社会の状況と医療費の変化<br>・ 税金の在り方<br>・ 将来の納税者としての考え | ★納税者として自分に求められている役割を自覚して考察している。<br><br>★将来の主権者としての視点からどのように対応したらよいか考察している。 | ・ 導入の場面で、納税についての自分の考えをもたせる。<br>・ 社会保障関係費が増えている理由を社会状況と関連させながら考えるように助言する。<br>・ 外国の社会保障制度の特徴を簡潔に補足して、考えの根拠にさせる。<br>・ 社会保障制度の財源に着目して考えるように助言する。 |

## 第3学年 社会〔公民的分野〕

### 「住民としての地方の政治」（5時間）

#### 1 単元の目標

- ① 地方自治の基本的な考え方や地方公共団体の仕組み、住民の権利や義務について理解し、住民としての自治意識の基礎を育てる。
- ② 住民の権利や義務に関連させて、民主的な政治と政治参加について、課題を見だし、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、表現する。

#### 2 単元の指導計画

- |                    |                     |
|--------------------|---------------------|
| (1) 地方自治と民主政治      | (4) 地方公共団体の現状と課題    |
| (2) 地方公共団体の仕事と仕組み  | (5) 私たちの生活と町づくり（本時） |
| (3) 地方自治の変化と私たちの生活 |                     |

#### 3 本時の指導計画

- (1) 本時のねらい
  - ・自分が住んでいる自治体の町づくりについて、自治体の広報誌やホームページ等を活用して調べ、効率と公正の視点から考えるとともに、自分の考えを提言としてまとめる。
- (2) 主権者教育との関連
  - ・地方自治は住民自治を基本としていることを理解し、主権者として主体的に民主政治に参画する資質や能力を育てる。
- (3) 本時のテーマ

将来の主権者として、住民自治への参画についてどのように考えていけばよいのか。

#### (4) 本時の展開

| 主な学習活動・内容  | ★主権者教育との関連で評価する視点  | 指導上の留意点   |
|--|--|---|
| 1 前時の学習を踏まえ、課題を確認する。<br>・「町の街路整備は、私たち市民の暮らしをよりよくするものだろうか。」<br>2 課題に対する行政や地域住民、利用者等の考えを調べる。<br>3 調べたことを効率と公正の視点から検討する。<br>・効率→観光客を招致することができるので、町の活性化につながる。<br>→車線減少により、渋滞を引き起こしてしまう。<br>・公正→若者の望む町の姿であり、高齢者にとっても安全で快適になる。<br>→治安の悪化やごみ問題が発生してしまうか心配である。<br>4 町の街路整備について自分の考えをまとめて、発表する。 | ★地域住民であることを自覚し、効率と公正の視点から考察している。<br><br>★住民の一人として、参画意識をもって考えをまとめている。 | ・街路整備の予定地域の写真と地図を提示して状況を捉えさせる。<br>・市の広報誌やホームページ等を活用し、様々な立場の人の考えを捉えさせる。<br>・住民自治の考えに基づき、効率と公正の視点から、自分の考えを提言としてまとめるように指導する。 |

## 第3学年 社会〔公民的分野〕 「現代の民主政治」(5時間)

### 1 単元の目標

- ① 法に基づく政治が、社会生活上の対立や争いを調整・解消し、自由と権利を保障することについて理解する。
- ② 選挙や政党、世論の形成など政治参加の仕組みと、主権者としての政治参加の在り方について、多面的・多角的に考察する。

### 2 単元の指導計画

- (1) 民主政治とその原理
- (2) 政党と政治
- (3) 世論の形成とマスメディア
- (4) 我が国の選挙制度と選挙をめぐる課題
- (5) **政治参加と選挙(本時)**

### 3 本時の指導計画

- (1) 本時のねらい
  - ・模擬投票において、架空の候補者の主張について多面的・多角的に考察し、政治参加の仕方や意義について自分の考えをまとめる。
- (2) 主権者教育との関連
  - ・主権者として選挙権を行使し、主体的に民主政治に参加する資質や能力を育てる。
- (3) 本時のテーマ

将来、主権者としてどのように政治に参加していくのか。

#### (4) 本時の展開

| 主な学習活動・内容   | ★主権者教育との関連で評価する視点  | 指導上の留意点  |
|---|--|--|
| 1 これまでの学習を振り返る。<br>・選挙の意義や選挙制度<br>2 本時の学習課題をつかむ。<br>・「市所有の土地利用について、各候補者の主張を参考に、誰に投票するのか根拠を明らかにして投票しよう。」<br>3 各候補者の主張とともに、模擬的に設定した架空の市の年齢別人口や市民アンケート等の資料を参考に自分の支持する候補者を考える。<br>4 友達と意見交換をしながら、自分の支持する候補者を考える。<br>5 自分の支持する候補者を決定し、投票する。<br>6 投票結果を全体で簡潔に分析する。<br>7 本時の学習を振り返り、将来、主権者としてどのように政治に参加していくのかについて自分の考えをまとめ、発表する。 | ★各候補者の主張や資料を参考に多面的・多角的に考察している。<br><br>★将来の主権者として、政治参加の仕方や意義について考察している。 | ・選挙の投票の写真を提示して興味・関心をもたせるようにする。<br>・効率と公正の視点から、各候補者の主張を検討するように助言する。<br>・生徒が投票する候補者に偏りがあつた場合は、他の候補者を支持する意見を示すことで補うようにする。 |



## 第3章

### 多様な教育課題に対応した 【学校選択】として扱う指導計画例

総合的な学習の時間

カリキュラム市民

カリキュラム国際

カリキュラム環境

## (1) 多様な教育課題に対応したカリキュラムモデルの開発

学校教育に対応が求められている多様な教育課題の趣旨やねらいに着目すると、共通性や関連性があることが分かります。例えば、消費者教育、シティズンシップ教育、法教育の趣旨やねらいを挙げると次のようになります。

| 教育課題       | 出典   | 趣旨やねらい   |
|------------|--|--|
| 消費者教育      | 消費者教育の推進に関する法律<br>(平成24年8月)                            | 消費者の自立を支援するために行われる消費生活に関する教育(消費者が主体的に消費者市民社会の形成に参画することの重要性について理解及び関心を深めるための教育を含む)及びこれに準ずる啓発活動                                  |
| シティズンシップ教育 | 経済産業省「シティズンシップ教育と経済社会での人々の活躍についての研究会 報告書」<br>(平成18年3月) | 多様な価値観や文化で構成される社会において、個人が自己を守り、自己実現を図るとともに、よりよい社会の実現に寄与するという目的のために、社会の意思決定や運営の過程において、個人としての権利と義務を行使し、多様な関係者と積極的に関わろうとする資質を養う教育 |
| 法教育        | 法務省「法教育研究会報告書ー我が国における法教育の普及・発展を目指してー」<br>(平成16年11月)    | 法律の専門家ではない一般の人々が対象であること、法律の条文や制度を覚える知識型の教育ではなく、法やルールの背景にある価値観や司法制度の機能、意義を考える思考型の教育であること、社会に参加することの重要性を意識付ける社会参加型の教育            |

こうした教育課題については、下線部の箇所のように、よりよい社会の形成者としての市民的資質の基礎を培うという視点から、主権者として自立しながら個人としての権利や義務を行使し、社会に参画するために必要な資質や能力を育成するといった共通性や関連性があります。また、扱う指導内容も、社会的自立、国民の権利や義務、市民生活、消費生活、社会生活のきまり、というように共通性や関連性があるため、一つのまとまりをもったものとして捉えることができると考えました。

そこで、各教育課題における「児童・生徒に育てたい資質・能力」と「指導内容」の共通性や関連性の視点から分析・整理して、総合的な学習の時間のカリキュラムモデルー「カリキュラム市民」、「カリキュラム国際」、「カリキュラム環境」ーを開発しました。

また、本章で示す各カリキュラムモデルの年間指導計画例にあるように、多様な教育課題について、〈主題〉を設定して【学校必修】として各教科等で、【学校選択】として総合的な学習の時間で扱い、実践することで、次のような利点があると考えました。

**【焦点化】**…〈主題〉に基づいて、多様な教育課題を各教科等の指導の中で行うことで、どの教科等でどのような教育課題を扱っているのかについて明確になり、指導の焦点化を図ることができる。

**【特色化】**…「カリキュラム市民」、「カリキュラム国際」、「カリキュラム環境」のそれぞれのねらいを参考に、各学校が、地域の特色や児童・生徒の実態に合った総合的な学習の時間のカリキュラムモデルを選択することで、教育課程の編成・実施の特色化を図ることができる。

## ◆「カリキュラム市民」

### 【教育課題の主なねらい】

#### キャリア教育

児童・生徒の一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な能力や態度を育成し、それらの育成を通じた勤労観・職業観の形成・確立

#### シティズンシップ教育

社会の一員として自立し、権利と義務の行使により、社会に積極的に関わろうとする態度の育成

#### 主権者教育

主権者としての自覚と社会参画の力の育成

#### 法教育

「法の担い手」として、法や司法制度、これらの基礎となっている価値を理解し、法的なものの考え方の育成

#### 消費者教育

自らの消費生活の安定・向上を目指し、持続可能な社会の形成に参加できる能力の育成

#### 金融教育（金銭教育）

健全な金銭感覚に加えて金融に関する基本的な知識及び適切な考え方を身に付け、日常生活において主体的に判断し行動できる国民の育成

#### 租税教育

納税者として社会や国の在り方を主体的に考える国民の育成

#### 福祉教育

他の人と協力しながら、積極的に全人類の福祉社会の構築に寄与する態度の育成

#### 住教育

住生活や住環境をより豊かに作りあげる、賢い居住者（消費者）の育成

等



### 【カリキュラムのねらい】

- 市民・消費者の権利と役割について理解し、市民としての消費行動やキャリア形成ができる能力を育成する。
- 主権者として権利の享受や責任・義務の履行、公的な事柄への関心や関与をもち、社会参加に必要な知識・技能、態度を育成する。
- 自分の行動と社会経済との関連を意識し、よりよい社会の実現に寄与しようとする態度を育成する。



## ◆「カリキュラム国際」

### 【教育課題の主なねらい】

#### 国際教育

国際社会に生きる日本人としての自覚の育成

#### 日本の伝統・文化理解教育

国際社会に生きる日本人としての自覚と誇り及び多様な文化を尊重できる資質・態度の育成

#### 領土に関する教育

主権国家確立に向けての国民の意識の醸成

等



### 【カリキュラムのねらい】

- 異文化と共生できる資質・能力を育成する。
- 自己を確立する能力を育成する。
- コミュニケーション能力を育成する。

## ◆「カリキュラム環境」

### 【教育課題の主なねらい】

#### 環境教育

環境に対する課題意識をもち、その保全に貢献できる国民の育成

#### 持続可能な開発のための教育（ESD）

持続可能な社会づくりの担い手を育む教育

#### 森林環境教育

森林と人が共生する社会の実現に向けた資質や能力の育成

#### 再生可能エネルギー教育

再生可能エネルギーへの関心を高め、その活用に貢献できる国民の育成

#### 海洋教育

海洋環境の保全を図りつつ国際的な理解に立った平和的かつ持続可能な海洋の開発と利用を可能にする知識、技能、思考力、判断力、表現力を有する人材の育成

等



### 【カリキュラムのねらい】

- 環境保全に対する関心・意欲・態度を育成する。
- 持続可能な社会を築くために必要な知識・理解を深める。
- 自然環境を育み、これを維持管理することの重要性に関わる知識・理解を深める。
- 環境に働き掛ける実践力を育成する。

【多様な教育課題を分析・整理した  
総合的な学習の時間のカリキュラムモデルの開発】

| 児童・生徒に育てたい<br>資質・能力<br>題材とする<br>主な教育課題 | 自主・<br>自律 | 人間<br>関係 | 社会<br>参画 | 未来の<br>創造 |
|--|-----------|----------|----------|-----------|
| キャリア教育                                 | ○         | ○        | ○        |           |
| シティズンシップ教育                             | ○         | ○        | ○        | ○         |
| 主権者教育                                  | ○         |          | ○        | ○         |
| 法教育                                    | ○         |          | ○        |           |
| 租税教育                                   | ○         |          | ○        | ○         |
| 福祉教育                                   | ○         |          | ○        | ○         |
| 消費者教育                                  | ○         | ○        | ○        | ○         |
| 金融教育(金銭教育)                             | ○         |          | ○        |           |
| 住教育                                    | ○         |          | ○        | ○         |
| 国際教育                                   | ○         | ○        | ○        |           |
| 日本の伝統・文化理解教育                           |           | ○        | ○        |           |
| 領土に関する教育                               |           | ○        | ○        | ○         |
| 環境教育                                   | ○         | ○        | ○        | ○         |
| 持続可能な開発の<br>ための教育(ESD)                 | ○         | ○        | ○        | ○         |
| 森林環境教育                                 | ○         |          | ○        | ○         |
| 再生可能エネルギー教育                            | ○         |          | ○        | ○         |
| 海洋教育                                   | ○         |          | ○        | ○         |

**カリキュラム市民**

ねらい

- 市民・消費者の権利と役割について理解し、市民としての消費行動やキャリア形成ができる能力を育成する。
- 主権者として権利の享受や責任・義務の履行、公的な事柄への関心や関与をもち、社会参加に必要な知識・技能、態度を育成する。
- 自分の行動と社会経済との関連を意識し、よりよい社会の実現に寄与しようとする態度を育成する。

**カリキュラム国際**

ねらい

- 異文化と共生できる資質・能力を育成する。
- 自己を確立する能力を育成する。
- コミュニケーション能力を育成する。

**カリキュラム環境**

ねらい

- 環境保全に対する関心・意欲・態度を育成する。
- 持続可能な社会を築くために必要な知識・理解を深める。
- 自然環境を育み、これを維持管理することの重要性に関わる知識・理解を深める。
- 環境に働き掛ける実践力を育成する。

※ 上記の表にある○印は、その教育課題で重点となる児童・生徒に「育てたい資質・能力」の例を示している。

なお、単元の指導内容によっては、重点となる児童・生徒に「育てたい資質・能力」が変わることもあり得る。

なお、次のような教育課題については、必要に応じてそれぞれのカリキュラムモデルの中で、単元の指導内容と関連させて扱うことにしました。

- 安全教育    ○防災教育    ○健康教育    ○食育  
○メディアリテラシー教育    ○情報モラル教育    ○ICT教育 等

## (2) カリキュラムモデルにおける児童・生徒に「育てたい資質・能力」の設定

社会的な要請から生まれた多様な教育課題への対応として、児童・生徒に、これからの社会の中でたくましく生き抜く力の基盤となる資質・能力を育成することが求められています。

例えば、消費者教育では、「消費者が主体的に消費者市民社会の形成に参加することの理解・関心・行動」といった資質・能力を、国際教育では、「地球的視野に立って、主体的に行動するために必要と考えられる態度・能力」といった資質・能力を育成することが、その趣旨やねらいから確認することができます。

そこで、総合的な学習の時間のカリキュラムモデルー「カリキュラム市民」、「カリキュラム国際」、「カリキュラム環境」ーの開発に当たっては、児童・生徒に「育てたい資質・能力」について、各教育課題の趣旨やねらいと学習指導要領に示された各教科等の内容との関連を図りながら分析して具体化しました。

例えば、消費者教育、国際教育の指導では、次のような資質・能力を児童・生徒に育成することができます。

| 教育課題  | 教育課題の指導で児童・生徒に育成される資質・能力   |
|-------|--|
| 消費者教育 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・消費をめぐる物や金銭の流れ、消費行動が環境や経済に与える影響を考える力</li> <li>・消費者問題や社会問題に関心をもち、公正・公平な社会の形成について考える力</li> <li>・消費をめぐるトラブルを解決するための法律や制度、相談機関を知る力</li> <li>・購入する物の選択の方法、購入の方法やよりよい契約の方法を考える力</li> <li>・買い物や貯蓄を計画的に行う態度</li> <li>・消費についての情報を収集し、発信する力</li> <li>・消費者生活の情報を評価し、選択し、意思決定する力 等</li> </ul> |
| 国際教育  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に行動するために必要と考えられる態度・能力の基礎</li> <li>・国際社会の理解</li> <li>・地球的視野に立った見方や考え方</li> <li>・主体的に行動できる力 等</li> </ul>  |

このように、多様な教育課題それぞれについて、指導の中で児童・生徒に育成される資質・能力を具体化し、共通性や関連性があるものを整理・統合して、次のような「12の資質・能力」を導き出しました。

- 学びに向かう力
- 問題発見・解決力
- 生活をよりよくする力
- 対人関係力
- 人間関係形成力
- グローバル化に対応する力
- 規範意識
- 他者と協働する力
- 主体的に計画・行動する力
- 生命を大切にする力
- 新たな価値を創造する力
- 持続可能な社会の実現に向けた実践力

さらに、それらの資質・能力を「4つの要素」にまとめて、「自主・自律」、「人間関係」、「社会参画」、「未来の創造」としました。

次の表は、多様な教育課題に対応した総合的な学習の時間のカリキュラムモデルー「カリキュラム市民」、「カリキュラム国際」、「カリキュラム環境」ーにおいて、児童・生徒に「育てたい資質・能力」として設定した「4つの要素」と「12の資質・能力」との関連を示したものです。

本カリキュラムモデルでは、「カリキュラム市民」、「カリキュラム国際」、「カリキュラム環境」のいずれのカリキュラムでも、「4つの要素」である「自主・自律」、「人間関係」、「社会参画」、「未来の創造」に関する資質・能力を育成することを目標に設定しています。

| 「カリキュラム市民・国際・環境」において児童・生徒に「育てたい資質・能力」 |                   |  |
|---------------------------------------|-------------------|--|
| 要素                                    | 12の資質・能力          | 具体的な児童・生徒の姿                              |
| 自主・自律                                 | 学びに向かう力           | 学習に対する目標をもち、意欲をもって取り組む。                  |
|                                       | 問題発見・解決力          | 自らが関わる事象から問題を発見し、生じた問題を解決していく。           |
|                                       | 生活をよりよくする力        | 自分の生活を見つめ、工夫したり改善したりしながら、生活の向上を図る。       |
| 人間関係                                  | 対人関係力             | 相手のことを考えた言葉遣いや態度をとる。                     |
|                                       | 人間関係形成力           | 望ましい人間関係を築くために、他者を理解し、他者の考えや立場を理解して行動する。 |
|                                       | 他者と協働する力          | 目標を共有し、他者の立場を尊重して、力を合わせて活動する。            |
| 社会参画                                  | 規範意識              | 社会のルールの大切さを理解し、守る。                       |
|                                       | 主体的に計画・行動する力      | 社会の一員であることを自覚し、主体的に計画、行動する。              |
|                                       | グローバル化に対応する力      | 地球規模で考えることができるように、日本や世界のことに関心をもち、考える。    |
| 未来の創造                                 | 生命を大切にする力         | 生命の尊厳に気付き、命あるものを尊重する。                    |
|                                       | 新たな価値を創造する力       | 豊かな感性の下、多様な価値観を受け入れて融合させ、新たな価値を創造する。     |
|                                       | 持続可能な社会の実現に向けた実践力 | 自らの課題から未来を見つめ、課題の解決につながる新たな価値観をもって行動する。  |

| 資質・能力   | 自主・自律   |   |   |
|---------|---|---|---|
|         | 学びに向かう力   | 問題発見・解決力  | 生活をよりよくする力  |
| 児童・生徒の姿 | 学習に対する目標をもち、意欲をもって取り組む  | 自らが関わる事象から問題を発見し、生じた問題を解決していく   | 自分の生活を見つめ、工夫したり改善したりしながら、生活の向上を図る   |
| 小学1・2年  | <ul style="list-style-type: none"> <li>めあてに向けて意欲をもって取り組むこと</li> <li>めあてに向けて集中して最後まで取り組むこと</li> </ul>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>調べてみたいことなどを見付けること</li> <li>課題の解決に向けて、課題を解決するための方法を考え、実行すること</li> </ul>             | <ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣を身に付け、自分の生活の改善方法を見だし、実践すること</li> </ul> |
| 小学3・4年  | <ul style="list-style-type: none"> <li>めあてに向けて自分で考えて取り組むこと</li> <li>めあてに向けて集中して最後まで取り組むこと</li> </ul>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>提示された課題を基に、自分の課題を見付けること</li> <li>課題を解決するための方法を考え、実行すること</li> </ul>                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣を身に付け、自分の生活の改善方法を見だし、実践すること</li> </ul> |
| 小学5・6年  | <ul style="list-style-type: none"> <li>自分でめあてを決めて、見通しをもって取り組むこと</li> <li>集中力や持続力を発揮して取り組むこと</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>課題を見付けること</li> <li>課題を解決するための方法と手順を考え、これまでの経験を踏まえて実行すること</li> </ul>                | <ul style="list-style-type: none"> <li>自分を見つめ直し、よりよい生き方について考え、実践すること</li> </ul>       |
| 中学1～3年  | <ul style="list-style-type: none"> <li>自分でめあてを決めて、計画的に最後まで取り組むこと</li> <li>集中力や持続力を発揮して取り組むこと</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活や社会状況から課題を見付けること</li> <li>課題を解決するための方法と手順を考え、これまでの経験や様々な情報を基に実行すること</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>望ましい生き方について考え、適切な行為を選択し、実践すること</li> </ul>      |

| 資質・能力   | 人間関係   |  |  |
|---------|--|--|--|
|         | 対人関係力  | 人間関係形成力  | 他者と協働する力   |
| 児童・生徒の姿 | 相手のことを考えた言葉遣いや態度をとる  | 望ましい人間関係を築くために、他者を理解し、他者の考えや立場を理解して行動する  | 目標を共有し、他者の立場を尊重して、力を合わせて活動する   |
| 小学1・2年  | <ul style="list-style-type: none"> <li>気持ちのよい挨拶ができること</li> <li>言葉遣い、動作などに心掛けて、他者と接すること</li> </ul>                | <ul style="list-style-type: none"> <li>他者の話をよく聞き、自分の意見を伝え、話し合うこと</li> <li>他者のよさを見付けること</li> </ul>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>目標に向けて、他者と仲よく助け合って活動すること</li> </ul>                 |
| 小学3・4年  | <ul style="list-style-type: none"> <li>相手の気持ちに応じて、真心をもって礼儀正しい言動で接すること</li> <li>相手がどう考えるかを意識して行動すること</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>互いのよさを見付け、違いを認め、話し合うこと</li> <li>他者の気持ちを考えて行動すること</li> </ul>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>目標に向けて、他者を尊重し、協力し合って活動すること</li> </ul>               |
| 小学5・6年  | <ul style="list-style-type: none"> <li>相手の立場に立ち、時と場をわきまえた礼儀正しい言動を行うこと</li> <li>相手の気持ちを共感的に受け止めて行動すること</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>互いのよさを発見し、違いを認め、話し合うこと</li> <li>他者とのことを考えて行動し、互いに認め合うこと</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>目標に向けて、多様な他者の考えや立場を理解して、他者と協力して行動すること</li> </ul>    |
| 中学1～3年  | <ul style="list-style-type: none"> <li>時と場に応じた適切な言動を行うこと</li> <li>相手の痛みや感情を共感的に受け止めて行動すること</li> </ul>            | <ul style="list-style-type: none"> <li>他者との違いから互いのよさを発見し、話し合うこと</li> <li>他者のことを考えて行動し、互いに認め合うこと</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>目標に向けて、多様な他者の考えや立場を理解して、進んで他者と協力して行動すること</li> </ul> |

| 資質・能力   | 社会参画   |  |  |
|---------|--|--|--|
|         | 規範意識   | 主体的に計画・行動する力                                     | グローバル化に対応する力   |
| 児童・生徒の姿 | 社会のルールの大切さを理解し、守る                                  | 社会の一員であることを自覚し、主体的に計画、行動する                       | 地球規模で考えることができるように、日本や世界のことに関心をもち、考える   |
| 小学1・2年  | ・ 集団の約束やきまりを守ること                                   | ・ 集団の一員として自分のことを考え、活動すること                        | ・ 身近な人々と触れ合うことで、郷土への親しみをもつこと<br>・ 郷土の自然や文化に触れ、郷土への愛着をもって行動すること                       |
| 小学3・4年  | ・ 規範意識をもって法やきまりを守ること<br>・ 集団の約束や社会のきまりを守り、公德心をもつこと | ・ 集団や地域の一員として自分のことを考え、活動すること                     | ・ 我が国の伝統と文化に関心をもち、現在の自分との関わりを理解すること<br>・ 他国の人々や生活、文化に慣れ親しんで行動すること                    |
| 小学5・6年  | ・ 規範意識をもって法やきまりを守ること                               | ・ 集団や地域の一員として自分に求められている役割を自覚し、自分でできることを考え、活動すること | ・ 我が国の伝統と文化を大切に思い、継承し発展させるために努力しようとする気持ちをもつこと<br>・ 他国の文化を尊重する態度をもって、考えを深めたり交流したりすること |
| 中学1～3年  | ・ 法やきまりの意義を理解し、遵守すること                              | ・ 社会の一員として自分に求められている役割を自覚し、社会の発展に貢献するために活動すること   | ・ 日本人としての自覚をもって我が国の伝統や文化などのよさについて理解を深めること<br>・ 国際的視野に立って、世界の中の日本人としての自覚をもって行動すること    |

| 資質・能力   | 未来の創造  |   |  |
|---------|--|---|--|
|         | 生命を大切にする力  | 新たな価値を創造する力   | 持続可能な社会の実現に向けた実践力                                    |
| 児童・生徒の姿 | 生命の尊厳に気付き、命あるものを尊重する   | 豊かな感性の下、多様な価値観を受け入れて融合させ、新たな価値を創造する                   | 自らの課題から未来を見つめ、課題の解決につながる新たな価値観をもって行動する               |
| 小学1・2年  | ・ 生命を大切にすることをもち、身近な自然に親しみを持ち、動植物に優しい気持ちで接すること                    | ・ 興味をもって新しいものをつくり出す活動をする                              | ・ 様々な体験を通して得た気持ちの変化を、生活の中に生かすこと                      |
| 小学3・4年  | ・ 生命の尊さを感じ取り、命あるものを大切にすること<br>・ 自然の素晴らしさや不思議さに感動し、自然や動植物を大切にすること | ・ 興味や関心をもって、習得した知識を生かしながら新しいものをつくり出す活動をする             | ・ 身近な生活体験や自然体験を通して、自分の考えをもち課題解決に向けて行動すること            |
| 小学5・6年  | ・ 生命のかけがえのなさに気付き、生命あるものを慈しみ、畏れ、敬い、尊び、環境保全に寄与すること                 | ・ 興味や関心、意欲をもって、習得した知識や技能を生かしながら、他と協働した新たなものを見いだす活動をする | ・ 身近な地域や社会で起きている問題に対して自分の考えをもち、自分なりに何ができるかを考え、実践すること |
| 中学1～3年  | ・ 生命の尊さを理解し、かけがえのない自他を含め、生命ある全てのものを尊重し、環境保全に寄与すること               | ・ 興味や関心、意欲をもって、独創的で知的な活動を行い、新たな価値を見いだすこと              | ・ 身近な地域や社会で起きている問題を自分の生活と関連付けて捉え、自分に何ができるかを考え、実践すること |

### (3) 単元の指導計画における学習活動及び学習過程の設定

「カリキュラム市民」、「カリキュラム国際」、「カリキュラム環境」の単元の指導計画を構想する際に、児童・生徒に「育てたい資質・能力ー4つの要素と12の資質・能力ー」を育成するための学習活動及び学習過程を設定しました。

#### 【①資質・能力を育成するための学習活動】

「育てたい資質・能力」を育成することを意図して、「問いをもつ」、「調べる」、「話し合う」、「実践する」、「発信する」、「振り返る」の6つの「学習活動群」を設定しました。

##### 【問いをもつ】

課題・目標・計画を立てる 見付ける 予想する 設定する 課題を把握する 等

##### 【調べる】

測定する 収集する 選択する 調査する 分類する 分析する 比較する  
整理する 取材する 見学する 意見・要望を聞く 調べたことをまとめる 等

##### 【話し合う】

話し合う 分担を決める 検討する 共有する 合意する 主張する 相談する  
討論する 助言する 折り合いを付ける 考えを相手に伝える 相手の話を聞く  
練り上げる 等

##### 【実践する】

解決する 修正する 活動する 体験する 視聴する 交流する 等

##### 【発信する】

考えを書く 報告する 発表する 説明する 伝える 紹介する 等

##### 【振り返る】

気付く 改善する 自覚する 高める 確かにする 自己評価する 修正する  
他者評価する 等

## 【②学習過程】

学習過程は、児童・生徒の課題追究の過程であり、思考の展開の過程に対応しているため一様ではありません。本カリキュラムモデルにおける、総合的な学習の時間の学習過程は、【課題の設定】→【情報の収集】→【整理・分析】→【まとめ、表現】という探究的な学習過程を基本にしています。

また、この学習過程に、児童・生徒に「育てたい資質・能力」を育成することをねらいとした学習活動を位置付けるために、次のような3つの代表的な学習過程を構築しました。

### ◆自己の意思決定・意思表示ができるようになることをねらいとした過程

①【問いをもつ】→ ②【調べる】→ ③【実践する】【発信する】→ ④【振り返る】

① いくつかの解決方法から、最後に自分で選択ができるような課題を設定する。

② 意思決定のために必要となる確かな情報を調べる。

③ 自分でできることを考えさせ、調べたことを伝えたり実践したりする。

④ 自分ならどのように考えるか、どのようにするか考えた上で意思決定し、それを表現する。

### ◆集団における合意形成ができるようになることをねらいとした過程

①【問いをもつ】 → ②【調べる】 → ③【話し合う】

① 議論の分かれる問題や、学級の取組や地域との関わり方を決めるなどの課題を設定する。

② 合意形成のために、様々な立場の人へインタビュー活動をしたり、資料を活用して調べたりする。協働的なグループ調査を行う。

③ 集団の中で、それぞれの考えを表現した上で、話し合い、合意形成する。

### ◆自分の身近な社会の未来と直結したことを具体的に考え、実践できるようになることをねらいとした過程

①【問いをもつ】→ ②【調べる】→ ③【振り返る】→ ④【実践する】【発信する】

① 地域の様子やその未来像等から、課題を設定する。

② 課題の特色（どのような）、原因（なぜ）、過程（どのように）、比較（違いは）などを追究することで、課題の背景を考える視点を複数もてるようにする。

③ 情報の組み合わせから考えられること、自分が選択したいことなどを振り返る。

④ 課題解決として、自分が実践したり、家庭や地域に発信したりする。



### 【③「育てたい資質・能力」の育成を図る単元の指導計画の作成手順】

本カリキュラムモデルは、これからの社会の中でたくましく生き抜く力の基盤となる資質・能力ー「4つの要素」と「12の資質・能力」ーを育成することを一つの特長としています。

ここでは、「カリキュラム環境」の第4学年「ごみの減量化プロジェクトをしよう」を例に、「育てたい資質・能力」の育成を図る単元の指導計画の作成手順を示します。

#### 【手順1】資質・能力の設定

- ア 単元の目標を分析して、36・37頁に示した児童・生徒に「育てたい資質・能力」を設定します。
- イ 設定した「育てたい資質・能力」の趣旨を踏まえ、単元の教材や指導内容と関連させて、単元で児童・生徒に「育てたい資質・能力」の具体の評価規準を設定します。

#### 第4学年「ごみの減量化プロジェクトをしよう」(環境)

【「育てたい資質・能力」の趣旨】 【単元で育てたい資質・能力の評価規準】

##### 「主体的に計画・行動する力」

・集団や地域の一員として自分のことを考え、活動すること

・ごみに関する環境問題について調べたことから、地域の一員として、ごみの減量化のために自分にできる取組を考え、継続してできるように計画して取り組む。

##### 「持続可能な社会の実現に向けた実践力」

・身近な生活体験や自然体験を通して、自分の考えをもち課題解決に向けて行動すること

・自分で決めたごみの減量化に向けた取組の報告を行い、環境の保全に向けた活動を実践する。

#### 【手順2】学習過程の設定

- ア 児童・生徒に「育てたい資質・能力」を育成するための「学習過程」を決定します。
- イ 例えば、児童・生徒が未来に向けて自分の在り方を具体的に考え、実践できるようになることをねらいとした単元の場合は、「自分の身近な社会の未来と直結したことを具体的に考え、実践できるようになることをねらいとした過程」を選択します。

#### 【学習過程】

#### 【学習活動】

##### ①【問いをもつ】

課題を把握する

学習計画を立てる

##### ②【調べる】

見学する

調査する

取材する

結果を分析・整理する

調べたことをまとめる

##### ③【振り返る】

気付く

自覚する

##### ④【実践する】 【発信する】

交流する

発表する

考えを書く

#### 【手順3】学習活動の設定

- ア 「学習過程」にモデルとして位置付けられている「学習活動」を参考にして、児童・生徒に「育てたい資質・能力」を育成するための具体的な「学習活動」を設定します。
- イ 例えば、【問いをもつ】については、「課題を把握する」、「学習計画を立てる」といった活動を設定します。

## 【④単元の指導計画例】

### 第4学年「ごみの減量化プロジェクトをしよう」(14 時間扱い)

| 時間        | 主な学習活動・内容  | 育てたい資質・能力<br>◇自主・自立<br>◆人間関係<br>□社会参画<br>■未来の創造<br>★評価  | 指導上の留意点  |
|-----------|--|---|--|
| 1次<br>(3) | 問<br>い<br>を<br>も<br>つ<br><br>【ごみの埋め立て地の課題を調べる】<br>○社会科でごみの処理について学習したことを振り返り、興味・関心のあることを話し合う。(1)<br>・ごみの廃棄量 ・ごみの廃棄の影響<br>・ごみを減量化する工夫や努力 等<br>○東京湾の埋め立て地の状況を調べる。(1)<br>・埋め立て地の広がり<br>・廃棄物処理の限界<br>○ごみの減量化のために、自分が取り組む課題を決め、調べる。(1)<br>・ごみを減量化する取組  | ◇問題発見・解決力<br>★ごみの廃棄に関する状況から、ごみの減量化に向けての自分の課題を見付けている。  | ・社会科のごみ処理についての学習のまとめに書いた学習感想を提示して興味・関心がもてるようにする。<br>・埋め立て地の状況が分かるDVDを視聴して問題意識を高めるようにする。  |
| 2次<br>(5) | 調<br>べ<br>る<br><br>【ごみの減量化に向けた取組を調べる】<br>○ごみを減量化するための家庭、行政、企業の取組について調べる計画を立てる。(2)<br>○ごみを減量化するための家庭、行政、企業の取組について調べる。(3)<br>・家庭…ごみの分別の実行<br>リデュース、リユース、リサイクルといった取組<br>・行政…資源回収作業、回収ステーションの設置、啓発活動<br>・企業…包装の縮減、回収ステーションの設置、エコポイントの発行  | ◇問題発見・解決力<br>★ごみを減量化する取組について取材や調査をして追究している。<br>◆人間関係形成力<br>★友達の考えのよさを認め協力しながら、追究した内容を共有している。                        | ・同じ課題に取り組んでいる児童でグループをつくり、計画を立てるようにする。<br>・実際に家庭、行政、企業がどのような取組をしているか取材ができるように、あらかじめ連携を取るようにする。  |
| 3次<br>(6) | 振<br>り<br>返<br>る<br><br>実<br>践<br>す<br>る<br><br>発<br>信<br>す<br>る<br><br>【ごみの減量化に向けたプロジェクトをする】<br>○ごみを減量化するためのプロジェクトの活動計画を立てる。(1)<br>○ごみを減量化するためのプロジェクトに取り組む。(3)<br>・リデュース、リユース、リサイクルを家庭に呼びかけるポスターを作る。<br>・地域に古紙回収を呼び掛けるポスターを作る。<br>・買い物にはマイバックを持参するように保護者に手紙を書く。<br>・家庭にゴミの分別を呼び掛ける。 等<br>【ごみの減量化プロジェクト発表会をする】<br>○実際に取り組んだ活動を全校児童に向けて発表する準備をする。(1)<br>・家庭や地域でできる減量化の取組 等<br>※全校朝会や児童集会において発表をする。<br>○地域の一員として取組への意見文を書く。(1) | □主体的に計画・行動する力<br>★地域の一員として、ごみの減量化に向けて自分にできることを考え、取り組んでいる。<br><br>■持続可能な社会の実現に向けた実践力<br>★自分が決めたごみの減量化の取組を実践しようとしている。 | ・家庭や地域でもごみの減量化に協力してもらうための取組を進めるために、PTAや地域の自治会と連携を取るようにする。<br>・全校朝会や児童集会で呼び掛けたり、ポスターなどを掲示したりして、全校児童に伝えるように助言する。<br>・発表会では、伝える相手を意識して発表内容や方法を考えるように助言する。 |

本章の44頁からは、開発した総合的な学習の時間のカリキュラムモデルー「カリキュラム市民」、「カリキュラム国際」、「カリキュラム環境」ーの年間指導計画例と単元の指導計画例を掲載しています。

★「カリキュラム市民」、「カリキュラム国際」、「カリキュラム環境」ごとに、〈主題〉を踏まえて、多様な教育課題を、どの学年で、どの時期に、どの教科等で扱うかについて示しています。

|             |   | 「カリキュラム国際」   |    |    |    |    |    |
|-------------|---|--|----|----|----|----|----|
|             |   | 題材とする主な教育課題<br>●国際教育<br>●日本の伝統・文化理解教育<br>●領土に関する教育 など  |    |    |    |    |    |
| 学年          | 月 | 4月   | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
| 小<br>学<br>校 | 3 |  |    |    |    |    |    |
|             | 4 |  |    |    |    |    |    |
|             | 5 | (日本の世界遺産) ●国際教育 ●環境教育<br>[説明] ○国語「古文」(3) ○音楽「音楽の歴史をたどる音楽の宝庫」(6)<br>○図工「私の国産品」(4) ○道徳「国産品・国産品 国産品 国産品」(3)<br>○外国語活動「世界の様々な言葉や挨拶」等 (4)   |    |    |    |    |    |
|             | 6 |  |    |    |    |    |    |
| 中<br>学<br>校 | 1 | (外国の人々との交流) ●国際教育 ●日本の伝統・文化理解教育 ●ICT教育<br>[説明] ○国語「海外の生活文化」(10) ○社会「世界の生活文化」(7)<br>○数学「文化の発展」(1) ○英語「世界の生活文化」(6)<br>○音楽「海外の生活文化の発展」(4) ○道徳「海外の生活文化」(6)<br>○技術・家庭「海外の生活文化」(4) ○道徳「海外の生活文化」(1) |    |    |    |    |    |
|             | 2 |  |    |    |    |    |    |
|             | 3 | (伝統的な文化の価値を伝える) ●日本の伝統・文化理解教育 ●国際教育 ●ICT教育<br>[説明] ○国語「日本の伝統文化」(10) ○社会「日本の伝統文化」(10)<br>○数学「日本の伝統文化」(2) ○美術「日本の伝統文化」(6)<br>○音楽「日本の伝統文化」(4) ○道徳「日本の伝統文化」(3)<br>○道徳「日本の伝統文化」(1)                |    |    |    |    |    |

★単元名とその単元の配当授業時数を示しています。

★本単元で、児童・生徒に「育てたい資質・能力」を示しています。

★本単元で扱う主な教育課題の趣旨やねらいを学習内容と関連付けて具体的に示しています。

小学校
自主・自律
人間関係
社会参画

**第4学年 総合的な学習の時間**

**「世界の国々の生活・文化ガイドブックを作ろう」(14時間)**

**1 単元の目標**

- 世界の国々の生活や文化を紹介するガイドブックの作成を通して、外国の人々の生活や文化に慣れ親しむとともに、国際社会に生きる日本人としての自覚や誇りを高める。
- ガイドブックを作成するという目標に向けて、調べ学習を通して、他者を尊重し協力し合って活動することができる。

**2 単元で育てたい資質・能力**

|  |   |   |
|--|---|---|
| <p style="text-align: center;">◇自主・自律</p> <p style="text-align: center;">「問題発見・解決力」</p> <p>提示された課題を基に、自分の課題を見付け、自分の課題を解決するための方法を考え、実行すること</p> <p>・海外で生活経験がある人の話を聞いて、外国の生活や文化に興味・関心をもつとともに、世界の国々の生活や文化について調べ、ガイドブックにまとめる。</p> | <p style="text-align: center;">◆人間関係</p> <p style="text-align: center;">「他者と協働する力」</p> <p>「目標に向けて、他者を尊重し、協力し合って活動すること</p> <p>・ガイドブックの完成を目指して、互いに協力し合って情報を集めたり、話し合ったりしながら活動を進めるとともに、完成したガイドブックのよさを互いに認め合う。</p> | <p style="text-align: center;">□社会参画</p> <p style="text-align: center;">「グローバル化に対応する力」</p> <p>・我が国の伝統と文化に関心を持ち、現在の自分との関わりを理解すること<br/>・他国の人々の生活、文化に慣れ親しんで行動すること</p> <p>・世界の国々の生活や文化の様子を調べ、ガイドブックにまとめる学習活動を通して、日本の生活や文化との違いについて考え、我が国の伝統文化への関心を高める。</p> |
|--|---|---|

**3 単元で扱う主な教育課題との関連**

|              |  |
|--------------|--|
| 国際教育         | 世界の国々の生活や文化についてのガイドブックを作成することで、多様な人々の生活や文化、習慣、価値観についての認識や理解を深め、それぞれの国の生活や文化について尊重する態度を養う。                                    |
| 日本の伝統・文化理解教育 | ガイドブックを作成したり、互いに見合ったりする中で、世界の国々の生活や文化と自国の生活や文化との関わりについて理解を深める。<br>世界の国々の生活や文化を理解し、日本との違いを考えることで、それらを育んできた地域や日本を誇りに思う気持ちを育てる。 |
| ICT教育        | コンピュータのネットワーク機能等を使って、世界の国々の生活や文化についての情報を集めることで、ICT機器を適切に活用する資質や能力を育てる。   |

各学校においては、多様な教育課題に対応した教育課程の編成・実施に当たって、学校の特色化を図るために、【学校選択】として総合的な学習の時間の年間指導計画や単元の指導計画を作成する際に、本カリキュラムモデルを参考にしてください。

| 「カリキュラム国際」のねらい  |     |     |    |    |    |  |
|---|-----|-----|----|----|----|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○異文化と共生できる資質・能力を育成する。</li> <li>○自己を確立する能力を育成する。</li> <li>○コミュニケーション能力を育成する。</li> </ul>           |     |     |    |    |    |  |
| 10月   | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |  |
| <b>【日本文化の伝承】</b> ●日本の伝統・文化理解教育●メディアリテラシー教育●ICT教育<br>【説明】○国語「言語調の短歌や俳句」(1)『説明や報告の発表』(3)<br>○音楽「和楽器の演奏を含めた我が国の音楽」(5)<br>○道徳「国際理解・国際観望」(1) |     |     |    |    |    |  |
| <b>【異文化の理解】</b> ●国際教育●日本の伝統・文化理解教育●メディアリテラシー教育●ICT教育<br>【説明】○国語「異文化」(1) ○社会「異文化の理解」(2)<br>○音楽「異文化の音楽を含めた我が国の音楽」(7)<br>○道徳「国際理解・国際観望」(1) |     |     |    |    |    |  |
| <b>【異文化の理解】</b> ●国際教育●日本の伝統・文化理解教育●メディアリテラシー教育●ICT教育<br>【説明】○国語「異文化」(1) ○社会「異文化の理解」(2)<br>○音楽「異文化の音楽を含めた我が国の音楽」(7)<br>○道徳「国際理解・国際観望」(1) |     |     |    |    |    |  |
| <b>【異文化の理解】</b> ●国際教育●日本の伝統・文化理解教育●メディアリテラシー教育●ICT教育<br>【説明】○国語「異文化」(1) ○社会「異文化の理解」(2)<br>○音楽「異文化の音楽を含めた我が国の音楽」(7)<br>○道徳「国際理解・国際観望」(1) |     |     |    |    |    |  |
| <b>【異文化の理解】</b> ●国際教育●日本の伝統・文化理解教育●メディアリテラシー教育●ICT教育<br>【説明】○国語「異文化」(1) ○社会「異文化の理解」(2)<br>○音楽「異文化の音楽を含めた我が国の音楽」(7)<br>○道徳「国際理解・国際観望」(1) |     |     |    |    |    |  |
| <b>【異文化の理解】</b> ●国際教育●日本の伝統・文化理解教育●メディアリテラシー教育●ICT教育<br>【説明】○国語「異文化」(1) ○社会「異文化の理解」(2)<br>○音楽「異文化の音楽を含めた我が国の音楽」(7)<br>○道徳「国際理解・国際観望」(1) |     |     |    |    |    |  |
| <b>【異文化の理解】</b> ●国際教育●日本の伝統・文化理解教育●メディアリテラシー教育●ICT教育<br>【説明】○国語「異文化」(1) ○社会「異文化の理解」(2)<br>○音楽「異文化の音楽を含めた我が国の音楽」(7)<br>○道徳「国際理解・国際観望」(1) |     |     |    |    |    |  |
| <b>【異文化の理解】</b> ●国際教育●日本の伝統・文化理解教育●メディアリテラシー教育●ICT教育<br>【説明】○国語「異文化」(1) ○社会「異文化の理解」(2)<br>○音楽「異文化の音楽を含めた我が国の音楽」(7)<br>○道徳「国際理解・国際観望」(1) |     |     |    |    |    |  |
| <b>【異文化の理解】</b> ●国際教育●日本の伝統・文化理解教育●メディアリテラシー教育●ICT教育<br>【説明】○国語「異文化」(1) ○社会「異文化の理解」(2)<br>○音楽「異文化の音楽を含めた我が国の音楽」(7)<br>○道徳「国際理解・国際観望」(1) |     |     |    |    |    |  |

- ★上段には、【学校必修】として扱っている各教科等の内容例とその配当授業時数例を示しています。
- ★下段には、【学校選択】として扱う総合的な学習の時間の単元名とその単元の配当授業時数を示しています。

### 4 単元の指導計画 (14時間扱い)

| 時間        | 主な学習活動・内容  | 育てたい資質・能力<br>◇自主・自律<br>◆人間関係<br>□社会参画<br>★評価                        | 指導上の留意点  |
|-----------|--|---|--|
| 1次<br>(3) | <b>【日本と世界の国々の生活や文化を比べる】</b><br>○A.L.Tや海外での生活経験がある教職員から外国の衣食住についての話を聞き、知らないことや調べたいことを考える。(1)<br>・主食の原料や調理方法の違いについて<br>・食事の準備・食器の扱い方について<br>・気候に応じた服装について<br>・住居の広さや設備について<br>○グループで調べたい国やテーマについて話し合い、調べる計画を立てる(2)<br>・食事 ・行事や風習<br>・服装 ・住居 等                              | ◇グローバル化に対応する力<br>★世界の国々の生活や文化を理解し、日本との違いについて考え、我が国の生活や文化への関心を高めている。 | ・児童に自分の生活と比べられるように、外国の衣食住について紹介する。<br>・テーマの設定は児童の興味・関心を基にするが、調べさせたいテーマがそうようにする。                  |
| 2次<br>(6) | <b>【世界の国々の生活や文化を調べる】</b><br>○テーマに沿って世界の国々の生活や文化を調べる。(4)<br>・食事 ・行事や風習<br>・服装 ・住居 等<br>○収集した情報をグループで共有し、ガイドブック作りの計画を立てる。(2)<br>・国やテーマを決めた理由<br>・調べた内容<br>・自分が調べて分かったことや考えたこと  | ◆他者と協働する力<br>★互いに協力して情報を集めたり、話し合ったりして、ガイドブック作りの計画を立てている。            | ・調べることを見出しを付けながらまとめるように助言する。   |
| 3次<br>(3) | <b>【ガイドブックを作る】</b><br>○外国へ旅行する人に、その国の生活や文化を紹介することを想定して、ガイドブックを作成する。(3)<br>・図や写真を入れて、視覚的にその国のよさを伝える。<br>・見出しや割り付けを工夫する。<br>・読む人が知りたい情報を入れる。等  | ◇問題発見・解決力<br>★世界には様々な国や異なる生活や文化があることに気づき、それらを尊重しながらガイドブックをまとめている。   | ・ガイドブックの構想を十分に考えさせてから、作成するように助言する。   |
| 4次<br>(2) | <b>【ガイドブックを交換し合い、自分の学習を振り返る】</b><br>○お互いのガイドブックを交換し合い、分かったことを伝える。(1)<br>・土地の気候に適した服装をしている。<br>・伝統的な行事を大切にしている。<br>・住居にも工夫がある。<br>○学習を振り返り、作文を書く。(1)<br>・実際に世界の国々を訪問して、生活や文化を体験したいと思った。<br>・日本の生活や文化と似ている点、異なる点がよく分かった。<br>・生活や文化を大切にしている人々の思いが分かり、自分も日本の伝統や文化を大切にしていきたい。 | ◇グローバル化に対応する力<br>★ガイドブックを交換し合い、自分の学習を振り返る。                          | ・自分が調べた内容との共通点や相違点を発見しながらガイドブックの内容を伝えるように指示する。<br>・外国の生活や文化を尊重する気持ちとともに、日本の伝統や文化にも関心がもてるように助言する。 |

- ★本単元で、児童・生徒に「育てたい資質・能力」の具体の評価規準を示しています。
- ★本単元の「学習過程」を示しています。

# 「カリキュラム市民」

題材とする主な教育課題

- キャリア教育 ●シティズンシップ教育
- 主権者教育 ●法教育 ●消費者教育
- 金融教育（金銭教育） ●租税教育
- 福祉教育 ●住教育 等

| 月   |   | 4月  | 5月 | 6月 | 7月   | 8月  | 9月  |
|-----|---|---|----|----|--|---|---|
| 学年  |   |   |    |    |  |   |   |
| 小学校 | 3 |   |    |    |  |   |   |
|     | 4 |   |    |    |  |   |   |
|     | 5 |   |    |    |  |   |   |
|     | 6 | <p><b>主題名</b>      <b>主題に関連する教育課題</b></p> <p>〈最上級生の役割と責任〉 ●シティズンシップ教育 ●キャリア教育 ●福祉教育</p> <p>【必修】○道徳「規則の尊重」「公正・公平・社会正義」(2)<br/>○特活「学級や学校の生活づくり」(1)</p> <p>【選択】★総合「1年生に教えてあげよう」(11)</p>                                    |    |    |  |   |   |
|     |   |   |    |    | <p>〈中学校生活への希望〉 ●キャリア教育 ●シティズンシップ教育 ●健康教育 ●ICT教育</p> <p>【必修】○体育(保健)「<b>病気の予防</b>」(8)<br/>○道徳「規則の尊重」「公正・公平・社会正義」(2)<br/>○特活「健康で安全な生活態度の育成」(1)</p> <p>【選択】★総合「中学校生活を体験しよう」(9)</p> |   |   |
|     |   |   |    |    |  |   |   |
| 中学校 | 1 | <p>〈中学校の一員として求められること〉 ●シティズンシップ教育 ●法教育</p> <p>【必修】○保健体育「球技(フェアなプレイの遵守・ルールの意義の理解)」(1)<br/>○道徳「遵法精神・公德心」「社会参画・公共の精神」(2)<br/>○特活「学級や学校の生活づくり」(1)</p> <p>【選択】★総合「輝く中学生を目指して」(17)</p>  |    |    |  |   | <p>【必修】各教科等において指導している教育課題に関連する内容</p> <p>【選択】★学校の特色化を図るために総合的な学習の時間で扱う内容</p> |
|     | 2 | <p>〈職場体験を通して自分の生き方を考える〉 ●キャリア教育 ●シティズンシップ教育 ●消費者教育 ●金融教育(金銭教育)</p> <p>【必修】○技術・家庭「消費者の基本的な権利と責任」「家庭生活と消費」(7)<br/>○道徳「遵法精神・公德心」「社会参画・公共の精神」(2)<br/>○特活「学ぶことと働くことの意義」「望ましい勤労観・職業観の形成」(2)</p> <p>【選択】★総合「自己実現を目指して」(33)</p> |    |    |  |   |   |
|     | 3 | <p>〈社会参画に向けて〉 ●防災教育 ●安全教育 ●シティズンシップ教育 ●主権者教育</p> <p>【必修】○社会「<b>大正デモクラシーと政党内閣の成立</b>」(4)<br/>○道徳「遵法精神・公德心」「生命の尊さ」「社会参画・公共の精神」(3)<br/>○特活「安全な生活態度や習慣」(2)</p> <p>【選択】★総合「もし学校が避難所になったら」(8)</p>                             |    |    |  | <p>〈上級学校訪問と進路選択〉 ●キャリア教育 ●シティズンシップ教育 ●ICT教育</p> <p>【必修】○道徳「遵法精神・公德心」(1)<br/>○特活「進路適性の吟味と進路情報の活用」(1)</p> <p>【選択】★総合「自分に合った進路選択を目指して」(11)</p> |   |

※表中の教育課題で、●主権者教育 と大きく示している所は、対応する下の「大正デモクラシーと政党内閣の成立」(4)の単元を、第2章「多様な教育課題に対応した【学校必修】として扱っている指導計画例」で取り上げている。  
 ※【必修】→【学校必修】、【選択】→【学校選択】、特活→特別活動、総合→総合的な学習の時間、を示している。

第3章 多様な教育課題に対応した【学校選択】として扱う指導計画例

「カリキュラム市民」のねらい

- 市民・消費者の権利と役割について理解し、市民としての消費行動・キャリア形成ができる能力を育成する。
- 主権者として権利の享受や責任・義務の履行、公的な事柄への関心や関与をもち、社会参加に必要な知識・技能、態度を育成する。
- 自分の行動と社会経済との関連を意識し、よりよい社会の実現に寄与しようとする態度を育成する。

| 10月  | 11月 | 12月 | 1月   | 2月 | 3月 |
|--|-----|-----|--|----|----|
| <p>〈町のバリアフリーを考える〉 ●福祉教育 ●シティズンシップ教育 ●ICT教育</p> <p>【必修】○社会「働く人とわたしたちの暮らし」(4)<br/>○道徳「規則の尊重」「公正・公平・社会正義」(2)<br/>○特活「望ましい人間関係の形成」(1)</p> <p>【選択】★総合「みんなにやさしい町」(12)</p>  |     |     |  |    |    |
| <p>〈働くことの意味や大切さ〉 ●キャリア教育 ●シティズンシップ教育 ●主権者教育</p> <p>【必修】○社会「町の安全を守るしごと」「特色ある地域と人々の暮らし」他(5)<br/>○道徳「勤労・公共の精神」「規則の尊重」「公正・公平・社会正義」(3)<br/>○特活「希望や目標をもって生きる態度の形成」(1)</p> <p>【選択】★総合「地域で働く人に学ぼう」(30)</p>   |     |     |  |    |    |
| <p>〈消費を通して自分を見つめる〉 ●金融教育(金銭教育) ●消費者教育 ●シティズンシップ教育</p> <p>【必修】○家庭「物や金銭の使い方と買物」(7)<br/>○道徳「規則の尊重」「公正・公平・社会正義」(2)</p> <p>【選択】★総合「私たちににかかるお金はいくら」(16)</p>  |     |     | <p>〈リーダーを引き継ぐ〉 ●シティズンシップ教育 ●キャリア教育</p> <p>【必修】○道徳「規則の尊重」「勤労・公共の精神」「よりよい学校生活、集団生活の充実」(3)<br/>○特活「希望や目標をもって生きる態度の育成」(1)<br/>「清掃などの当番活動等の役割と働くことの意義の理解」(1)</p> <p>【選択】★総合「最上級生になるには」(8)</p>   |    |    |
| <p>〈よりよい地域住民の一人として〉 ●シティズンシップ教育 ●租税教育 ●主権者教育 ●キャリア教育</p> <p>【必修】○社会「<u>私たちの願いを実現する政治</u>」(8)<br/>「<u>私たちの暮らしを守る日本国憲法</u>」(7)<br/>○道徳「規則の尊重」「公正・公平・社会正義」(2)<br/>○特活「清掃などの当番活動等の役割と働くことの意義」(1)</p> <p>【選択】★総合「これからの自分の暮らし」(13)</p>   |     |     |  |    |    |
| <p>〈町の暮らしをよくするために〉 ●シティズンシップ教育 ●防災教育 ●主権者教育 ●キャリア教育 ●住教育</p> <p>【必修】○社会「自然災害と防災への努力」「地域の自然災害に応じた防災対策」「調査の活動を通じた地域の課題の発見」(3)<br/>○道徳「遵法精神・公德心」「社会参画・公共の精神」(2)</p> <p>【選択】★総合「将来の町づくりのために」(19)</p>   |     |     | <p>〈将来の自分を見つめる〉 ●キャリア教育 ●シティズンシップ教育 ●ICT教育</p> <p>【必修】○数学「コンピュータの活用」(1)<br/>○技術・家庭「情報に関する技術」(5)<br/>○道徳「遵法精神・公德心」「社会参画・公共の精神」(2)<br/>○特活「希望や目標をもって生きる態度の育成」(1)</p> <p>【選択】★総合「10年後の私」(13)</p>  |    |    |
| <p>〈消費者の権利と役割〉 ●消費者教育 ●シティズンシップ教育 ●金融教育(金銭教育) ●法教育</p> <p>【必修】○技術・家庭「家庭生活と消費」「家庭生活と環境」(4)<br/>○道徳「遵法精神・公德心」「社会参画・公共の精神」(2)<br/>○特活「学級や学校の生活づくり」(1)</p> <p>【選択】★総合「賢い消費者になろう」(9)</p>  |     |     | <p>〈社会貢献の意義〉 ●福祉教育 ●シティズンシップ教育 ●ICT教育</p> <p>【必修】○国語「適切な情報を得て、考えをまとめる」(3)<br/>○理科「静電気と電流」(5) ○美術「映像メディアの活用」(1)<br/>○道徳「遵法精神・公德心」「社会参画・公共の精神」(2)<br/>○特活「社会の一員としての自覚と責任」(1)<br/>「ボランティア活動の意義の理解と参加」(1)</p> <p>【選択】★総合「ボランティアのすすめ」(20)</p> |    |    |
| <p>〈社会を形成する一員として〉 ●シティズンシップ教育 ●キャリア教育 ●主権者教育 ●租税教育</p> <p>【必修】○社会「<u>私たちの生活と社会保障</u>」「<u>これからの日本の財政と納税</u>」「<u>現代の民主政治</u>」「<u>住民としての地方の政治</u>」「合意形成 さまりの意義」他(20)<br/>○道徳「勤労」「遵法精神・公德心」「社会参画・公共の精神」(3)<br/>○特活「望ましい勤労観・職業観の形成」「男女相互の理解と協力」(2)</p> <p>【選択】★総合「20年後の私・未来の創造」(17)</p> |     |     |  |    |    |

※それぞれの教育課題は、現在も各教科等の学習内容を通して指導しており、その内訳を上段の【必修】の枠に示した。  
【選択】の枠には、各学校が特色ある教育活動として、総合的な学習の時間に位置付けて指導できるように、単元の指導計画例(★)を示した。なお、本カリキュラムモデルでは、複数の教育課題と教科等の指導を相互に関連付けて、効果的な指導が行えるよう、それらをつなぐための〈主題〉を設けた。

小学校

自主・自律

人間関係

社会参画

## 第3学年 総合的な学習の時間

## 「みんなにやさしい町」(12時間)

## 1 単元の目標

- ① 障害のある人や高齢者との交流や体験活動を通して、障害のある人や高齢者の感じ方や考え方を理解し、その人の立場に立って考えることができる。
- ② 障害のある人や高齢者と共に暮らしていくために、自分たちができることを考え、実践しようとする意欲を高める。

## 2 単元で育てたい資質・能力

## ◇自主・自律

「問題発見・解決力」

- ・提示された課題を基に、自分の課題を見付けること
- ・課題を解決するための方法を考え、実行すること

- ・疑似体験や調査活動を通して、障害のある人や高齢者が自分たちの住む町で共に暮らしていく上での課題を見付けるとともに、その解決に向けた方法を考え、実行する。

## ◆人間関係

「人間関係形成力」

- ・互いのよさを見付け、違いを認め、話し合うこと
- ・他者の気持ちを考えて行動すること

- ・友達と自分の考えを比較し、目的を達成するために自分たちができることを模索しながら話し合うとともに、障害のある人や高齢者の立場に立って、調査活動を行い、解決方法を考える。

## □社会参画

「主体的に計画・行動する力」

- ・集団や地域の一員として自分のことを考え、活動すること

- ・自分の住む町では、障害のある人や高齢者など様々な立場の人が自分たちと共に暮らしていることを理解し、地域の一員として自分ができることを考え、実践しようとする。

## 3 単元で扱う主な教育課題との関連

|            |  |
|------------|--|
| 福祉教育       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・疑似体験や調査活動を通して、障害のある人や高齢者の立場を理解し、自分たちの町で健康や安全を考え、支え合い、共に生きることの意義について考えることができるようにする。</li> <li>・地域で生活している障害のある人や高齢者が安心して暮らす上での課題を見付け、それに対して自分たちができる活動を考え、共によりよく生きようとする資質や能力を育てる。</li> </ul> |
| シティズンシップ教育 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会生活を営む一員として、地域で生活している障害のある人や高齢者に思いやりの心で接し、助け合って生活することへの意欲を高める。</li> </ul>   |
| I C T教育    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットを利用して調べたり、撮影した画像を利用して調査結果を記録したりすることで、目的に応じたI C T機器の利用方法を理解するとともに操作の技術の向上を図る。</li> </ul>   |

## 4 単元の指導計画（12 時間扱い）

| 時間        | 主な学習活動・内容  | 育てたい資質・能力<br>◇自主・自律<br>◆人間関係<br>□社会参画<br>★評価   | 指導上の留意点   |
|-----------|--|--|---|
| 1次<br>(3) | 問<br>い<br>を<br>も<br>つ<br><br>【みんなにやさしい町について考える】<br>○自分たちの町でみんなにやさしいと思う施設や設備、人によっては不便と思われる施設や設備について話し合う。(1)<br>・点字ブロックや音の出る信号<br>・道路の段差や階段<br>・駅の券売機の点字<br>・スライド式ではないドア 等<br>○障害のある人や高齢者の疑似体験をして、気付いたことを話し合う。(2)<br>・車いすに乗って校舎を巡る。<br>・アイマスクを付けて校舎を巡る。<br>・障害のある人や高齢者の立場に立つと、危険なことや不便なことがある。                              | ◇問題発見・解決力<br>★疑似体験や調査活動を通して、障害のある人や高齢者が、自分たちが住む町で共に暮らしていく上での課題を見付けている。                                 | ・自分の住む町に愛着と誇りをもてるように、「さらによくするために」という視点で話し合うように助言する。<br>・疑似体験での安全管理を徹底する。<br>・疑似体験をすることで障害のある人や高齢者の視点から考えられるようにする。 |
| 2次<br>(5) | 調<br>べ<br>る<br><br>【町でバリアやバリアフリーになっているところを調べる】<br>○町のバリアやバリアフリーになっているところを調べる。(2)<br>・段差がある場所にはスロープが設置されている。<br>・スロープがあるところは、段差になっていないので歩きやすい。<br>○調べたことや考えたことをまとめ、発表会をする。(3)<br>・音の出ない歩行者用信号機は危ないので、声を掛ける必要があると思った。<br>・点字ブロックのところに自転車が置かれていたところもあったので、改善しなければならないと思った。  | ◆人間関係形成力<br>★障害のある人や高齢者の立場に立って、調査活動を行い、問題解決策を考えている。<br>★友達と自分の考えを比較し、目的を達成するために、自分たちができることを考え、話し合っている。 | ・調査活動では、児童の安全が確保できる体制を整える。<br>・バリアを探す視点として、車いすを使用している人、視覚や聴覚に障害のある人、高齢者を意識させ、それぞれの立場に立って考えるように働きかける。              |
| 3次<br>(4) | 実<br>践<br>す<br>る<br><br>振<br>り<br>返<br>る<br><br>【バリアフリーの町にするために自分たちができることを考え、実践する】<br>○バリアフリーの町にするために自分たちができることを考え、実践する。(3)<br>・車いすの人が通るときは進んで道をあける。<br>・点字ブロックの上に自転車を置かないことを伝えるポスターを作成し、掲示する。<br>○自分の実践を振り返り、これから取り組んでみたいことを作文に書く。(1)<br>・近所の高齢者のごみ捨てを手伝いたい。<br>・高齢者や小さな子供の近くを自転車で走る時は気を付けたい。<br>・手話を覚えて障害のある人を助けてあげたい。 | □主体的に計画・行動する力<br>★自分の住む町では、障害のある人や高齢者など様々な立場の人が自分たちと共に暮らしていることを理解し、地域の一員として自分ができることを考え、実践しようとする。       | ・自分たちができることとして、実現可能な実践であるかどうかについてよく吟味するように働きかける。<br>・実践への意欲を高めるために、本学習が終了した後も、朝の会で実践したことを報告する機会を設定することを伝える。       |



小学校

人間関係

社会参画

未来の創造

## 第4学年 総合的な学習の時間

## 「地域で働く人に学ぼう」(30時間)

## 1 単元の目標

- ① 地域で仕事に携わっている人の働く様子を調べ、仕事を体験する活動を通して、働くことの意味や大切さについての理解を深め、社会を形成する一員としての自覚を高める。
- ② 地域で仕事に携わっている人の思いや生き方に関心をもち、将来就きたい職業を考え、仕事に対する興味・関心や夢・希望をもつことができる。

## 2 単元で育てたい資質・能力

## ◆人間関係

「他者と協働する力」

- ・目標に向けて、他者を尊重し、協力し合って活動すること

- ・地域で仕事に携わっている人の働く様子を調べる活動を通して、友達の考え方や調べ方のよさに気づき、自分の考え方や調べ方に生かすとともに、役割分担を明確にしながらか協力して活動する。

## □社会参画

「主体的に計画・行動する力」

- ・集団や地域の一員として自分のことを考え、活動すること

- ・地域における仕事に興味・関心をもちとともに、地域の仕事に携わっている人から仕事の内容について教えてもらって体験することで、仕事に取り組む姿勢を学び、働くことの意味や大切さを自分なりに考える。

## ■未来の創造

「持続可能な社会の実現に向けた実践力」

- ・身近な生活体験や自然体験を通して、自分の考えをもち課題解決に向けて行動すること

- ・社会で働いている人の思いや願い、生きがいについて触れることで、将来の仕事に対する興味・関心や夢・希望をもつ。

## 3 単元で扱う主な教育課題との関連

|            |  |
|------------|--|
| キャリア教育     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りには様々な仕事がたくさんあることに気づき、そこで働いている人の思いや願いを捉え、将来の仕事に対する興味・関心や夢・希望をもつことができるようにする。</li> <li>・社会で働いている人の存在を理解し、感謝の気持ちを高めるとともに、自分の役割について考え、積極的に仕事をする事への意識や態度を育てる。</li> </ul> |
| シティズンシップ教育 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会生活を営む一員として、私たちの生活を支える仕事を維持・発展させていくための役割を考え、仕事に就くことに対する興味・関心や意欲を高める。</li> </ul>   |
| 主権者教育      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の主権者として、働くことの意味について考え、社会に参画することへの興味・関心や意欲を高める。</li> </ul>  |

## 4 単元の指導計画（30時間扱い）

| 時間         |                                     | 主な学習活動・内容  | 育てたい資質・能力<br>◆人間関係<br>□社会参画<br>■未来の創造<br>★評価  | 指導上の留意点   |
|------------|-------------------------------------|--|---|---|
| 1次<br>(8)  | 問<br>い<br>を<br>も<br>つ               | <b>【地域の働く人を調べる】</b><br>○地域にはどのような仕事をしている人がいるのかについて調べる計画を立てる。(2)<br>・仕事の種類<br>・仕事に従事する人数 等<br>○地域にはどのような仕事があるのかについて調べる。(2)<br>・店員、看護師、警察官、図書館司書 等<br>○仕事別の従事者数をグラフにまとめ、特色について話し合う。(2)<br>・この地域には商業やサービス業で働く人がいる。<br>○体験してみたい仕事を決め、活動計画を立てる。(2)                            | ■持続可能な社会の実現に向けた実践力<br>★働く人に興味・関心をもち、仕事調べに取り組んでいる。   | ・社会科で学習した商店や生産の仕事と関連させながら地域の仕事に興味・関心をもたせる。<br>・仕事体験が可能なリストを用意して、仕事の概要をつかませ、その中から選択できるようにする。         |
| 2次<br>(13) | 調<br>べ<br>る<br><br>実<br>践<br>す<br>る | <b>【働く人から学んで、仕事体験をする】</b><br>○自分が体験する仕事の様子についてグループごとに調べる。(4)<br>・仕事の内容<br>・働いている人の様子、思いや願い<br>○仕事体験について、お世話になる人と打合せをする。(1)<br>・仕事の内容や注意すること<br>○第1回の仕事体験をする。(3)<br>○中間報告会をする。(2)<br>・仕事の内容や学んだこと<br>・次の体験で取り組みたいこと 等<br>○第2回の仕事体験をする。(3)                                 | ◆他者と協働する力<br>★友達のインタビューの仕方によってよかったところを取り入れている。<br><br>□主体的に計画・行動する力<br>★地域での仕事体験を通して、働くことの大切さを考え、活動に取り組んでいる。                  | ・仕事の工夫や努力、思いや願いに着目して調べられるようにワークシートに調べる視点を明記しておく。<br>・仕事体験の後には、「私の仕事日記」を書いて、自分の取組を振り返るようにする。         |
| 3次<br>(9)  | 振<br>り<br>返<br>る                    | <b>【学んだことから働くということを考える】</b><br>○仕事体験で学んだことをグループごとにまとめる。(4)<br>・学びとった仕事の工夫や技術<br>・働く人の思いや願い、生き方<br>・自分が学んだことや考えたこと 等<br>○「仕事体験発表会」を行う。(4)<br>・体験した仕事<br>・仕事の内容<br>・仕事をして考えたこと<br>・将来、仕事に就くことへの考え 等<br>○将来の仕事に対する興味・関心や夢・希望について作文を書く。(1)<br>・働くことの意義や大切さ<br>・仕事への憧れ、夢や希望 等 | ◆他者と協働する力<br>★役割分担を明確にしながら協力して活動に取り組んでいる。<br>■持続可能な社会の実現に向けた実践力<br>★社会で働いている人の思いや願い、生きがいについて触れることで、将来の仕事に対する興味・関心や夢・希望をもっている。 | ・お世話になった人を招待して、感想を述べてもらう場を設定する。<br><br>・働くことの意義や大切さを考えて、自分なりの考えを発表するように助言する。<br>・作文はお世話になった人にも紹介する。 |

小学校

自主・自律

人間関係

未来の創造

## 第5学年 総合的な学習の時間

## 「私たちにかかるお金はいくら」（16時間）

## 1 単元の目標

- ① 中学校に入学するまでにかかる費用を計算することを通して、金銭に関する知識や感覚を身に付ける。
- ② 中学校に入学するまでにかかる費用について考えることを通して、多くの人や社会に支えられていることに気づき、社会の一員として、よりよい社会の形成に参画しようとする自覚を高める。

## 2 単元で育てたい資質・能力

## ◇自主・自律

「学びに向かう力」

- ・自分でめあてを決めて、見通しをもって取り組むこと
- ・集中力や持続力を発揮して取り組むこと

- ・中学校入学までにかかる費用について、自分なりのめあてや見通しをもって調べたり、計算したりする。

## ◆人間関係

「他者と協働する力」

- ・目標に向けて、多様な他者の考えや立場を理解して、他者と協力して行動すること

- ・中学校に入学するまでにかかる費用を調べる活動を通して、友達と共に考えを深め、協力し合って調査結果をまとめたり考察したりする。

## ■未来の創造

「持続可能な社会の実現に向けた実践力」

- ・身近な地域や社会で起きている問題に対して自分の考えをもち、自分なりに何ができるかを考え、実践すること

- ・中学校入学までに必要な費用を知ること、自分が多くの人や社会に支えられていることに気づき、家族や社会のために自分ができることを考え、実践しようとする。

## 3 単元で扱う主な教育課題との関連

|            |  |
|------------|--|
| 金融教育（金銭教育） | <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校入学までに必要な費用について考える活動を通して、金銭に対する理解を深める。</li> <li>・自分の成長に関わる費用について考える中で、金銭の機能を理解し、健全な金銭感覚を養う。</li> </ul> |
| 消費者教育      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な社会の実現に向けて、自分の行動と社会経済との関連を意識し、持続可能な社会へ寄与する消費生活を実践するとともに、諸問題について他者と協力して取り組むことができる能力を育てる。</li> </ul>   |
| シティズンシップ教育 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校入学までに必要な費用について考える活動を通して、自分が多くの人や社会に支えられていることに気づき、よりよい社会づくりに参加・貢献するために必要な資質や能力を育てる。</li> </ul>         |

## 4 単元の指導計画（16時間扱い）

| 時間        |              | 主な学習活動・内容   | 育てたい資質・能力<br>◇自主・自律<br>◆人間関係<br>■未来の創造<br>★評価  | 指導上の留意点  |
|-----------|--------------|---|--|--|
| 1次<br>(3) | 問いをもつ        | <p>【中学校入学までにかかる費用について考える】</p> <p>○昨日、自分が使ったお金について話し合う。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お小遣いで50円の飴を買った。</li> <li>・ご飯を食べるのにもお金がかかっている。</li> <li>・テレビの電気代も使っている。</li> </ul> <p>○中学校に入学するまでにかかる費用について考える。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校での教材費や宿泊行事の費用がかかっている。</li> <li>・中学校の入学時にも、制服や体操着をはじめ、教材費等の費用がかかる。</li> </ul>                                     | <p>◇学びに向かう力</p> <p>★身近な経験を基に、中学校入学までにかかる費用について、自分なりのめあてをもって調べる計画を立てている。</p>                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・小遣いの有無や消費活動の実態を話し合ったり、調査したりする際には、各家庭の状況等に十分配慮する。</li> </ul>                                      |
| 2次<br>(9) | 調べる          | <p>【計画を立てて、課題を解決する】</p> <p>○課題解決に向けて調べる計画を立てる。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食費、光熱費、教育費、娯楽費、生活費</li> <li>・電気代やガス代等の請求書を見る。</li> </ul> <p>○計画に沿ってグループで調べる。(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校の入学費用も含め、お金は今後、ますます増えると家族から聞いた。</li> <li>・いったい教育費は、高校や大学に行くまでにどのくらいになるのだろう。</li> <li>・光熱費は節約していけば減らすことができるので、生活を見直す必要がある。</li> </ul> <p>○調査結果をまとめる。(3)</p> | <p>◆他者と協働する力</p> <p>★課題解決の過程で友達と一緒に考えを深め、協力し合って調査結果をまとめたり、考察したりしている。</p>                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・食費、光熱費などの各分野の調査については、一般的な例として資料を提示して調べさせる。</li> <li>・調べた内容は、グラフや表等で示し、分かりやすく模造紙にまとめる。</li> </ul> |
| 3次<br>(4) | 発信する<br>振り返る | <p>【報告会を開き、自分たちの成長とそれに伴う費用について考える】</p> <p>○保護者を招き、調査報告会を行う。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各分野とも相当な金額になった。</li> <li>・総計を見ると、保護者の負担の大変さが分かった。</li> </ul> <p>○自分たちの成長と必要な費用について話し合い、自分のできることを作文にまとめる。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本当に必要な物を購入し、無駄使いはしない。</li> <li>・教科書の無償配布などは国民の税金によって支えられているので、教科書を大切に使用し、しっかり勉強していきたい。</li> </ul>                    | <p>■持続可能な社会の実現に向けた実践力</p> <p>★中学校入学までに必要な費用を知り、自らの生活を見つめ直し、家族や社会のためにできることを考え、実践しようとしている。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・報告会では参加者に感想を述べてもらう場を設定する。</li> <li>・自分たちの成長は、家族以外にも多くの人や社会に支えられていることに気付かせる。</li> </ul>           |

小学校

自主・自律

人間関係

社会参画

## 第5学年 総合的な学習の時間

## 「最上級生になるには」(8時間)

## 1 単元の目標

- ① 学校における6年生の役割について考え、6年生としての目標を立てることを通して、最上級生に向けての自覚と責任を果たすことへの意欲を高める。
- ② 最上級生として、学校のためになることや自分にできることを考え、責任をもって実践することができる。

## 2 単元で育てたい資質・能力

## ◇自主・自律

「学びに向かう力」

- ・自分でめあてを決めて、見通しをもって取り組むこと
- ・集中力や持続力を発揮して取り組むこと

- ・進級することについて自分なりのめあてや見通しをもって探究活動を進め、6年生になるための準備や感謝を伝えることについて、計画に沿って根気強く取り組む。

## ◆人間関係

「他者と協働する力」

- ・目標に向けて、多様な他者の考えや立場を理解して、他者と協力して行動すること

- ・6年生としての役割や責任について考えることを通して、最上級生としての立場に立って話し合ったり、下級生のことを考えてお互いに協力し合ったりして活動する。

## □社会参画

「主体的に計画・行動する力」

- ・集団や地域の一員として自分に求められている役割を自覚し、自分にできることを考え、活動すること

- ・学校行事や委員会活動、クラブ活動等での6年生の様子を知ることを通して、最上級生としての役割を考え、責任ある行動をとる。

## 3 単元で扱う主な教育課題との関連

|            |  |
|------------|--|
| シティズンシップ教育 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・6年生の役割について考える活動を通して、最上級生としてよりよい学校づくりに向けて自分たちができることを考えたり、実行したりしようとする意欲や態度を育てる。</li> </ul>                               |
| キャリア教育     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・6年生の役割を調べることを通して、最上級生になることについての自覚を育て、役割を果たそうとする意欲を育てる。</li> <li>・最上級生としての目標をもたせることで、一人一人に自立の基礎となる資質や能力を育てる。</li> </ul> |

## 4 単元の指導計画（8時間扱い）

| 時間        |             | 主な学習活動・内容  | 育てたい資質・能力<br>◇自主・自律<br>◆人間関係<br>□社会参画<br>★評価   | 指導上の留意点   |
|-----------|-------------|--|--|---|
| 1次<br>(1) | 問いをもつ       | <p>【6年生との思い出を振り返る】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○これまで6年生にお世話になったことについて考え、話し合う。(1/2)</li> <li>・委員会活動やクラブ活動でお世話になった。</li> <li>・運動会の係でお世話になった。</li> <li>○最上級生について調べる計画を立てる。(1/2)</li> <li>・6年生の様子を見学させてもらおう。</li> <li>・6年生の先生に聞いてみよう。</li> <li>・6年生にインタビューしてみよう。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>◇学びに向かう力</li> <li>★最上級生になることについて自分なりのめあてと見通しをもって活動に取り組んでいる。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が最上級生になったことを想起させることで、最上級生になることへの関心を高める。</li> <li>・計画を立てる際には、時間や場所、相手の状況を考えるように助言する。</li> </ul>  |
| 2次<br>(3) | 調べる<br>話し合う | <p>【最上級生について調べる】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○見学やインタビュー活動を通して、最上級生のことについて調べる。(1)</li> <li>・6年生が1年生の世話をしている場面を見学し、気を付けていることや苦勞していることを質問する。</li> <li>○最上級生の役割についてグループで話し合う。(1)</li> <li>・下級生のお手本</li> <li>・学校を支える役割</li> <li>・学校を代表する存在 等</li> <li>○最上級生の役割を知り、最上級生になった時の目標を立てる。(1)</li> <li>・委員会でリーダーシップをとる。</li> <li>・縦割り班活動で下級生を助ける。</li> <li>・運動会で応援団長になり、団員をまとめる。</li> <li>・クラブ活動で、下級生に教えてあげる。</li> <li>・学校の代表として、行動に責任をもつ。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>□主体的に計画・行動する力</li> <li>★6年生の様子を見ながら、最上級生になることへの自覚をもって探究活動を行っている。</li> <li>◆他者と協働する力</li> <li>★下級生のことを考えたり学校全体のことを考えたりしながら、最上級としての役割について友達の考えを参考にしながら話し合っている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・インタビュー活動をする際の注意点について確認しておく。</li> <li>・6年生が1年生に対する言葉遣いや接し方を工夫していることに気付かせる。</li> <li>・見学や6年生の担任への聞き取り、記録用紙等から活動状況を把握し、必要に応じて指導する。</li> <li>・目標は教室や廊下に掲示し、他学年の児童や保護者も見ることができるようにする。</li> </ul>             |
| 3次<br>(4) | 発信する        | <p>【決めた目標を6年生に伝える】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○作った目標を基にして、6年生に進級するまでに努力することを話し合う。(1)</li> <li>・最上級生としての責任</li> <li>・最上級生としての心構え</li> <li>・最上級生としての役割</li> <li>○6年生に感謝の気持ちや自分たちの決意を伝える方法を話し合う。(2)</li> <li>・伝える方法はどうしたらよいか。</li> <li>・6年生を送る会で発表したらどうか。</li> <li>・給食で会食をして、そこで発表したらどうか。</li> <li>・発表の仕方や会の内容を考える。</li> <li>○6年生に感謝の気持ちと自分たちの決意を伝える会を開く。(1)</li> <li>・最上級生としての責任、心構え、役割</li> <li>・6年生への感謝</li> <li>・6年生からの助言 等</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆他者と協働する力</li> <li>★6年生に進級するまでに努力することについて、友達の考えを参考にしながら話し合っている。</li> <li>□主体的に計画・行動する力</li> <li>★よりよい学校づくりに向けて、自分たち上級生が果たすべき役割を考えている。</li> </ul>                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・まとめる方法や発表方法を複数提示することで工夫を促す。</li> <li>・事前に6年生の担任と、発表会等について打ち合わせを行い、ねらいを明確にしておく。</li> <li>・事前に6年生にアドバイス等を考えておいてもらい、5年生の意欲を引き出してもらおうようにする。</li> <li>・会終了後、自分たちの決意表明について振り返り、次年度への意欲を持続させるようにする。</li> </ul> |

小学校

自主・自律

人間関係

社会参画

未来の創造

## 第6学年 総合的な学習の時間

## 「1年生に教えてあげよう」(11時間)

## 1 単元の目標

- ① 1年生に学校生活に関するきまりなどを教えることを通して、他者の多様な考えや立場を理解し、協力し合って活動することができる。
- ② 1年生が知っていると助かることを教える活動について、自分たちができることを考え、最上級生として自分たちに求められている役割を自覚し、実践することができる。

## 2 単元で育てたい資質・能力

## ◇自主・自律

「学びに向かう力」

- ・自分でめあてを決めて、見通しをもって取り組むこと
- ・集中力や持続力を発揮して取り組むこと

- ・1年生に教える活動について自分なりのめあてや見通しをもって探究活動を進め、自分たちが立てた計画に沿って根気強く実践する。

## ◆人間関係

「他者と協働する力」

- ・目標に向けて、多様な他者の考えや立場を理解して、他者と協力して行動すること

- ・1年生に教える活動を通して、1年生のやりたいことや知らないことに気づき、相手の立場に立って援助したり、協力し合ったりしながら活動する。

## □社会参画

「主体的に計画・行動する力」

- ・集団や地域の一員として自分に求められている役割を自覚し、自分にできることを考え、活動すること

- ・1年生の様子を知り、自分たちができることを考え、実行することで、学校における最上級生としての役割を自覚し、責任をもって行動する。

## ■未来の創造

「持続可能な社会の実現に向けた実践力」

- ・身近な地域や社会で起きている問題に対して自分の考えをもち、自分なりに何ができるかを考え、実践すること

- ・1年生に教える活動を通して考えた上級生が果たすべき役割について5年生に伝えるときにも、その役割を意識して実践する。

## 3 単元で扱う主な教育課題との関連

|            |   |
|------------|---|
| シティズンシップ教育 | ・1年生に教える活動を通して、最上級生として、よりよい学校づくりに向けて自分たちができることを考えたり、実行したりしようとする意欲や態度を育てる。                               |
| キャリア教育     | ・1年生に教える活動を通して、思いやりの気持ちを育て、相手の立場に立って考え、行動しようとする意欲を高める。<br>・自分のやりたい仕事やできそうな仕事を選び、役割と責任を果たそうとする意欲や態度を育てる。 |
| 福祉教育       | ・1年生一人一人を個人として尊重し、思いやりの心をもって援助し、共によりよく生きようとする態度を育てる。  |

## 4 単元の指導計画（11 時間扱い）

| 時間        | 主な学習活動・内容  | 育てたい資質・能力<br>◇自主・自律<br>◆人間関係<br>□社会参画<br>■未来の創造<br>★評価  | 指導上の留意点  |
|-----------|--|---|--|
| 1次<br>(2) | 問<br>い<br>を<br>も<br>つ<br><br>【1年生に教えてあげたいことを考える】<br>○最上級生として、1年生のためにできることを考え、話し合う。(1)<br>・給食当番の仕方を教える。<br>・朝学習の時に読み聞かせをする。<br>・休み時間に一緒に遊ぶ。<br>○1年生のお世話をすることについて調べる計画を立てる。(1)<br>・1年生の様子を見学させてもらう。<br>・1年生の先生に聞いてみる。<br>・1年生にどんなことが困っているか質問してみる。  | ◇学びに向かう力<br>★1年生のためにできることについて、自分なりのめあてや見通しをもって活動に取り組んでいる。   | ・自分が入学した頃のことを想起させることで、教える活動への興味・関心を高める。<br>・計画を立てる際には、時間や場所、相手の状況を考えるように助言する。                                  |
| 2次<br>(4) | 調<br>べ<br>る<br><br>実<br>践<br>す<br>る<br><br>【お世話をすると助かることを調べて、実践する】<br>○見学や1年生の担任へのインタビュー活動を通して、お世話をすることについて考える。(1)<br>○教えてあげると助かる内容について話し合う。(1)<br>・校庭遊びの時に気を付けること<br>・体力調査の方法 等<br>○グループに分かれて、お手伝いの計画を立てる。(2)<br>・実施期間や曜日<br>・担当の内容<br>・役割分担<br>・1年生との接し方について注意すること<br>※グループごとに、始業前や休み時間、給食準備の時間等で一定期間実施する。 | □主体的に計画・行動する力<br>★1年生の様子等を踏まえ、最上級生としての自覚をもって探究活動を行っている。<br><br>◆他者と協働する力<br>★1年生の立場を考えて、援助したり協力したりしながら活動している。 | ・活動の場面や機会、注意点を確認する。<br>・1年生の立場に立ち、言葉遣いや接し方を工夫するように指導する。<br>・1年生の担任への聞き取りの様子や記録用紙等から活動状況を把握し、必要に応じて指導する。        |
| 3次<br>(5) | 発<br>信<br>す<br>る<br><br>振<br>り<br>返<br>る<br><br>【活動して分かったことを5年生に伝える】<br>○実践して学んだことや来年最上級生になる5年生に伝えたいことをまとめる。(1)<br>・自分たちが取り組んだ活動と1年生や担任が思っていることや考えていること<br>・教える際の注意や心構え<br>○活動したことを5年生に伝える発表会を行う。(3)<br>○「最上級生として、今後頑張りたいこと」について作文を書く。(1)<br>・よりよい学校をつくることの意義<br>・最上級生の役割と責任<br>・自分の取組の目標 等                  | ◆他者と協働する力<br>★役割分担に沿って、協力して活動に取り組んでいる。<br>■持続可能な社会の実現に向けた実践力<br>★よりよい学校づくりに向けて、最上級生が果たすべき役割を考えて5年生に伝えている。     | ・まとめ方や発表方法を複数提示することで工夫することを促す。<br>・事前に5年生の担任と発表会について打ち合わせをしておく。<br>・作文は文集にまとめて学校図書館に置くことを伝えることで、目的意識や他者意識を高める。 |



小学校

自主・自律

人間関係

社会参画

## 第6学年 総合的な学習の時間

## 「中学校生活を体験しよう」(9時間)

## 1 単元の目標

- ① 体験学習を通して中学校生活について知り、自らの進路について前向きに考え、よりよい中学校生活を過ごすことへの意欲を高める。
- ② 体験先の中学校で出会う様々な人の立場や考えを理解し、将来の中学生としての自覚をもって、授業や部活動などの体験学習に参加することができる。

## 2 単元で育てたい資質・能力

## ◇自主・自律

「問題発見・解決力」

- ・課題を見付けること
- ・課題を解決するための方法と手順を考え、これまでの経験を踏まえて実行すること

・未知の学校生活での課題について考える学習を通して、小学校での様々な学習体験等を活用し、課題を解決する。

## ◆人間関係

「対人関係力」

- ・相手の立場に立ち、時と場をわきまえた礼儀正しい言動を行うこと
- ・相手の気持ちを共感的に受け止めて行動すること

・体験先の学校で出会う人の様々な考えを共感的に受け止め、相手の立場を考えて、多様な他者と積極的に交流する。

## □社会参画

「主体的に計画・行動する力」

- ・集団や地域の一員として自分に求められている役割を自覚し、自分にできることを考え、活動すること

・将来の中学生としての自覚をもち、自分の立場や役割を考え、友達と共に中学校での授業や部活動などの体験学習に参加する。

## 3 単元で扱う主な教育課題との関連

|            |   |
|------------|---|
| キャリア教育     | ・中学校生活に向けた自己の課題に気づき、進路について前向きに考え、社会的な自立への関心や意欲を高める。   |
| シティズンシップ教育 | ・中学校での授業や部活動などの体験学習を通して、社会参画に必要な知識・技能に対する関心や意欲を高め、多様な他者との関わりの中で自己実現を図ろうとする態度を育てる。             |
| 健康教育       | ・中学校の生活を知ること、規則正しい生活や運動の大切さ等を理解し、生涯を通じて健康課題をよりよく解決していく資質や能力の基礎を培う。                            |
| ICT教育      | ・情報通信ネットワーク等を活用し、中学校の学校行事や部活動などについて情報収集したり、プレゼンテーション用の機器やアプリケーション等を活用したりして、自分の考えを明確に伝える力を育てる。 |

## 4 単元の指導計画（9時間扱い）

| 時間        | 主な学習活動・内容   | 育てたい資質・能力<br>◇自主・自律<br>◆人間関係<br>□社会参画<br>★評価   | 指導上の留意点   |
|-----------|---|--|---|
| 1次<br>(3) | <p><b>問いをもつ</b></p> <p>【中学校生活について考える】</p> <p>○中学校の学校生活について、学校行事や授業、部活動等を中心に話し合う。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校則の内容</li> <li>・委員会活動の内容や回数</li> <li>・小学校と中学校の年間の学校行事の違い</li> <li>・教科担任制の授業や定期考査</li> <li>・部活動（運動部・文化部）等</li> </ul> <p>【体験学習について計画を立てる】</p> <p>○参加したい授業や部活動について話し合い、体験学習の計画を立てる。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どのような部活動や授業があるのか。等</li> </ul> <p><b>調べる</b></p> <p>【中学校生活や体験学習を調べる】</p> <p>○体験する活動や訪問上の注意点等について調べる。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国語や外国語（英語）、保健体育や技術・家庭等の授業の内容や取り組み方の違い</li> <li>・運動部や文化部等の練習やきまり 等</li> </ul> | <p>◇問題発見・解決力</p> <p>★中学校生活に興味・関心を持ち、課題を見付けている。</p> <p>◇問題発見・解決力</p> <p>★小学校での経験を基にして、体験学習での課題を設定し、自分が参加したい授業や体験したい部活動を決めている。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験学習では、事前に中学校と連絡調整し、児童が多様な教科をバランスよく選択できるよう、リストを用意する。</li> <li>・部活動は、各自の特性に応じて選択するように助言する。</li> <li>・近隣の中学校から学校案内等を取り寄せ、資料活用できるようにする。</li> <li>・体験学習について調べた後、課題をワークシートに書くように促す。</li> </ul> |
| 2次<br>(3) | <p><b>実践する</b></p> <p>【中学校での活動を体験する】</p> <p>○授業や部活動を体験する。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に、中学校の教員や中学生の説明を聞く。</li> <li>・事前学習用シート等にメモをとる。</li> <li>・校内の施設を見学する。</li> <li>・授業に参加する。</li> <li>・実際に部活動等を見学し、体験する。</li> </ul> <p>○授業や部活動等の体験後、自己の課題に関する質問を中学生や中学校の職員にする。(1)</p>   | <p>◆対人関係力</p> <p>★体験先で出会う人の様々な考えを共感的に受け止めている。</p> <p>□主体的に計画・行動する力</p> <p>★将来の中学校の一員としての自覚をもって友達と共に体験学習に参加している。</p>              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・聞き取りや学習シートで体験状況を把握し、指導に生かす。</li> </ul>  |
| 3次<br>(3) | <p><b>発信する</b></p> <p><b>振り返る</b></p> <p>【体験学習で学んだことを発表する】</p> <p>○中学校での体験学習で学んだことをグループごとにまとめる。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科担任制の授業では、計画を立て、自主的・自律的に学ぶ姿勢が大切である。</li> <li>・運動部の活動で健康が増進されるとともに、大切な友人ができる。等</li> </ul> <p>○「中学校体験発表会」を行う。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校に入学するまでに、自分たちが準備すること 等</li> </ul> <p>○中学校の入学に向けて作文を書く。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生としての自覚や責任</li> <li>・中学校生活での目標や抱負 等</li> </ul>  | <p>□主体的に計画・行動する力</p> <p>★体験で学んだことから、来年度、中学生となる自分の課題や役割を考え、解決の方法を発表したり、作文に書いたりしている。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校への進学不安を取り除き、進路について前向きに捉え、意欲がもてるように配慮する。</li> </ul>   |

小学校

自主・自律

人間関係

社会参画

## 第6学年 総合的な学習の時間

## 「これからの自分の暮らし」(13時間)

## 1 単元の目標

- ① 税金と自分たちの暮らしとの関わりを理解することで、社会への参画意識を高め、友達と協力しながら、よりよい地域づくりについて考えることができる。
- ② 地域の公共施設で働く人々に学ぶことで、地域社会の一員としての自覚を高め、地域のために自分ができることを提案し、実践することができる。

## 2 単元で育てたい資質・能力

## ◇自主・自律

「問題発見・解決力」

- ・課題を見付けること
- ・課題を解決するための方法と手順を考え、これまでの経験を踏まえて実行すること

- ・身近な税金や公共施設等について考えることで、地域社会の課題を見付け、その課題解決の方策を考える。

## ◆人間関係

「人間関係形成力」

- ・互いのよさを発見し、違いを認め、話し合うこと
- ・他者とのことを考えて行動し、互いに認め合うこと

- ・友達の考えのよさを見付け、尊重しながら自らの考えを深め、税金の役割やよりよい地域社会の在り方について、話し合う。

## □社会参画

「主体的に計画・行動する力」

- ・集団や地域の一員として自分に求められている役割を自覚し、自分にできることを考え、活動すること

- ・地域の課題を見付けたり、公共施設等で働く人の話を聞いたりすることを通して、地域の一員としての自覚を深め、自分にできることを提案する。

## 3 単元で扱う主な教育課題との関連

|            |  |
|------------|--|
| シティズンシップ教育 | ・自分の住む地域を支える人からの話を聞き、自己実現を図るとともに、よりよい地域の実現に寄与するために、多様な他者と積極的に関わり、自分の考えを実践しようとする態度を育てる。 |
| 租税教育       | ・公共施設等と税金の在り方について考えることで、将来の納税者としてよりよい地域づくりのために実践できる資質や能力を育てる。                          |
| 主権者教育      | ・地方自治は住民自治を基本としている視点から、主権者としてよりよい地域づくりについて考える力を育てる。                                    |
| キャリア教育     | ・地域を支える様々な人と触れ合ったり、よりよい地域について友達と話し合ったりすることを通して、自分の生き方について考える力を育てる。                     |

## 4 単元の指導計画（13 時間扱い）

| 時間        | 主な学習活動・内容  | 育てたい資質・能力<br>◇自主・自律<br>◆人間関係<br>□社会参画<br>★評価   | 指導上の留意点  |
|-----------|--|--|--|
| 1次<br>(4) | <p><b>問いをもつ調べる</b></p> <p>【税金と自分たちの暮らしについて考える】<br/>○日常の生活体験を基に、税金について考え、話し合う。(1)<br/>・消費税、所得税、自動車税 等<br/>・税金を納めることは国民の義務<br/>・税金の使用目的<br/>○地域の暮らしを豊かにするための税金の役割について、各自の課題を見付ける。(2)<br/>・医療、介護、年金、子育て等の社会保障にかかる費用について<br/>・教育の充実や住民の安全について</p> <p>【公共施設で働く人の話を聞く活動の計画を考える】<br/>○公共施設等で働く人の話を聞く活動の計画を立て、グループごとに公共施設等で働く人への質問を考える。(1)</p> | <p>◆人間関係形成力<br/>★税金の意義や役割について友達の考えを聞き、自分の考えを深めながら話し合っている。<br/>◇問題発見・解決力<br/>★地域を支える人の話から、地域づくりへ貢献するための計画を立てている。</p>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会科の税に関する学習を想起させる。</li> <li>・事前に中学生の「税の作文」を用意し、税金に関して考えさせておく。</li> <li>・地域にある税務署の人と連携し、資料等を活用できるようにする。</li> <li>・課題が、公共施設で働く人への質問に反映できるようにする。</li> </ul> |
| 2次<br>(4) | <p><b>実践する振り返る</b></p> <p>【公共施設等で働く人の話を聞く活動の計画を考える】<br/>○グループごとに公共施設の様子を調べ、働く人の話を聞く。(2)<br/>・社会福祉施設の役割やサービス<br/>・社会福祉施設で働く人の思い<br/>・消防署で働く人の思い<br/>・警察署で働く人の安全な町づくりへの取組や願い 等<br/>○話を聞いて、よりよい地域づくりのためにできることを振り返り、自分が提案できることについて考える。(2)<br/>・暮らしに必要な法やきまりの意義<br/>・生活のために果たす義務<br/>・安全なまちを目指した「安全マップ」づくり<br/>・ボランティアとしての社会福祉施設訪問 等</p>    | <p>◆人間関係形成力<br/>★公共施設等で働く人の話を聞いて、自分の提案を考えている。<br/>□主体的に計画・行動する力<br/>★地域の一員として自分に求められている役割を自覚し、自分にできることを考えて活動し、振り返っている。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設では地域の人のためにどのような取組をしているのかに着目して話を聞くように働きかける。</li> <li>・地域の中での自分の役割について振り返り、よりよい地域づくりのために自分ができていることを具体的に考えさせる。</li> </ul>                               |
| 3次<br>(5) | <p><b>発信する</b></p> <p>【よりよい地域づくりの発表会を行う】<br/>○調査活動や働く人の話で得た情報を基にして、グループごとに地域をよりよくするための提案について発表し合う。(3)<br/>・幼児、高齢者、障害のある人のために自分たちができること<br/>・公共の場を気持ちよく過ごせるようにするための工夫<br/>○地域の一員として、公共施設で働く人から学んだことや自分たちがやるべきことなどを新聞としてまとめる。(2)</p>   | <p>□主体的に計画・行動する力<br/>★地域の一員としての自覚をもち、地域をよりよくするための提案を発表している。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・誰もがよりよく暮らすことができるようにという視点から、実現可能な提案ができるように働きかける。</li> <li>・完成した新聞は訪問した各公共施設に届けることを事前に知らせる。</li> </ul>   |

中学校

自主・自律

人間関係

社会参画

## 第1学年 総合的な学習の時間

## 「輝く中学生を目指して」(17時間)

## 1 単元の目標

- ① 中学校の学習や生活に関するきまりについて考える活動を通して、その意義や役割を理解し、自主的・自律的に行動することができる。
- ② 上級生や卒業生の努力や活躍を調べることで、自分たちが学校の一員としての誇りと自覚をもち、よりよい中学校生活を送るためにできることを考え、実践することができる。

## 2 単元で育てたい資質・能力

## ◇自主・自律

「問題発見・解決力」

- ・日常生活や社会状況から課題を見付けること
- ・課題を解決するための方法と手順を考え、これまでの経験や様々な情報を基に実行すること

- ・小学校生活と中学校生活との違いから、中学生として求められる行動について考えるとともに、上級生の様子等を調べることで、中学生としてふさわしい行動を考え、実行する。

## ◆人間関係

「他者と協働する力」

- ・目標に向けて、多様な他者の考えや立場を理解して、進んで他者と協力して行動すること

- ・上級生たちの立場や思い、自分たちの学校の素晴らしさを調査活動から理解し、友達と共に、自分たちが学校の一員であることを自覚し、中学生としてふさわしい行動をする。

## □社会参画

「主体的に計画・行動する力」

- ・社会の一員として自分に求められている役割を自覚し、社会の発展に貢献するために活動すること

- ・自分の学校の自慢できることを調べたり発表したりすることで、自分が学校の一員であることの自覚と責任をもち、進んでよりよい学校づくりに向けた活動を行う。

## 3 単元で扱う主な教育課題との関連

|            |   |
|------------|---|
| シティズンシップ教育 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの学校が自慢できることを調べることで、学校の一員としての誇りと責任を自覚させ、学校をよりよくしようとする態度を育てる。</li> <li>・よりよい学校づくりに向けて自分たちが取り組むことを考え、実践することで、よりよい学校生活の実現に寄与する素地を養う。</li> </ul> |
| 法教育        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校のきまりについて考えることを通して、その意義を理解するとともにそれらを遵守し、他者の権利を大切にすることや自己の義務を確実に果たそうとする態度を育てる。</li> </ul>   |

## 4 単元の指導計画（17 時間扱い）

| 時間        |                       | 主な学習活動・内容   | 育てたい資質・能力<br>◇自主・自律<br>◆人間関係<br>□社会参画<br>★評価                                     | 指導上の留意点   |
|-----------|-----------------------|---|--|---|
| 1次<br>(3) | 問<br>い<br>を<br>も<br>つ | <p>【中学校の生活について考える】</p> <p>○小学校生活と中学校生活との違いや、その理由について話し合う。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科担任制、制服、部活動</li> <li>・中学生らしい態度、周囲からの期待 等</li> </ul> <p>○学校生活や社会生活において、中学生に求められる行動について考える。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規則を守る、学業に励む、部活動で活躍する。</li> <li>・地域のボランティア活動に取り組む。等</li> </ul>  | <p>◇問題発見・解決力</p> <p>★小学校生活と中学校生活との違いから、中学生として求められる行動について考えている。</p>               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校での生活を想起させ、中学校生活と対比させることで課題を見いだせるようにする。</li> </ul>                                  |
| 2次<br>(5) | 調<br>べ<br>る           | <p>【上級生の学校や地域での取組を調べる】</p> <p>○上級生が学校や地域での生活において頑張っていることや努力していることを調べる計画を立てる。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習面や生活面での頑張りに</li> <li>・部活動の状況や卒業生の活躍</li> <li>・地域での頑張りの活躍 等</li> </ul> <p>○上級生が学校や地域での生活において頑張っていることや努力していることを調べる。(4)</p>  | <p>□主体的に計画・行動する力</p> <p>★上級生たちの頑張りの努力を調べる活動を通して、学校の一員であることの自覚と責任をもっている。</p>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・取材をする際に注意することを確認する。</li> <li>・調査結果をまとめる際には、人権や著作権に配慮するように指導する。</li> </ul>             |
| 3次<br>(7) | 実<br>践<br>す<br>る      | <p>【自分の学校のよさを紹介し合う】</p> <p>○調べたことを基に自分の学校のよさを紹介する発表会の計画を立てる。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的 ・方法 ・紹介する内容</li> <li>・参加者 ・役割分担 等</li> </ul> <p>○紹介する会の準備をする。(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・配布資料やプレゼンテーション資料の作成</li> <li>・練習や事前のリハーサル</li> </ul> <p>○紹介する会を開催する。(2)</p>   | <p>◆他者と協働する力</p> <p>★発表会の実施に向けて、友達と協力して計画を立てたり、準備したりしている。</p>                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表した内容について互いに尊重するように助言する。</li> <li>・発表後に招待者からの感想を聞き、自分たちへの思いや期待を把握するようにする。</li> </ul> |
| 4次<br>(2) | 振<br>り<br>返<br>る      | <p>【自分の学校をよりよくするために、自分たちが取り組むことを考える】</p> <p>○自分が、上級生たちと共に学校をよりよくするために取り組みたいことを作文に書く。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習と部活動との両立を図りたい。</li> <li>・地域のボランティア活動に進んで取り組みたい。</li> </ul> <p>○自分たちがこの学校に通う中学生として、あるべき姿や行動目標を考え、学級スローガンにまとめる。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「人に優しく、自分に厳しく行動しよう！」</li> <li>・「新たなことにトライ！○○中生」</li> </ul> | <p>□主体的に計画・行動する力</p> <p>★自分自身が学校の一員であることの自覚と責任を理解し、進んでよりよい学校づくりに向けた活動を考えている。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人が学校の一員としての自覚をもち、考えることができるように助言する。</li> <li>・作成したスローガンを教室に掲示する。</li> </ul>         |

中学校

自主・自律

社会参画

未来の創造

## 第1学年 総合的な学習の時間

## 「将来の町づくりのために」(19時間)

## 1 単元の目標

- ① よりよい町づくりのための調査活動を通して、町の課題を自らの課題として考え、解決に向けての提案をすることができる。
- ② 自分たちの町をよりよくするための提案を行うことで、社会の一員としての自覚と責任をもたせ、よりよい社会をつくる担い手として実践することができる。

## 2 単元で育てたい資質・能力

## ◇自主・自律

「問題発見・解決力」

- ・日常生活や社会状況から課題を見付けること
- ・課題を解決するための方法と手順を考え、これまでの経験や様々な情報を基に実行すること

- ・町をよりよくするための課題を見付け、自分たちにできる解決策を明らかにするための調査方法を考える。

## □社会参画

「主体的に計画・行動する力」

- ・社会の一員として自分に求められている役割を自覚し、社会の発展に貢献するために活動すること

- ・調査活動を行うことを通して、地域に暮らす一員としての自覚を深め、よりよい町づくりのために調査結果を分析する。

## ■未来の創造

「持続可能な社会の実現に向けた実践力」

- ・身近な地域や社会で起きている問題を自分の生活と関連付けて捉え、自分に何ができるかを考え、実践すること

- ・アンケート等の調査結果から、自分たちの町をよりよくするために自分たちに何ができるかという視点で改善策を考え、実践すべきことを発表する。

## 3 単元で扱う主な教育課題との関連

|            |   |
|------------|---|
| シティズンシップ教育 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・よりよい町づくりに向けて、自分たちが取り組むことを考えて提案することで、社会の一員としての自覚と責任を育てる。</li> <li>・よりよい町づくりについて考えることを通して、よりよい社会の実現に寄与するための必要な資質や能力を育てる。</li> </ul> |
| 防災教育       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然災害に対する自助、共助の精神を養うとともに、自他の生命を尊重し、安全で安心な社会づくりの視点から、よりよい町づくりについての実践的な態度を育てる。</li> </ul>  |
| 主権者教育      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地方自治は住民自治を基本としている視点から、主権者としてよりよい町づくりについて考え、地域社会の形成者としての資質や能力を育てる。</li> </ul>  |
| キャリア教育     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・よりよい町づくりについて考えることを通して、社会の中で自分の役割を果たし、自分らしい生き方を実現していこうとする態度を育てる。</li> </ul>  |
| 住教育        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・町の暮らしの改善策を考えることで、住生活や住環境をより豊かにしていこうとする資質や能力を育てる。</li> </ul>   |

## 4 単元の指導計画(19時間扱い)

| 時間         |       | 主な学習活動・内容   | 育てたい資質・能力<br>◇自主・自律<br>□社会参画<br>■未来の創造<br>★評価  | 指導上の留意点  |
|------------|-------|---|--|--|
| 1次<br>(3)  | 問いをもつ | <p>【町の現状について考える】</p> <p>○町のよい点や改善すべき点について話し合い、理想の町の姿を考える。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人々のマナーがよい。</li> <li>・道が狭く、見通しがよくない。</li> <li>・誰にでもやさしい町にしたい。</li> <li>・災害に強い町にしたい。</li> </ul> <p>○町の現状を把握し、理想の町づくりのために必要な情報を収集・分析する方法を考える。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町の人へのアンケートやインタビューの実施</li> <li>・町の状況を把握するための実地踏査 等</li> </ul>   | <p>◇問題発見・解決力</p> <p>★町をよりよくするための課題を見付け、自分たちに何ができるかという視点を持ち、解決に向けての調査方法を具体的に考えている。</p>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・町に暮らす一員としての視点から理想の町を考えるように助言する。</li> <li>・調査目的や実現の可能性を明確にして、計画を立てるように指導する。</li> </ul>    |
| 2次<br>(11) | 調べる   | <p>【自分たちの町を調査する】</p> <p>○調査計画を立て、アンケート用紙の作成や実地踏査の場所の選定を行う。(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町のよい点や改善していきたい点</li> <li>・自慢できる場所や改善したい場所</li> </ul> <p>○計画に従って調査を実施する。(5)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート用紙の配布及び回収</li> <li>・実地踏査やインタビューの実施及び記録</li> </ul> <p>○調査結果をまとめる。(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町並みの美しさが町の自慢だ。</li> <li>・マナーを守らない人への不満が多い。</li> </ul> | <p>□主体的に計画・行動する力</p> <p>★相手の立場をよく考えて調査活動に取り組み、地域に暮らす一員としての自覚を深め、よりよい町づくりに向けて調査結果を分析している。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者や町の人を対象に実施するアンケートの内容は、人権上の配慮等に十分注意するように指導する。</li> <li>・校外学習での注意事項の指導を徹底する。</li> </ul> |
| 3次<br>(5)  | 振り返る  | <p>【町の暮らしの改善策と理想とする町の将来像を考える】</p> <p>○調査結果を基に、自分たちの町の暮らしの改善策を検討し、報告書にまとめて発表する。(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駐輪スペースを確保するように行政に提案し、点字ブロック上に駐輪することがないようにする。</li> <li>・高齢者と中学生との交流会や、町全体でできるボランティアを実施する。</li> </ul> <p>○発表された改善策を基に、理想とする将来の町の姿について考え、自分が今できることを作文に書く。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、点字ブロック上に駐輪しないよう気を付けたい。</li> </ul>                                    | <p>■持続可能な社会の実現に向けた実践力</p> <p>★調査結果を基に自分たちの町をよりよくするために、実現可能な改善策を考え、発表している。</p>                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域社会の一員であるという自覚に立って、改善策を考えるように助言する。</li> <li>・作文を提示し、互いの考えを共有できるようにする。</li> </ul>        |



中学校

自主・自律

社会参画

未来の創造

## 第1学年 総合的な学習の時間

## 「10年後の私」(13時間)

## 1 単元の目標

- ① 自分が将来就きたい仕事について調べたり、友達と紹介し合ったりする活動を通して、社会には様々な職業があることを理解し、自己の進路や生き方について考えることができる。
- ② 10年後の私についての新聞を作成する活動を通して、自分の目標や夢の実現に向けての意欲を高める。

## 2 単元で育てたい資質・能力

## ◇自主・自律

「問題発見・解決力」

- ・日常生活や社会状況から課題を見付けること
- ・課題を解決するための方法と手順を考え、これまでの経験や様々な情報を基に実行すること

- ・日常生活やこれまでの経験から調べたい職業について考えるとともに、自分の将来の姿を想像しながら、その職業に求められる資質や資格を調べる。

## □社会参画

「主体的に計画・行動する力」

- ・社会の一員として自分に求められている役割を自覚し、社会の発展に貢献するために活動すること

- ・社会には様々な職業があり、多くの人々の支えで自分の生活が成り立っていることを理解し、働くことで自分も社会の発展に貢献しようとする。

## ■未来の創造

「持続可能な社会の実現に向けた実践力」

- ・身近な地域や社会で起きている問題を自分の生活と関連付けて捉え、自分に何ができるかを考え、実践すること

- ・職業を調べる活動を通して、働くことの意義や大切さを理解し、将来の社会で自分に何ができるかについて考えながら、「10年後の私」と題した新聞を作成する。

## 3 単元で扱う主な教育課題との関連

|            |  |
|------------|--|
| キャリア教育     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な職業について調べる活動を通して、働くことの目的を考えさせ、望ましい勤労観や職業観の形成の基礎を培う。</li> <li>・自分が望む職業とその職業の適性を考えることで、将来の自分の生き方について見直す力を育てる。</li> </ul> |
| シティズンシップ教育 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・職業を調べることで自分が多くの人々に支えられていることを理解させ、社会の一員として、社会をよりよくしようとする態度を育てる。</li> </ul>  |
| ICT教育      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「10年後の私」と題した新聞の作成を通して、情報の発信や目的に応じた情報を適切に活用する能力を育てる。</li> </ul>   |

## 4 単元の指導計画（13 時間扱い）

| 時間        |                            | 主な学習活動・内容  | 育てたい資質・能力<br>◇自主・自律<br>□社会参画<br>■未来の創造<br>★評価  | 指導上の留意点   |
|-----------|----------------------------|--|--|---|
| 1次<br>(5) | 問<br>い<br>を<br>も<br>っ<br>つ | <p>【職業について話し合う】</p> <p>○自分が興味・関心をもっている仕事について友達と話し合う。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護士、医師、看護師、理容師、消防士、スポーツ選手、エンジニア 等</li> </ul> <p>○様々な職業と働く人の適性について考え、発表する。(2)</p> <p>○働くことの目的について話し合い、調べたい職業を選択する。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家族のため、賃金のため、名誉や社会的地位のため、世の中の役に立つため 等</li> </ul> <p>○様々な職業とその職業に必要な資格について調べる計画を立てる。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護士になるためにはどのような資格がいるのか。 等</li> </ul> | <p>◇問題発見・解決力</p> <p>★日常生活やこれまでの経験から、調べたい職業について考えるとともに、その職業に求められる資質や資格について調べている。</p>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職業に対する偏見や差別、個の家庭状況等に十分配慮する。</li> <li>・ 調べたい職業について、選択した理由等を丁寧に振り返ることで、働くことの意義について考えさせるようにする。</li> </ul>   |
| 2次<br>(4) | 調<br>べ<br>る                | <p>【職業と資格について調べる】</p> <p>○計画に沿って、自分が選んだ職業について調べる。(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医師になるには大学の医学部を出て、国家試験に合格する必要がある。</li> <li>・ 建設業に従事する人は、自分が関わった建造物に誇りをもっている。</li> </ul> <p>○自分が選んだ職業について、分かったことや考えたことをまとめる。</p>   | <p>□主体的に計画・行動する力</p> <p>★社会には様々な職業があり、多くの人の支えで自分の生活が成り立っていることを理解し、働くことで自分も社会に貢献しようとしている。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分が調べている職業について理解が深まるように個別に支援する。</li> <li>・ インタビューするときには、あらかじめ質問する内容を明確にするように指導する。</li> </ul>   |
| 3次<br>(4) | 振<br>り<br>返<br>る           | <p>【「10年後の私」と題する新聞を作る】</p> <p>○自分たちが調べた職業について発表会を開いて紹介し合う。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 将来就きたい職業</li> <li>・ 必要な資格や求められる資質</li> <li>・ 仕事の苦労ややりがい</li> <li>・ 自分の将来の夢の実現に向けた取組</li> </ul> <p>○学習を振り返り、「10年後の私」と題する新聞にまとめる。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 弁護士になるために、司法試験の勉強をしてみたい。</li> <li>・ 簿記等の資格をとって、会計事務所で働いてみたい。</li> <li>・ 教師になるために教員免許を取得し、採用試験を受けたい。</li> </ul>                                      | <p>■持続可能な社会の実現に向けた実践力</p> <p>★将来の社会で自分に何ができるかについて考えながら、「10年後の私」と題する新聞を作っている。</p>             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発表する手順について確認するとともに、将来の夢の実現に向けての自分の取組についても具体的に考えるように助言する。</li> <li>・ 5年後は高校を卒業すること、8年後は成人となっていることなど、自分の成長の具体的なイメージがもてるようにする。</li> <li>・ 新聞作りに際し、ICT機器を有効に活用できるようにする。</li> </ul> |

中学校

自主・自律

社会参画

未来の創造

## 第2学年 総合的な学習の時間

## 「自己実現を目指して」(33時間)

## 1 単元の目標

- ① 職場体験を通して、働くことの意味や大切さについて考え、社会を形成する一員としての自覚を高める。
- ② 職場体験を通して、自分の将来のあるべき姿を想像し、将来につなげるための自分の課題を考え、解決するために努力しようとする。

## 2 単元で育てたい資質・能力

## ◇自主・自律

「生活をよりよくする力」

- ・望ましい生き方について考え、適切な行為を選択し、実践すること

- ・自らの生活や自己を見つめ直し、将来の自分を想像しながら、よりよい生き方を考え、生活の向上を図ろうとする。

## □社会参画

「主体的に計画・行動する力」

- ・社会の一員として自分に求められている役割を自覚し、社会の発展に貢献するために活動すること

- ・働くことや様々な職業の社会的な役割と意義を理解し、社会の一員としてよりよい未来のために自分にできることを考え、実践する。

## ■未来の創造

「持続可能な社会の実現に向けた実践力」

- ・身近な地域や社会で起きている問題を自分の生活と関連付けて捉え、自分に何ができるかを考え、実践すること

- ・職場体験を通して、自らの将来について想像し、将来へつなげるための現在の自己の課題を考え、解決するために努力しようとする。

## 3 単元で扱う主な教育課題との関連

|            |   |
|------------|---|
| キャリア教育     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・働くことの意味や勤労の尊さを体得し、働く人の思いに触れることで、職業に対する関心を高め、理解を深める。</li> <li>・働いている人との交流を通して、社会人としての基本的なマナーや言葉遣いを身に付けることができるようにする。</li> </ul> |
| シティズンシップ教育 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な職業がもつ社会的な役割や意義の理解を通して、社会をよりよくしようとする意識を高め、積極的に生涯にわたって学び続けようとする態度を育てる。</li> </ul>  |
| 消費者教育      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・職場体験を通して、消費者の権利と役割について理解し、それに基づいた意思決定と消費行動を実践する態度を育てる。</li> </ul>   |
| 金融教育（金銭教育） | <ul style="list-style-type: none"> <li>・働くことに対する金銭的な価値について考え、健全な勤労観を育てる。</li> </ul>   |

## 4 単元の指導計画 (33 時間扱い)

| 時間         |       | 主な学習活動・内容   | 育てたい資質・能力<br>◇自主・自律<br>□社会参画<br>■未来の創造<br>★評価   | 指導上の留意点   |
|------------|-------|---|---|---|
| 1次<br>(4)  | 問いをもつ | <p>【自己実現に向けて、自己の課題を考える】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○これからの社会を形成する一員として、働くことの意義とつくりたい社会について考える。(2)</li> <li>○これからの社会を形成する一員として、自己の課題を考える。(1) <ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の目標を明らかにしたい。</li> <li>・自分に合った仕事を見付けたい。</li> <li>・働くことのやりがいを見付けたい。</li> </ul> </li> <li>○課題が解決できるような職場体験の計画を立てる。(1) <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験して学びたいこと</li> <li>・仕事の内容</li> <li>・安全面等で気を付けること 等</li> </ul> </li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>◇生活をよりよくする力</li> <li>★自らの生活を見つめ直し、日常生活や社会状況と照らし合わせながら、職場体験の計画を立てている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・職業の内容や特色を理解させる題材を使用し、職場体験学習のねらいや意義、留意事項などについて理解させる。</li> </ul>  |
| 2次<br>(24) | 調べる   | <p>【職場体験をする】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○事前に職場訪問をする。(1) <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事の内容、注意すること</li> </ul> </li> <li>○職場体験をする。〈2日間〉(8) <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の商店街での仕事</li> <li>・小学校での仕事</li> <li>・公共施設での仕事 等</li> </ul> </li> <li>○職場体験を通して学んだことを話し合う。(1) <ul style="list-style-type: none"> <li>・働くことの意義 等</li> </ul> </li> <li>○職場体験をする。〈3日間〉(12) <p>【自己の課題を克服するための取組について考える】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○将来の自己実現に向けて、どのようなことに取り組む必要があるか考える。(2) <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門的な知識の獲得</li> <li>・資格の取得</li> <li>・コミュニケーション能力の伸長</li> <li>・ICT活用のスキルアップ 等</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>◇生活をよりよくする力</li> <li>★自己の課題を解決するために、主体的に職場体験に取り組んでいる。</li> <li>■持続可能な社会の実現に向けた実践力</li> <li>★職場体験を通して、将来の自分を想像しながら、よりよく生きるために必要な資質や能力を考え、生活の向上を図ろうとしている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・職場体験中の注意点について確認する。</li> <li>・職場体験の後には、ワークシート等を用いて、自分の体験について振り返る。</li> <li>・グループでお互いの職場体験について紹介し合う時間を設定し、他の仕事についても知る機会を設ける。</li> <li>・自己実現を図るためには、日々の学習が大切であるということを、これまでの学校での学習について振り返ることで気付かせるようにする。</li> </ul> |
| 3次<br>(5)  | 振り返る  | <p>【職場体験を振り返り、自分の役割を考える】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○礼状を作成する。(1)</li> <li>○職場体験を振り返り、自己の課題を整理する。(2) <ul style="list-style-type: none"> <li>・粘り強く物事に向き合う。</li> <li>・礼儀正しい所作を身に付ける。</li> </ul> </li> <li>○社会を形成する一員として自分の役割を考える。(2)</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>□主体的に計画・行動する力</li> <li>★職場体験を通じて、働くことの意味や大切さを理解するとともに、社会の一員であることを自覚し、自分にできることを見付けている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで学んだ職業の特色などを考えつつ、自分なりに職業の価値について考えをまとめさせる。</li> <li>・導入の段階で考えた働くことの意義と比べることで自分の考えが具体的になっているか振り返るよう助言する。</li> </ul>  |

中学校

自主・自律

社会参画

未来の創造

## 第2学年 総合的な学習の時間

## 「賢い消費者になろう」(9時間)

## 1 単元の目標

- ① 市民・消費者の権利と役割について理解することを通して、社会経済と自分の生活とを関連付けながら賢い消費者について考え、よりよい社会の実現に寄与しようとする意欲を高める。
- ② 消費生活に関する基本的な知識・技能を習得することを通して、消費者に関わるトラブル等について理解を深め、社会のルールの意義について考えることができる。

## 2 単元で育てたい資質・能力

## ◇自主・自律

「生活をよりよくする力」

・望ましい生き方について考え、適切な行為を選択し、実践すること

・消費生活に関する自らの課題を見付け、その解決方法を考えることで生活の改善を図るとともに、契約についての理解を深め、消費者として主体的に社会に関わろうとする。

## □社会参画

「規範意識」

・法やきまりの意義を理解し、遵守すること

・消費生活についての制度や法・きまりについて理解するとともに、社会のルールの大切さについて考え、それを遵守して行動する。

## ■未来の創造

「持続可能な社会の実現に向けた実践力」

・身近な地域や社会で起きている問題を自分の生活と関連付けて捉え、自分に何ができるかを考え、実践すること

・自分の消費生活や消費者に関わるトラブルについて考えることで、社会の一員として自分にできることを考え、実践する。

## 3 単元で扱う主な教育課題との関連

|            |   |
|------------|---|
| 消費者教育      | ・商品の購入や消費者に関わるトラブルについて理解することで、消費生活に関する基本的な知識・技能を習得し、これらを活用して自主的かつ合理的に行動するように努める「自立した消費者」を育てる。 |
| シティズンシップ教育 | ・クレジットカードに関する討論を通して、社会に参画している自分を想像し、将来の夢や希望をもち、その実現に向けて必要なことを考える能力を育てる。                       |
| 金融教育(金銭教育) | ・お金に関する幅広い学習を通して、健全な消費生活能力を養う。  |
| 法教育        | ・消費者に関わるトラブルが起こる原因について考える活動を通して、法やきまりの意義の理解を深め、法的なものの考え方を育てる。                                 |

## 4 単元の指導計画（9時間扱い）

| 時間        | 主な学習活動・内容   | 育てたい資質・能力<br>◇自主・自律<br>□社会参画<br>■未来の創造<br>★評価  | 指導上の留意点   |
|-----------|---|--|---|
| 1次<br>(2) | 問<br>い<br>を<br>も<br>つ<br>調<br>べ<br>る<br><br>【商品の購入時に大切なことを話し合う】<br>○商品を購入するとき何を基準に選択するか話し合う。(1)<br>・値段 ・質 ・使いやすさ<br>・手に入れたい気持ち 等<br>○商品を購入した後で、後悔した経験について話し合う。(1)<br>・ネットショッピングのサイトを見て、服を買ったけれど、サイズや色が、欲しかった物と違っていた。<br>・気に入ったので、すぐに購入したが、実際使ってみたら、とても使いにくかった。等   | ◇生活をよりよくする力<br>★日常生活の振り返りを通して、生活と消費者行動との関連について理解している。<br>★商品の購入について日常生活を振り返り、消費者として自分の行動について課題を見付けている。   | ・身近な消費生活について考えるために、具体的な事例を提示する。<br>・購入の仕方について振り返らせ、どのようにすれば後悔しないで済んだのかについて考えるように助言する。   |
| 2次<br>(3) | 話<br>し<br>合<br>う<br><br>【消費者トラブルについて考える】<br>○金融経済教育教材「契約ってなんだろう」（東京都生活文化局消費生活部企画調整課）の中のクーリング・オフについて読み、消費者トラブルが起こる原因を考える。(1)<br>・巧みなセールストーク<br>・強引な売り込み<br>・消費者側の問題点 等<br>○クレジット教育教材「クレジット博士と学ぶクレジットカード入門」(日本クレジット協会)を視聴し、クレジットカードの是非について討論を行う。(1)<br><b>賛成</b><br>・多額の現金を持ち歩かなくてよいから、安全である。<br>・社会の国際化により、海外での使用も、現金より便利である。<br>・急に必要になった高価な物でも、分割払いで購入することができる。<br><b>反対</b><br>・自己破産が起こりやすい。<br>・気軽な気持ちで高価な物でも買ってしまう。<br>○「賢い消費者」になるために必要なことを考える。(1)<br>・情報収集 ・満足感 ・必要性 等 | □規範意識<br>★教材を基にして、消費生活について理解し、社会のルールやきまりについて考えている。<br>◇生活をよりよくする力<br>★討論を通して、消費・契約について理解を深めている。<br>□規範意識<br>★討論を通して、自分と異なる意見があることに気付き、様々な意見を公平に判断した上で自分なりの考えをもち、社会のルールの意義を考えている。 | ・クーリング・オフ以外の消費者トラブルについても触れ、消費者の周りに潜むトラブルについて理解させるようにする。<br>・クレジットとは、信用による契約であることを理解させるようにする。<br>・司会者から時間配分やルールについて全員に知らせ、討論の方法について共通理解を図る。<br>・反対意見に備え、メモを取るよう指示する。 |
| 3次<br>(4) | 振<br>り<br>返<br>る<br><br>【消費者生活で分かったことをまとめる】<br>○消費者生活について分かったことや考えたことを発表し、日常生活で実践する。(4)<br>・消費者を守る法律や機関がある。<br>・欲しい物を安易に購入しない。<br>・家族や友達と日頃から消費者生活について話し合う。<br>・商品を購入するときは、本当に必要かどうかよく吟味する必要がある。<br>・困ったことがあったら自己判断せずに、消費生活センターへ相談するとよい。  | ■持続可能な社会の実現に向けた実践力<br>★自分の生活と消費社会とを関連付け、学習したことを基に、今後の自分の消費生活で気を付けることを考え、実践しようとしている。  | ・金額が少額であっても、どのような物にいくら使ったのかなどについて記録をとるような取組を全体に紹介する。  |

中学校

自主・自律

人間関係

社会参画

## 第2学年 総合的な学習の時間

## 「ボランティアのすすめ」(20時間)

## 1 単元の目標

- ① ボランティア精神の意義について理解することを通して、社会のために進んで行動しようとする意欲を高める。
- ② 社会の一員として、よりよい地域社会の実現に向けて自分たちができる貢献活動を考え、友達と協力し合って実行することができる。

## 2 単元で育てたい資質・能力

## ◇自主・自律

「学びに向かう力」

- ・自分でめあてを決めて、計画的に最後まで取り組むこと
- ・集中力や持続力を発揮して取り組むこと

- ・ボランティア活動の意義や内容について理解することを通して、自分が取り組みたい活動内容を設定し、最後まで計画的に粘り強く活動する。

## ◆人間関係

「対人関係力」

- ・時と場に応じた適切な言動を行うこと
- ・相手の痛みや感情を共感的に受け止めて行動すること

- ・ボランティア活動を通して、地域の人や高齢者との関わりをもち、適切な話し方や態度で相手と接するとともに、その思いを共感的に受け止めて行動する。

## □社会参画

「主体的に計画・行動する力」

- ・社会の一員として自分に求められている役割を自覚し、社会の発展に貢献するために活動すること

- ・ボランティア活動について考える活動を通して、地域には様々な人が自分と共に暮らしていることを理解し、社会のために自分にできることを考える。

## 3 単元で扱う主な教育課題との関連

|            |   |
|------------|---|
| 福祉教育       | ・ボランティア活動を通して、地域には様々な人が暮らしていることやその人の健康や安全について考えるとともに、共によりよく生きるために自分にできることを考え、実行する力を育てる。 |
| シティズンシップ教育 | ・社会を形成する一員として、地域に住む様々な人の立場を考え、思いやりの気持ちをもち、助け合おうとする心情を育てる。                               |
| I C T教育    | ・ボランティア活動についての発表を通して、目的に応じたI C T機器の適切な利用方法を理解するとともに活用する力を育てる。                           |

## 4 単元の指導計画（20 時間扱い）

| 時間         |                                     | 主な学習活動・内容   | 育てたい資質・能力<br>◇自主・自律<br>◆人間関係<br>□社会参画<br>★評価   | 指導上の留意点  |
|------------|-------------------------------------|---|--|--|
| 1次<br>(4)  | 問<br>い<br>を<br>も<br>つ               | <p>【町のために自分たちができることを考える】</p> <p>○生活をする中で、自分たちの町の課題を考える。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの不法投棄で、町の景観や衛生が損なわれていると家族が言っていた。</li> <li>・駅前の花壇の手入れをした方がよい。</li> <li>・一人で暮らしている高齢者が孤立している。</li> <li>・障害のある人にとって、段差は大変だと思う。</li> </ul> <p>○地域でボランティア活動をしている人の話を聞く。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア活動の意義とやりがい</li> <li>・ボランティア活動をする上での注意点</li> <li>・ボランティア活動をしてよかったこと 等</li> </ul> <p>○自分たちが取り組みたいボランティア活動を実行するための計画を立てる。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内容や活動場所</li> <li>・活動期間や活動日</li> <li>・協力する機関 等</li> </ul> | <p>◇学びに向かう力</p> <p>★身近な生活から課題を見付け、ボランティア活動の意義を理解し、自分にできる活動について計画を立てている。</p> <p>□主体的に計画・行動する力</p> <p>★ボランティアについて考える活動を通して、地域には様々な人が暮らしていることを理解し、自分にできることを考えている。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な生活について考えやすくするために、ごみや階段の段差等の写真を提示する。</li> <li>・自分の経験から、どのような立場の人が、どのようなことで困っているのか振り返るよう助言する。</li> <li>・意欲的に取り組むことができるように、取り組みたい内容によってグループを編成する。</li> </ul> |
| 2次<br>(11) | 調<br>べ<br>る<br><br>実<br>践<br>す<br>る | <p>【町のために自分たちができることを実行する】</p> <p>○取材や施設訪問等をして必要な情報を集め、活動内容や活動計画をまとめる。(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町の公民館の窓ふきや清掃をする。</li> <li>・福祉施設で高齢者と共に過ごす。</li> <li>・道路に落ちているごみを拾う。</li> <li>・保育園での手伝い。</li> <li>・駅前花壇の手入れをする。</li> <li>・地域の危険箇所の看板を作る。 等</li> </ul> <p>○計画に沿ってグループごとにボランティア活動に取り組む。(8)</p>  | <p>◆対人関係力</p> <p>★ボランティア活動を通して、地域に住む多様な人々と交流し、相手に応じた適切な接し方をしている。</p> <p>◇学びに向かう力</p> <p>★計画通りに活動し、最後まで意欲的に取り組んでいる。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・取材や施設訪問の前には、相手先に連絡を取り、聞きたい内容について伝えておく。</li> <li>・校外での活動の際には、安全面に十分に注意するように指導する。</li> </ul>   |
| 3次<br>(5)  | 振<br>り<br>返<br>る                    | <p>【自分たちの活動を振り返る】</p> <p>○実践報告会でボランティア活動の取組を紹介する。(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公園の草取りは大変だったが、地域の人も手伝ってくれたので、うれしかった。</li> <li>・募金活動では、多くの人が募金をしてくれたのでうれしかった。</li> <li>・地域の危険箇所の看板設置を、行政の人と協力してやれてよかった。</li> </ul> <p>○学習を振り返る作文を書く。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これからも自主的にボランティア活動をしたい。</li> <li>・ボランティア活動をしている人を見かけたら、協力しようと思った。</li> </ul>   | <p>□主体的に計画・行動する力</p> <p>★ボランティア活動の取組を振り返り、自分が社会のためにできることを考え、作文に書いている。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表会では、ICT機器等を活用して、活動報告について分かりやすく発表できるようにする。</li> <li>・ボランティア活動でお世話になった人たちに来ていただく場合には、最後に感想を話していただくことを事前にお願ひしておくようにする。</li> </ul>                             |



中学校

自主・自律

人間関係

社会参画

## 第3学年 総合的な学習の時間

## 「もし学校が避難所になったら」(8時間)

## 1 単元の見目標

- ① 大規模な災害発生時に想定される避難所生活において必要なことを考え、災害安全に関する意識を高め、自分にできることを実行する力を育てる。
- ② 災害発生後、中学生としてできる自他の安全を守るための行動の仕方について考え、地域社会の一員として、安全活動に進んで参加し、貢献しようとする態度を育てる。

## 2 単元で育てたい資質・能力

## ◇自主・自律

「問題発見・解決力」

- ・日常生活や社会状況から課題を見付けること
- ・課題を解決するための方法と手順を考え、これまでの経験や様々な情報を基に実行すること

- ・災害発生時に直面する課題について把握し、これまでの防災訓練の経験等から、適切な避難の仕方や学校が避難所になった場合に自分ができることを考える。

## ◆人間関係

「他者と協働する力」

- ・目標に向けて、多様な他者の考えや立場を理解して、進んで他者と協力して行動すること

- ・自他の安全を守るために、避難者の多様な立場を考えながら、自分たちにできることを協力して考え、避難所で活動する計画を立てる。

## □社会参画

「主体的に計画・行動する力」

- ・社会の一員として自分に求められている役割を自覚し、社会の発展に貢献するために活動すること

- ・学校施設をよく知る地域社会の一員として、自分たちに求められている役割を自覚し、災害時に自分たちが取り組むことができるように準備する。

## 3 単元で扱う主な教育課題との関連

|            |   |
|------------|---|
| 防災教育       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然災害等に関する理解を深め、現在や将来に直面する災害に対して、的確な判断に基づく適切な行動選択ができるようにする。</li> <li>・自他の生命を尊重し、学校、家庭及び地域社会の安全活動に進んで参加・協力し、貢献できるようにする。</li> </ul>              |
| 安全教育       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒自らが様々な自然災害についての理解に基づき、適切な避難や災害安全への貢献ができる資質や能力を育てる。</li> </ul>   |
| シティズンシップ教育 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域社会の防災活動に参加している自分を想像し、災害時に自分にもできることがあるという自覚を高め、地域の防災に進んで関わろうとする態度を育てる。</li> <li>・防災に関する自助・共助・公助をテーマとした学習を通して、社会を形成する一員としての自覚を育てる。</li> </ul> |
| 主権者教育      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校に避難所が設置された際の自分の役割を考えることで、将来の主権者として国や社会の問題を自分の問題として捉え、自ら考え、判断し、社会に参画していく資質や能力を育てる。</li> </ul>  |

## 4 単元の指導計画（8時間扱い）

| 時間        |  | 主な学習活動・内容  | 育てたい資質・能力<br>◇自主・自律<br>◆人間関係<br>□社会参画<br>★評価  | 指導上の留意点  |
|-----------|--|--|---|--|
| 1次<br>(2) | 問<br>い<br>を<br>も<br>つ                    | <p>【学校が避難所になったら自分たちに何が<br/>できるかを考える】</p> <p>○大規模な地震災害が発生したらどうなるか<br/>考え、話し合う。(1/2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・津波が来るかもしれない。</li> <li>・余震が続く。 ・電話が使えない。</li> <li>・停電が起こる。 ・学校に避難する。</li> <li>・非常食を食べる。 等</li> </ul> <p>○地震災害の発生に伴う避難所生活の映像資<br/>料を見て、分かったことや考えたことをま<br/>とめる。(1/2)</p> <p>○学校が避難所になった場合、自分たちにで<br/>きることにについて考える。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災倉庫から備蓄品を運ぶ。</li> <li>・備蓄品を避難者に配る。</li> <li>・避難してきた人を案内する。</li> <li>・けがをした人を助ける。 等</li> </ul> | <p>◇問題発見・解決力</p> <p>★災害発生時に直<br/>面する課題を想<br/>定しながら、これ<br/>までの防災訓練<br/>の経験等から、自<br/>分たちができるこ<br/>とを考えている。</p>                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでに行った<br/>防災訓練などの体<br/>験を基にして、問題<br/>意識を高めていく。</li> <li>・「3.11を忘れない」<br/>(東京都教育委員会)<br/>を用いて災害発生<br/>時の状況をイメー<br/>ジさせる。</li> <li>・避難所生活の映像<br/>資料を基にして、<br/>自分たちにできる<br/>ことを想起させる<br/>ようにする。</li> </ul> |
| 2次<br>(2) | 調<br>べ<br>る                              | <p>【自分たちができることを計画する】</p> <p>○被災者や消防署等の防災に携わる人から実<br/>際に災害発生時の取組を聞く。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援物資の配給</li> <li>・被災者の治療</li> <li>・炊き出し 等</li> </ul> <p>○自分たちができることを具体的に計画する。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テントの設営</li> <li>・食料の配布</li> <li>・ゴミ箱の設置やゴミの回収</li> <li>・支援物資の運搬</li> <li>・簡易トイレの設置 等</li> </ul>  | <p>◆他者と協働する力</p> <p>★避難者の多様な<br/>立場を考えなが<br/>ら、自分たちにで<br/>きることを協力作<br/>して考え、実践に備<br/>えて計画している。</p>                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難生活が長く続<br/>くことで生じる必<br/>要なことにも着目<br/>させる。</li> <li>・災害現場での活動<br/>は安全面、衛生面、<br/>精神的負担等を十<br/>分に考慮して活動<br/>の範囲を定める。</li> </ul>   |
| 3次<br>(4) | 実<br>践<br>す<br>る<br><br>振<br>り<br>返<br>る | <p>【自分たちの避難所での活動を実践する】</p> <p>○避難所での活動を想定して計画を実践する。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テントの設営</li> <li>・食料の配布</li> <li>・ゴミ箱の設置やゴミの回収</li> <li>・支援物資の運搬 等</li> </ul> <p>○実践してみることでの良かった点と改善点<br/>をグループで発表し、それぞれの班で実践<br/>計画に反映する。(2)</p>  | <p>□主体的に計画・<br/>行動する力</p> <p>★地域社会の一員<br/>として自分たちに<br/>求められている役<br/>割を自覚し、自分<br/>たちにできること<br/>を災害時に取り組<br/>むことができるよ<br/>うに準備している。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画した活動の指<br/>導ができるように、<br/>教職員等の体制を<br/>整えておく。</li> <li>・学校全体の防災計<br/>画も参考にしなが<br/>ら実践計画が反映<br/>できないか検討さ<br/>せる。</li> </ul>  |

中学校

自主・自律

人間関係

未来の創造

## 第3学年 総合的な学習の時間

## 「自分に合った進路選択を目指して」(11 時間)

## 1 単元の目標

- ① 職業や上級学校を調べる活動を通して、望ましい生き方を考え、自分自身にとって適切な進路を選択するための活動を行うことができる。
- ② 上級学校訪問で調べたことや分かったことについて話し合う活動を通して、職業や上級学校についての理解を深め、進路を選択する上で自分にとって新たな知識や価値を見いだすことができる。

## 2 単元で育てたい資質・能力

## ◇自主・自律

「生活をよりよくする力」

- ・望ましい生き方について考え、適切な行為を選択し、実践すること

- ・職業や上級学校調べを通して、自分にとって望ましい生き方を考え、適切な進路選択につなげる。

## ◆人間関係

「対人関係力」

- ・時と場に応じた適切な言動を行うこと
- ・相手の痛みや感情を共感的に受け止めて行動すること

- ・上級学校を訪問した際に相手に対して適切な言葉遣いで話したり、友達が体験したことや進路について考えたことに対して共感的に聞いたりする。

## ■未来の創造

「新たな価値を創造する力」

- ・興味や関心、意欲をもって、独創的で知的な活動を行い、新たな価値を見いだすこと

- ・興味や関心のある職業や上級学校について、自分で調べたり友達の話を聞いたりすることで、自分の進路について新たな知識や価値を見いだす。

## 3 単元で扱う主な教育課題との関連

|            |   |
|------------|---|
| キャリア教育     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・職業や上級学校を調べることで、将来の夢や希望をもち、自己の進路や生き方を考えていく能力を育てる。</li> <li>・上級学校への訪問を通して、一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てる。</li> </ul> |
| シティズンシップ教育 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の進路について考えることを通して、よりよい社会の実現に寄与する資質や能力を育てる。</li> </ul>  |
| I C T 教育   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットを利用して調べたり、調べたことについてコンピュータを活用してまとめたりすることで、目的に応じた I C T 機器の活用方法を理解するとともに、操作スキルの向上を図る。</li> </ul>                   |

## 4 単元の指導計画（11 時間扱い）

| 時間        |       | 主な学習活動・内容  | 育てたい資質・能力<br>◇自主・自律<br>◆人間関係<br>■未来の創造<br>★評価   | 指導上の留意点  |
|-----------|-------|--|---|--|
| 1次<br>(5) | 問いをもつ | <p>【職業の種類やその職業に就くまでの進路について考えよう】</p> <p>○社会にはどのような職業があるかを話し合い、自分の進路選択について考える。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医師になるには、国家試験に合格する必要がある。</li> <li>・公務員になるためには、どのような勉強をすればよいのか調べたい。</li> </ul> <p>○就労を視野に入れ、中学校卒業後の進路について調べる計画を立てる。(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校の種類や学校の特色</li> <li>・卒業後の進路</li> <li>・実際に訪問して関係者の話を聞く計画</li> </ul> | <p>◇生活をよりよくする力</p> <p>★自分にとって望ましい生き方を考えながら、上級学校を調べる計画を立てている。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・職場体験の取組を振り返りながら話し合わせる。</li> <li>・職業や高等学校に関するインターネットのサイトや資料をあらかじめ準備しておく。</li> <li>・進路について調べる際には、自己の適性や夢・希望を考えて取り組むように助言する。</li> </ul> |
| 2次<br>(2) | 調べる   | <p>【自分が学びたい上級学校を訪問する】</p> <p>○学校訪問に向けて情報を集めて、学校の特色を調べ、訪問の計画を立てる。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場所や交通手段</li> <li>・校風や特色ある教育活動</li> <li>・授業や部活動の特色</li> <li>・訪問校、訪問日の選定</li> </ul> <p>※夏季休業中を利用して上級学校を訪問し、計画に沿って調査する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場所の確認、施設の見学</li> <li>・学校関係者からの聞き取り</li> </ul> <p>※調べたことを報告書にまとめる。</p>           | <p>■新たな価値を創造する力</p> <p>★上級学校調べを通して、自分の進路について新たな知識や価値を見いだしている。</p> <p>◆対人関係力</p> <p>★上級学校を訪問した際に、相手に対して適切な態度で接している。</p>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏季休業中の活動に対して、安全面や対外的な活動の留意点として、上級学校側の訪問の申し込み方法等について確認させるようにする。</li> </ul>  |
| 3次<br>(4) | 話し合う  | <p>【調べたことや体験したことを話し合う】</p> <p>○学校訪問やインターネットで調べたことで分かったことや考えたことを報告書にまとめる。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業体験の内容</li> <li>・部活動体験の内容</li> <li>・学校説明会の内容 等</li> </ul> <p>○進路選択の在り方について話し合う。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の適性の把握</li> <li>・自分の将来の夢や希望</li> <li>・進路選択後の取組</li> </ul> <p>○自分の進路選択について考えたことを作文に書く。(1)</p>           | <p>◆対人関係力</p> <p>★友達の体験や進路の考えを共感的に受け止め、自分の考えに生かしている。</p> <p>■新たな価値を創造する力</p> <p>★進路選択は自分の適性や夢・希望と関係付けて考えることの大切さに気付いている。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・報告書の作成にはICT機器を利用し、構成を工夫するように助言する。</li> <li>・進路選択の際に、どのようなことが大切か再度投げかけるようにする。</li> </ul>  |

中学校

人間関係

社会参画

未来の創造

## 第3学年 総合的な学習の時間

## 「20年後の私・未来の創造」(17時間)

## 1 単元の見目標

- ① 起業した人の話から、働くことの意義や社会との関わりを理解し、社会貢献を踏まえて将来の生活設計や人生設計を考えた未来の設計図をまとめ、自分のこれからの生き方を考えることができる。
- ② 地域の活性化につながる商品の販売企画書を作成することを通して、友達の考えを尊重したり自分の考えと比較したりしながら、協力し合って活動することができる。

## 2 単元で育てたい資質・能力

## ◆人間関係

「他者と協働する力」

- ・目標に向けて、多様な他者の考えや立場を理解して、進んで他者と協力して行動すること

- ・地域の活性化につながる商品を販売する企画書を作成するために、友達の考えを尊重したり自分の考えと比較したりしながら、協力し合って活動する。

## □社会参画

「主体的に計画・行動する力」

- ・社会の一員として自分に求められている役割を自覚し、社会の発展に貢献するために活動すること

- ・働くこととよりよい社会とのつながりを理解することで社会の一員として求められる役割を自覚し、社会への貢献を踏まえて未来の設計図を考える。

## ■未来の創造

「持続可能な社会の実現に向けた実践力」

- ・身近な地域や社会で起きている問題を自分の生活と関連付けて捉え、自分に何ができるかを考え、実践すること

- ・働くことをテーマとして、自分の生活と社会とのつながりを捉えながら、20年後の社会状況を見据えて、自分の生き方を考える。

## 3 単元で扱う主な教育課題との関連

|            |   |
|------------|---|
| シティズンシップ教育 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・働くことを通して、自己実現を図り、よりよい社会の実現に寄与しようとする資質や能力を育てる。</li> <li>・商品の開発、販売の企画書や未来設計図の作成を通して、社会の形成者として貢献するために必要な能力の基礎を培う。</li> </ul> |
| キャリア教育     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・未来設計図を考えることで、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく資質や能力を育てる。</li> </ul>   |
| 主権者教育      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会との関わりを踏まえて自分の将来像を描くことで、主権者として国や社会が抱える問題と向き合い、政治への参加を通して積極的に社会に参画しようとする資質や能力を育てる。</li> </ul>                             |
| 租税教育       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・20年後の社会情勢と自分の将来を考える中で、租税の意義や役割への理解を深め、将来の納税者として社会や国の在り方を主体的に考える資質や能力を育てる。</li> </ul>                                      |

## 4 単元の指導計画（17 時間扱い）

| 時間        |                                     | 主な学習活動   | 育てたい資質・能力<br>◆人間関係<br>□社会参画<br>■未来の創造<br>★評価   | 指導上の留意点  |
|-----------|-------------------------------------|--|--|--|
| 1次<br>(3) | 問<br>い<br>を<br>も<br>つ               | <p>【労働と社会とのつながりを考える】</p> <p>○職場体験を振り返り、働くことの意義を話し合う。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事は大変でも、社会に役立つ実感がある。</li> </ul> <p>○地域で起業した人に話を聞く。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・起業しようとした動機</li> <li>・起業するまでの取組</li> <li>・仕事の苦勞ややりがい 等</li> </ul> <p>○社会の一員として起業家になるという想定で自分の取組について考える。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢社会に対応するため、製薬会社を起業したい。</li> <li>・地域の特産物を生かした商品を開発する会社を起業したい。</li> </ul> | <p>■持続可能な社会の実現に向けた実践力</p> <p>★職場体験や外部講師の話から、働くことをテーマに、自分の生活と社会とのつながりを捉えている。</p>                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・職場体験で学んだことを想起させ、人生における働くことの意義について考えるように助言する。</li> <li>・起業しようとする動機に着目させ、自分が起業するとしたらどのような目的で、どのようなことに取り組むか考えさせるようにする。</li> </ul> |
| 2次<br>(9) | 調<br>べ<br>る<br><br>実<br>践<br>す<br>る | <p>【模擬起業体験をする】</p> <p>○地域の活性化につながる新商品を売り出すことをテーマとして、グループで企画書を作成する。(6)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者のニーズと開発のコンセプト</li> <li>・商品設計と採算性、実現の可能性</li> <li>・販売方法や宣伝方法</li> </ul> <p>○企画を紹介するコンペティションを開く。(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーション資料や説明資料の準備をする。</li> <li>・地域の人を招いてコンペティションを開催する。</li> </ul>   | <p>◆他者と協働する力</p> <p>★地域の活性化につながる商品を販売する企画書を作成することを通して、友達の考えを尊重したり自分の考えと比較したりしながら、協力し合って活動している。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画書の作成に際して、消費者のニーズを把握するために、校内や地域でのアンケート調査や取材活動を行うように助言する。</li> <li>・地域の人に、事前にコンペティションを行う趣旨を伝える。</li> </ul>                     |
| 3次<br>(5) | 振<br>り<br>返<br>る                    | <p>【20年後の自分を想像し、未来の設計図を作成する】</p> <p>○模擬起業体験を振り返り、働くことの意義について話し合う。(1)</p> <p>○これまでの学習を振り返り、社会を形成する一員としての自分たちの役割について話し合う。(1)</p> <p>○20年後の社会の変化を想像し、そこに生きる一人として今後どのような生き方をしていくか未来設計図にまとめ、紹介し合う。(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢社会の中で、自分たちは社会全体を支えていく存在になる。</li> <li>・ロボットを開発し、安価で供給するシステムを構築したい。</li> <li>・温暖化を抑制するために、環境問題に取り組む仕事に就きたい。</li> </ul>  | <p>□主体的に計画・行動する力</p> <p>★働くことをテーマとして自分の生活と社会とのつながりを捉えながら、20年後の社会状況を見据えて、自分の生き方を考えている。</p>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・20年後の社会の状況について、社会科や理科の学習を振り返ることでイメージをもたせるとともに、教師が補足説明をする。</li> <li>・自分たちの役割として、国民として果たすべき義務についても確認する。</li> </ul>               |

# 「カリキュラム国際」

題材とする主な教育課題

- 国際教育
- 日本の伝統・文化理解教育
- 領土に関する教育 等

| 月   |   | 4月  | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|-----|---|---|----|----|----|----|----|
| 学年  |   |   |    |    |    |    |    |
| 小学校 | 3 |   |    |    |    |    |    |
|     | 4 |   |    |    |    |    |    |
|     | 5 | <p><b>〈日本の世界遺産〉 ●国際教育 ●環境教育</b></p> <p>【必修】○国語「古文」(3) ○音楽「和楽器の音楽を含めた我が国の音楽」(6)<br/>○図工「我が国の美術作品」(1) ○道徳「国際理解・国際親善」「自然環境」「公正・公平・社会正義」(3)<br/>○外国語活動「世界の様々な言葉や挨拶」等 (4)</p> <p>【選択】★総合「日本の世界遺産を調べよう」(9)</p>  |    |    |    |    |    |
|     | 6 |   |    |    |    |    |    |
| 中学校 | 1 | <p><b>〈外国の人々との共生〉 ●国際教育 ●日本の伝統・文化理解教育 ●ICT教育</b></p> <p>【必修】○国語「様々な種類の古典作品」(10) ○社会「世界各地の生活と環境」(7)<br/>○数学「コンピュータの活用」(1) ○美術「日本の文化遺産の鑑賞」(4)<br/>○音楽「我が国の伝統的な歌唱」「我が国や郷土の伝統音楽」(6)<br/>○技術・家庭「情報に関する技術」(4) ○道徳「国際理解・国際親善」(1)</p> <p>【選択】★総合「世界の仲間と共に生きる町を目指して」(20)</p> |    |    |    |    |    |
|     | 2 |   |    |    |    |    |    |
|     | 3 | <p><b>〈伝統的な文化の価値を伝える〉 ●日本の伝統・文化理解教育 ●国際教育 ●ICT教育</b></p> <p>【必修】○国語「古典を読む」(9) ○社会「国際社会とのかかわり」「世界平和と人類の福祉の増大」(10)<br/>○数学「標本調査の方法」(2) ○美術「日本の伝統的な美術」(6)<br/>○音楽「我が国の伝統的な歌唱」「我が国や郷土の伝統音楽」(5)<br/>○道徳「国際理解・国際親善」(1)</p> <p>【選択】★総合「日本の伝統文化の価値を考えよう」(22)</p>            |    |    |    |    |    |

## 「カリキュラム国際」のねらい

- 異文化と共生できる資質・能力を育成する。
- 自己を確立する能力を育成する。
- コミュニケーション能力を育成する。

| 10月  | 11月   | 12月   | 1月  | 2月 | 3月 |
|--|---|---|---|----|----|
|  | <p><b>〈日本文化の伝承〉</b> ●日本の伝統・文化理解教育●メディアリテラシー教育●ICT教育</p> <p>【必修】○国語「文語調の短歌や俳句」(1)「説明や報告の発表」(3)<br/>○社会「古い道具と昔の暮らし」「文化財・年中行事」(10)<br/>○音楽「和楽器の音楽を含めた我が国の音楽」(5)</p> <p>【選択】★総合「地域の伝統的な文化を調べよう」(10)</p> |   |   |    |    |
|  |   |   | <p><b>〈世界の国々の生活や文化を知る〉</b> ●国際教育●日本の伝統・文化理解教育●ICT教育</p> <p>【必修】○国語「短歌」(2)<br/>○社会「地域の発展に尽くした先人の具体的事例」(2)<br/>○音楽「和楽器の音楽を含めた我が国の音楽」(7)<br/>○道徳「国際理解・国際親善」(1)</p> <p>【選択】★総合「世界の国々の生活・文化ガイドブックを作ろう」(14)</p> |    |    |
|  |   |   |   |    |    |
| <p><b>〈外国の人々との交流〉</b> ●国際教育●日本の伝統・文化理解教育</p> <p>【必修】○国語「漢文」(1) ○社会「我が国の歴史」(20)<br/>○音楽「和楽器の音楽を含めた我が国の音楽」(6) ○図工「我が国の美術作品」(1)<br/>○道徳「国際理解・国際親善」(1)<br/>○外国語活動「世界の様々な文字や祭・行事等」(4)</p> <p>【選択】★総合「世界に広げよう おもてなしの心」(19)</p> |   |   |   |    |    |
|  |   |   |   |    |    |
|  |   | <p><b>〈地域の文化財に学ぶ〉</b> ●日本の伝統・文化理解教育●国際教育●ICT教育</p> <p>【必修】○国語「古典を読む」「適切な情報を得て、考えをまとめる」(12)<br/>○音楽「我が国の伝統的な歌唱」「我が国や郷土の伝統音楽」(5)<br/>○美術「日本の伝統的な美術」「映像メディアの活用」(3)<br/>○道徳「国際理解・国際親善」(1)</p> <p>【選択】★総合「発見！地域の宝」(18)</p> |   |    |    |
|  |   |   |   |    |    |
|  | <p><b>〈国際協力について考える〉</b> ●国際教育●ICT教育</p> <p>【必修】○社会「国際社会とのかかわり」「世界平和と人類の福祉の増大」(9)<br/>○技術・家庭「情報に関する技術」(11)<br/>○道徳「国際理解・国際親善」(1)</p> <p>【選択】★総合「国際社会に生きる私たち」(13)</p>                                 |   |   |    |    |

※それぞれの教育課題は、現在も各教科等の学習内容を通して指導しており、その内訳を上段の【必修】の枠に示した。  
【選択】の枠には、各学校が特色ある教育活動として、総合的な学習の時間に位置付けて指導できるように、単元の指導計画例(★)を示した。なお、本カリキュラムモデルでは、複数の教育課題と教科等の指導を相互に関連付けて、効果的な指導が行えるよう、それらをつなぐための〈主題〉を設けた。



## 第3学年 総合的な学習の時間

### 「地域の伝統的な文化を調べよう」(10時間)

#### 1 単元の目標

- ① 地域に伝わる祭りや伝承を調べ、地域の人々の思いや願いを知る活動を通して、我が国の伝統文化に関心を持ち、現在の自分との関わりを理解する。
- ② 学習後に地域の伝統文化を継承している人へ手紙を書くことで、日本の素晴らしさについて振り返り、多様な文化を尊重しようとする態度を育てる。

#### 2 単元で育てたい資質・能力

##### ◆人間関係

「対人関係力」

- ・相手の気持ちに応じて、真心をもって礼儀正しい言動で接すること
- ・相手がどう考えるかを意識して行動すること

・友達と共に、地域の人々の気持ちを想像して質問内容を考えるとともに、調べ学習を進める中で、地域の図書館や町内会の人々など、お世話になる人に礼儀正しい言動で接する。

##### □社会参画

「グローバル化に対応する力」

- ・我が国の伝統と文化に関心を持ち、現在の自分との関わりを理解すること
- ・他国の人々や生活、文化に慣れ親しんで行動すること

・地域に伝わるお祭りや伝承を調べたり、地域の人や家族に質問したりする活動を通して、日本の伝統と文化について関心をもつとともに、地域と人々との関わりを知り、自らもそれを大切にする。

##### ■未来への創造

「新たな価値を創造する力」

- ・興味や関心をもって、習得した知識を生かしながら新しいものをつくり出す活動をする

・学習を通して、気付いたことや分かったことを振り返り、地域の人々へ自分の気持ちや考えを伝えることで、地域の一員としての自覚を高める。

#### 3 単元で扱う主な教育課題との関連

|              |  |
|--------------|--|
| 日本の伝統・文化理解教育 | ・自分の住む地域における祭りや伝承に親しむことで、国際社会に生きる日本人としての自覚と誇りを養うとともに、多様な文化を尊重する態度を育てる。 |
| メディアリテラシー教育  | ・学校や地域の図書館の活用を通して、地域の祭りや伝承について必要な情報を収集・処理し、発信・伝達する能力を育てる。              |
| I C T 教育     | ・コンピュータや情報通信ネットワークを使って地域の祭りや伝承を調べることで、I C T 機器を適切に利活用する資質や能力を育てる。      |

#### 4 単元の指導計画（10時間扱い）

| 時間        |  | 主な学習活動・内容   | 育てたい資質・能力<br>◆人間関係<br>□社会参画<br>■未来への創造<br>★評価  | 指導上の留意点   |
|-----------|--|---|--|---|
| 1次<br>(2) | 問<br>い<br>を<br>も<br>つ                    | <p>【地域の祭りについて話し合う】</p> <p>○地域の祭りや伝承について知っていることを話し合う。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近くの神社で、子供が獅子舞を演じている。</li> <li>・川で灯ろうを流す行事がある。</li> <li>・酉の市には、多くの人々が訪れている。</li> </ul> <p>○地域の人や家族から聞いてきたことを発表し合う。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昔はたくさんの子供たちがお囃子に参加していた。</li> <li>・灯ろう流しをする理由を聞いてきた。</li> <li>・昔からずっと祭りが続いていることが分かった。</li> </ul>  | <p>□グローバル化に対応する力</p> <p>★地域に伝わる祭りや伝承を調べたり、地域の人や家族に質問したりする活動を通して、日本の伝統と文化について関心を深めている。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・祭りで行われていることについて、経験を基に話し合わせる。</li> <li>・友達の話聞いて関心をもった内容を黒板に貼り出し、分類してテーマごとにグループを作り、学習意欲をもたせる。</li> </ul>      |
| 2次<br>(4) | 調<br>べ<br>る                              | <p>【地域の伝統行事や支える人の思いを調べる】</p> <p>○グループで話し合ったことを基に地域の人々に質問したり調べたりする内容を考える。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行事の準備</li> <li>・祭りを続ける理由</li> <li>・努力や苦労を感じる</li> <li>・子供や若者へ伝えたいこと</li> </ul> <p>○調べる計画を立てる。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットで情報を収集する。</li> <li>・町内会の人に質問しに行く。</li> <li>・地域の図書館に調べに行く。</li> </ul> <p>○気付いたことや分かったことをノートや学習カードに記入する。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昔から変わらずに受け継がれていること</li> <li>・継承していくためには、人々の思いや努力が必要であること</li> </ul> | <p>◆対人関係力</p> <p>★調べ学習を進める中で、地域の図書館や町内会の人々等、お世話になる人に礼儀正しい言動で接している。</p> <p>□グローバル化に対応する力</p> <p>★地域と人々との関わりを知り、自らもそれを大切にしようとしている。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・礼儀正しく挨拶をすることや自己の話し方や相手の話を聞く態度等について学ぶ時間を設定する。</li> <li>・地域の伝統行事を支える人々の思いを振り返りながら、自分の取組を考えるよう助言する。</li> </ul> |
| 3次<br>(4) | 振<br>り<br>返<br>る<br><br>発<br>信<br>す<br>る | <p>【地域の伝統行事を支える人へ手紙を書く】</p> <p>○地域の人々の気持ちについて考えたことを友達と話し合い、考えを広げる。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・母と一緒に祭りのお手伝いをしたい。</li> <li>・来年の祭りが今から楽しみだ。</li> <li>・昔から地域で取り組んできたことを、自分も友達や地域の人に伝えたい。</li> </ul> <p>○調べたことや話し合ったことを基にして、地域の人へ手紙を書く。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感謝の気持ち</li> <li>・友達と学んだこと</li> <li>・家族や地域の人々の話を聞いて、これから地域のために頑張りたいこと</li> </ul>   | <p>■新たな価値を創造する力</p> <p>★調べたことや分かったことを基に、地域の人々への思いを書き、自分の考えを整理している。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで考えを交流し、その後、全体で考えを話し合うようにする。</li> <li>・誰に手紙を書くのかといった相手意識をもって手紙を書くように助言する。</li> </ul>                    |

## 第4学年 総合的な学習の時間

### 「世界の国々の生活・文化ガイドブックを作ろう」(14時間)

#### 1 単元の目標

- ① 世界の国々の生活や文化を紹介するガイドブックの作成を通して、外国の人々の生活や文化に慣れ親しむとともに、国際社会に生きる日本人としての自覚や誇りを高める。
- ② ガイドブックを作成するという目標に向けて、調べ学習を通して、他者を尊重し協力し合って活動することができる。

#### 2 単元で育てたい資質・能力

##### ◇自主・自律

「問題発見・解決力」

- ・提示された課題を基に、自分の課題を見付けること
- ・課題を解決するための方法を考え、実行すること

- ・海外で生活経験がある人の話を聞いて、外国の生活や文化に興味・関心をもつとともに、世界の国々の生活や文化について調べ、ガイドブックにまとめる。

##### ◆人間関係

「他者と協働する力」

- ・目標に向けて、他者を尊重し、協力し合って活動すること

- ・ガイドブックの完成を目指して、互いに協力し合って情報を集めたり、話し合ったりしながら活動を進めるとともに、完成したガイドブックのよさを互いに認め合う。

##### □社会参画

「グローバル化に対応する力」

- ・我が国の伝統と文化に関心を持ち、現在の自分との関わりを理解すること
- ・他国の人々や生活、文化に慣れ親しんで行動すること

- ・世界の国々の生活や文化の様子を調べ、ガイドブックにまとめる学習活動を通して、日本の生活や文化との違いについて考え、我が国の伝統文化への関心を高める。

#### 3 単元で扱う主な教育課題との関連

|              |   |
|--------------|---|
| 国際教育         | ・世界の国々の生活や文化についてのガイドブックを作ることで、多様な人々の生活や文化、習慣、価値観についての認識や理解を深め、それぞれの国の生活や文化について尊重する態度を養う。  |
| 日本の伝統・文化理解教育 | ・ガイドブックを作成したり、互いに見合ったりすることで、世界の国々の生活や文化と自国の生活や文化との関わりについて理解を深める。<br>・世界の国々の生活や文化を理解し、日本との違いを考えることで、それらを育ててきた地域や日本を誇りに思う気持ちを育てる。 |
| I C T教育      | ・コンピュータのネットワーク機能等を使って、世界の国々の生活や文化についての情報を集めることで、I C T機器を適切に利活用する資質や能力を育てる。  |

#### 4 単元の指導計画（14 時間扱い）

| 時間        |                            | 主な学習活動・内容   | 育てたい資質・能力<br>◇自主・自律<br>◆人間関係<br>□社会参画<br>★評価  | 指導上の留意点  |
|-----------|----------------------------|---|---|--|
| 1次<br>(3) | 問<br>い<br>を<br>も<br>っ<br>つ | <p>【日本と世界の国々の生活や文化を比べる】</p> <p>○A L Tや海外での生活経験がある教職員から外国の衣食住についての話を聞き、知りたいことや調べたいことを考える。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主食の原材料や調理方法の違いについて</li> <li>・食事のマナーや食器の扱い方について</li> <li>・気候に応じた衣服について</li> <li>・住居の広さや設備について</li> </ul> <p>○グループで調べたい国やテーマについて話し合い、調べる計画を立てる(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食事</li> <li>・行事や風習</li> <li>・服装</li> <li>・住居</li> </ul> <p>等</p>    | <p>□グローバル化に対応する力</p> <p>★世界の国々の生活や文化を理解し、日本との違いについて考え、我が国の生活や文化への関心を高めている。</p>                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童に自分の生活と比べられるように、外国の衣食住について紹介する。</li> <li>・テーマの設定は児童の興味・関心を基にするが、調べさせたいテーマがそろえるようにする。</li> </ul>                |
| 2次<br>(6) | 調<br>べ<br>る                | <p>【世界の国々の生活や文化を調べる】</p> <p>○テーマに沿って世界の国々の生活や文化を調べる。(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食事</li> <li>・行事や風習</li> <li>・服装</li> <li>・住居</li> </ul> <p>等</p> <p>○収集した情報をグループで共有し、ガイドブック作りの計画を立てる。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国やテーマを決めた理由</li> <li>・調べた内容</li> <li>・自分が調べて分かったことや考えたこと</li> </ul>  | <p>◆他者と協働する力</p> <p>★互いに協力して情報を集めたり、話し合ったりして、ガイドブック作りの計画を立てている。</p>                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・調べる内容について役割分担をさせ、課題意識を明確にもたせるようにする。</li> <li>・調べたことは見出しを付けながらまとめるように助言する。</li> </ul>                             |
| 3次<br>(3) | 実<br>践<br>す<br>る           | <p>【ガイドブックを作る】</p> <p>○外国へ旅行する人に、その国の生活や文化を紹介することを想定して、ガイドブックを作成する。(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図や写真を入れて、視覚的にその国のよさを伝える。</li> <li>・見出しや割り付けを工夫する。</li> <li>・読む人が知りたい情報を入れる。等</li> </ul>  | <p>◇問題発見・解決力</p> <p>★世界には様々な国や異なる生活や文化があることに気付き、それらを尊重しながらガイドブックをまとめている。</p>                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドブックの構想を十分に考えさせてから、作成するように助言する。</li> </ul>   |
| 4次<br>(2) | 振<br>り<br>返<br>る           | <p>【ガイドブックを交換し合い、自分の学習を振り返る】</p> <p>○お互いのガイドブックを交換し合い、分かったことを伝え合う。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土地の気候に適した服装をしている。</li> <li>・伝統的な行事を大切にしている。</li> <li>・住居にも工夫がある。</li> </ul> <p>○学習を振り返り、作文を書く。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に世界の国々を訪問して、生活や文化を体験したいと思った。</li> <li>・日本の生活や文化と似ている点、異なる点がよく分かった。</li> <li>・生活や文化を大切にしている人々の思いが分かり、自分も日本の伝統や文化を大切にしていきたい。</li> </ul> | <p>□グローバル化に対応する力</p> <p>★ガイドブックを見合う活動を通して、他国の生活や文化への理解を深め、日本との違いについて考えることで、我が国の伝統や文化への関心を高めている。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が調べた内容との共通点や相違点を発見しながらガイドブックの内容を伝えるように指示する。</li> <li>・外国の生活や文化を尊重する気持ちとともに、日本の伝統や文化にも関心がもてるように助言する。</li> </ul> |

## 第5学年 総合的な学習の時間

### 「日本の世界遺産を調べよう」（9時間）

#### 1 単元の目標

- ① 日本の世界遺産について調べる活動を通して、日本の文化や自然の素晴らしさとそれらを守る人々の工夫や努力に気づき、国際社会に生きる日本人としての自覚と誇りを高める。
- ② 日本に暮らす一員としての自覚をもち、身近な文化財や自然環境を保護するために自分にできることを考える。

#### 2 単元で育てたい資質・能力

##### ◇自主・自律

「問題発見・解決力」

- ・課題を見付けること
- ・課題を解決するための方法と手順を考え、これまでの経験を踏まえて実行すること

- ・自分が興味をもった日本の世界遺産について調べる計画を立て、世界遺産の素晴らしさやそれを守る人々の工夫や努力について伝える。

##### ◆人間関係

「他者と協働する力」

- ・目標に向けて、多様な他者の考えや立場を理解して、他者と協力して行動すること

- ・世界遺産を調べる活動を通して、それらを守ろうとする人々の立場を理解し、友達と協力して自分たちにできることを考える。

##### □社会参画

「主体的に計画・行動する力」

- ・集団や地域の一員として自分に求められている役割を自覚し、自分にできることを考え、活動すること

- ・日本の世界遺産について調べることを通して、日本人としての自覚と誇りを高め、身近な文化財や自然遺産の保護のために自分にできることを考える。

#### 3 単元で扱う主な教育課題との関連

|              |   |
|--------------|---|
| 国際教育         | ・自国の文化や自然を保護する取組の尊さを理解し、自分にできることを考えることで、国際社会の中で相手の立場を尊重しつつも、自分の考えや意思を表現する力を育てる。 |
| 日本の伝統・文化理解教育 | ・日本の文化遺産を調べる活動を通して、自国の文化財や伝統文化について学び、多様な文化を尊重する態度を育てる。                          |
| 環境教育         | ・日本の自然遺産を調べる活動を通して、進んで環境保全に取り組もうとする態度を育てる。                                      |
| シティズンシップ教育   | ・日本の世界遺産を調べる活動を通して、日本人としての誇りと自覚を育むとともに、社会の一員として、自分の身近な文化財や自然を保全する態度を育てる。        |

#### 4 単元の指導計画（9時間扱い）

| 時間        | 主な学習活動・内容   | 育てたい資質・能力<br>◇自主・自律<br>◆人間関係<br>□社会参画<br>★評価   | 指導上の留意点  |
|-----------|---|--|--|
| 1次<br>(4) | 問<br>い<br>を<br>も<br>つ<br><br>調<br>べ<br>る<br><br>【日本の世界遺産について話し合う】<br>○日本の世界遺産について話し合う。(1)<br>・法隆寺は世界最古の木造建造物である。<br>・知床では、流氷や様々な動物が見られる。<br>○興味・関心を基にテーマを決め、計画を立て個人で調べる。(3)<br>・6年生で訪れる日光の社寺について、その素晴らしさや歴史を図書館で調べよう。<br>・小笠原諸島を調べ、そこでしか見られない動植物を模造紙にまとめて紹介しよう。   | ◇問題発見・解決力<br>★自分が興味・関心をもった日本の世界遺産について調べ、世界遺産の素晴らしさやそれを守る人々の工夫や努力について理解している。                | ・世界遺産には文化遺産と自然遺産があることを知らせ、動画や写真を見せるなどして、興味・関心を高めるようにする。<br>・世界遺産を守る工夫など、調べる観点や発表の内容について確認させる。                      |
| 3次<br>(4) | 発<br>信<br>す<br>る<br><br>【日本の世界遺産のよさを伝えよう】<br>○日本の世界遺産の素晴らしさやそれを守る人々の工夫や努力について発表する。(2)<br>・文化遺産には現在それらを守る法律ができていて、以前から多くの人の手で保存や修復が図られてきている。<br>・白神山地では自然を保つためにパトロールをしたり、屋久島では観光客のツアーについてきまりをつくったり、訪れる人のマナーの向上を図るための取組がある。<br>・貴重な文化財や自然を守るために、様々な取組がなされており、多くの苦労がある。<br>・みんなで日本の文化財や自然を守るために多くの人が協力しようとしている。<br>○日本の世界遺産の素晴らしさを伝えるためのポスターを作成する。(2)<br>・屋久島の自然の素晴らしさと、環境保全の大切さを伝えるポスターを学校の玄関に掲示する。 | ◆他者と協働する力<br>★世界遺産を調べる活動を通して、その素晴らしさとそれらを守ろうとする人々の立場や取組について理解し、友達と協力して自分たちにできることを考え、伝えている。 | ・文化財や自然環境を維持管理することの重要性や環境保全に関わる人々の思いや願いにも触れるように助言する。<br><br>・ポスターのキャッチフレーズは、世界遺産のよさや素晴らしさを伝えられるものか、吟味・検討するように助言する。 |
| 3次<br>(1) | 振<br>り<br>返<br>る<br><br>【身近な文化財や自然を守るための取組を考える】<br>○学習したことを生かして自分にできる取組を考える。(1)<br>・地域にある古い神社やお寺の文化財を守るために、町内会で取り組むことができる活動を考えたい。<br>・町を流れる川をきれいにする地域のクリーン活動に積極的に取り組んでいきたい。   | □主体的に計画・行動する力<br>★世界遺産について調べることを通して、日本人としての自覚を高め、身近な文化財や自然を守り、継承するために自分にできることを考えている。       | ・学習したことを振り返り、自分たちの生活に生かす取組を具体的に考えるように指導する。   |

## 第6学年 総合的な学習の時間

### 「世界に広げよう おもてなしの心」(19時間)

#### 1 単元の目標

- ① オリンピック・パラリンピックに関わる人々の交流や外国の文化に触れる体験を通して、国際協定の視点から自分にできることを考え、身近な外国人との交流会の成功に向けて主体的に活動することができる。
- ② 世界の国々のよさを知り、他国を尊重する態度で交流会の準備をしたり、実際に外国人と関わったりすることができる。

#### 2 単元で育てたい資質・能力

##### ◇自主・自律

「学びに向かう力」

- ・自分でめあてを決めて、見通しをもって取り組むこと
- ・集中力や持続力を発揮して取り組むこと

- ・交流会の目的や見通しを明確にし、その実現に向けて、粘り強く考え準備している。

##### ◆人間関係

「他者と協働する力」

- ・目標に向けて、多様な他者の考えや立場を理解して、他者と協力して行動すること

- ・交流を通して外国の文化のよさを発見し、違いを尊重しながら関わったり活動したりする。

##### □社会参画

「主体的に計画・行動する力」

- ・集団や地域の一員として自分に求められている役割を自覚し、自分にできることを考え、活動すること

- ・オリンピック・パラリンピックの学習を通して学んだことを基に、おもてなしの気持ちで、交流会の内容を考え、自分にできることに進んで取り組む。

##### ■未来の創造

「持続可能な社会の実現に向けた実践力」

- ・身近な地域や社会で起きている問題に対して自分の考えをもち、自分なりに何ができるかを考え、実践すること

- ・多様な人々と共生する意義を踏まえ、地域に住む外国人との交流について、自分たちにできることを考え、実践する。

#### 3 単元で扱う主な教育課題との関連

|              |  |
|--------------|--|
| 国際教育         | ・身近な地域に住む外国人との交流を通して、国際社会において、相手の立場を尊重しつつ、自分の考えや意思を表現する態度を育てる。 |
| 日本の伝統・文化理解教育 | ・外国人との交流会の企画、準備、運営を通して、外国の文化に触れ、それらを尊重する態度を育てる。                |

#### 4 単元の指導計画（19 時間扱い）

| 時間        | 主な学習活動・内容  | 育てたい資質・能力<br>◇自主・自律<br>◆人間関係<br>□社会参画<br>■未来の創造<br>★評価                        | 指導上の留意点  |
|-----------|--|---|--|
| 1次<br>(5) | 問<br>い<br>を<br>も<br>つ<br><br>【オリンピック・パラリンピックについて考える】<br>○東京オリンピック・パラリンピックに関わる人々の思いを調べる。(2)<br>・JOCオリンピック教室<br>・大会準備局や行政の担当課の人の話<br>○前時までの振り返りから、印象に残ったキーワードを整理し、オリンピック・パラリンピックの意義について考える。(1)<br>・国際協調 ・平和 ・人権<br>○地域の外国人との交流の仕方について考える。(2)<br>・日本や外国の文化の紹介や体験<br>・スポーツ交流 等 | ■持続可能な社会の実現に向けた実践力<br>★多様な人々と共生する意義を踏まえ、地域に住む外国人との交流について自分たちにできることを考え、実践している。 | ・「オリンピック・パラリンピック学習読本」（東京都）の活用を図る。<br>・ゲストティーチャーを通して、オリンピック・パラリンピックを身近に感じられるようにする。<br>・交流する外国人以外の国の文化も関連して広く調べられるようにする。 |
| 2次<br>(5) | 調<br>べ<br>る<br><br>【交流会に必要なことを調べる】<br>○交流会を通して、日本の文化や外国の文化をお互いに分かり合うために必要な情報を収集する。(5)<br>・衣食住<br>・遊び<br>・言葉<br>・年中行事や風習 等  | □主体的に計画・行動する力<br>★おもてなしの気持ちで交流の内容を考え、自分にできることを進んで取り組もうとしている。                  | ・「衣食住」「遊び」「言葉」などの観点から日本と外国の文化を比べながら調べるように助言する。   |
| 3次<br>(5) | 実<br>践<br>す<br>る<br><br>【交流会の準備をする】<br>○交流会の役割を決め、準備する。(2)<br>・外国の文化の紹介<br>・日本の文化の紹介<br>・ゲームや歌<br>・案内状の作成 等<br>○互いにリハーサルを見合い、アドバイスを<br>する。(3)  | ◇学びに向かう力<br>★交流会の目的や見通しを明確にもち、実現に向けて、粘り強く考えたり準備したりしている。                       | ・オリンピック・パラリンピックの意義を踏まえて交流できるように、留意点について話し合う機会を設定する。  |
| 4次<br>(4) | 発<br>信<br>す<br>る<br><br>【交流会を通して、互いの文化について考える】<br>○交流会を実施する。(3)<br>・外国の文化の紹介<br>・日本の文化の紹介<br>・ゲームや歌 等<br>○交流会を振り返り、作文を書く。(1)<br>・交流の意義<br>・外国の文化のよさ<br>・日本や外国の文化の尊重  | ◆他者と協働する力<br>★交流を通して外国の文化のよさを発見し、違いを尊重しながら関わったり活動したりしている。                     | ・外国の文化を尊重する態度やオリンピックズムを大切にしてい、自分と外国の人や文化との関わり方について考えをもつように助言する。  |



## 第1学年 総合的な学習の時間

### 「世界の仲間と共に生きる町を目指して」(20時間)

#### 1 単元の目標

- ① 地域に住む外国人との関わりを通して、多様な文化や思いに気づき、互いに尊重し合う態度をもって主体的に交流したり、外国人を取り巻く環境の改善に取り組んだりする。
- ② 外国人と共に暮らす町を目指して、多様な人々と共生することのよさを感じながら、仲間と協力して課題の解決に取り組むことができる。

#### 2 単元で育てたい資質・能力

##### ◇自主・自律

「学びに向かう力」

- ・自分でめあてを決めて、計画的に最後まで取り組むこと
- ・集中力や持続力を発揮して取り組むこと

- ・外国人と共に暮らす町の実現に向け、外国人と触れ合い、取り巻く環境の改善について考える。

##### ◆人間関係

「他者と協働する力」

- ・目標に向けて、多様な他者の考えや立場を理解して、進んで他者と協力して行動すること

- ・町に住む外国人の思いを知るために、多様な意見を受け入れながら、友達と協力して情報収集をする。

##### □社会参画

「主体的に計画・行動する力」

- ・社会の一員として自分に求められている役割を自覚し、社会の発展に貢献するために活動すること

- ・多様な人々との共生のよさを感じ、町の一員としてできることを考え、外国人を取り巻く環境の改善に取り組む。

##### ■未来の創造

「持続可能な社会の実現に向けた実践力」

- ・身近な地域や社会で起きている問題を自分の生活と関連付けて捉え、自分に何ができるかを考え、実践すること

- ・町に住む外国人が困っていることや望んでいることを理解し、できることを考え、実践する。

#### 3 単元で扱う主な教育課題との関連

|              |  |
|--------------|--|
| 国際教育         | ・地域に住む外国人との関わりを通して、国際社会において、相手の立場を尊重しつつ、自分の考えや意思を表現しようとする態度を育てる。               |
| 日本の伝統・文化理解教育 | ・外国人と共に暮らす町を目指した調査活動や交流活動を通して、多様な文化を尊重する態度を育てる。                                |
| I C T 教育     | ・コンピュータのネットワーク機能を使って、外国人との共生の視点から町づくりについて調べることを通して、I C T 機器を適切に利活用する資質や能力を育てる。 |

#### 4 単元の指導計画 (20 時間扱い)

| 時間        | 主な学習活動・内容  | 育てたい資質・能力<br>◇自主・自律<br>◆人間関係<br>□社会参画<br>■未来の創造<br>★評価                               | 指導上の留意点  |
|-----------|--|--|--|
| 1次<br>(5) | 問<br>い<br>を<br>も<br>つ<br><br>【外国人の日本での暮らしを考える】<br>○自分たちの町に住む外国人について統計資料や日常経験を基に考える。(1)<br>・来日の目的や期間 ・人数 等<br>○町に住む外国人を招いて話を聞く。(2)<br>・日本のよさ<br>・生活の中で困ったこと 等<br>○町に住む外国人が生活の中で困ったことを整理し、学習課題を設定する。(2)<br>・言葉や衣食住<br>・コミュニケーション 等 | ◇学びに向かう力<br>★外国人と共に暮らす町の実現に向けて、外国人と触れ合い、取り巻く環境の改善について考えている。                          | ・町で外国人と触れ合った経験について話し合い、興味・関心をもたせるようにする。<br>・町に住む外国人にインタビューするための質問項目をあらかじめ考えさせるようにする。 |
| 2次<br>(5) | 調<br>べ<br>る<br><br>【外国人と共に暮らす町の実現に向け、情報を集める】<br>○町に住む外国人に聞いてみたいことを話し合い、質問項目を決める。(1)<br>・日本に住んで良かったこと<br>・日本に住んで困ったこと 等<br>○町に住む外国人に調査する。(4)<br>・街頭アンケート<br>・インタビュー 等   | ◆他者と協働する力<br>★町に住む外国人の思いを知るために、多様な意見を受け入れながら、協力して情報収集を行っている。                         | ・インタビュー活動では、日本語のほかにも英語で質問ができるように準備させる。   |
| 3次<br>(7) | 実<br>践<br>す<br>る<br><br>【外国人と共に暮らす町に必要なことを考える】<br>○収集した情報を基に外国人と共に暮らす町について考え、自分たちにできることを話し合う。(2)<br>・困ったときのQ&Aリーフレットの作成・配布<br>・簡単な英会話<br>・商店街ガイドブックの作成・配布<br>○前時に決めた活動に取り組む。(5)  | ■持続可能な社会の実現に向けた実践力<br>★町に住む外国人が困っていることや望んでいることを理解し、できることを考え、実践している。                  | ・「暮らしやすさ」の視点から、自分たちにできることについて考えるように助言する。   |
| 4次<br>(3) | 振<br>り<br>返<br>る<br><br>【これまでの活動を振り返る】<br>○活動報告を行い、自分たちの取組について町に住む外国人と話し合う。(2)<br>・町の中学生の支えをうれしく思う。<br>○活動を振り返り、作文を書く。(1)<br>・町に暮らす仲間として助け合えた。<br>・ガイドブックは喜んでもらった。今後、様々な国の人が使えるようなものを作ることができると思う。                                | □主体的に計画・行動する力<br>★多様な人々と共生することのよさや責任を感じ、町の一員としてできることを考え、外国人を取り巻く環境の更なる改善に取り組もうとしている。 | ・可能な限り直接交流を通して振り返り、町に住む外国人とのつながりを感じさせ、自分たちにできることを考えさせるようにする。                         |

## 第2学年 総合的な学習の時間

### 「発見! 地域の宝」 (18時間)

#### 1 単元の目標

- ① 地域の文化財や、その保護に関わる人々の思いに触れ、地域で大切にされている文化財のよさを感じ、それを保護するために活動することができる。
- ② 地域の文化財のよさを伝える発表会の実現を通して、文化財を継承する担い手としての自覚を高める。

#### 2 単元で育てたい資質・能力

##### ◇自主・自律

「学びに向かう力」

- ・自分でめあてを決めて、計画的に最後まで取り組むこと
- ・集中力や持続力を発揮して取り組むこと

・地域の文化財のよさを伝える発表会の実現に向け、自分の役割を明確にもち、粘り強く活動する。

##### ◆人間関係

「他者と協働する力」

- ・目標に向けて、多様な他者の考えや立場を理解して、進んで他者と協力して行動すること

・地域の文化財の調査やその素晴らしさを考える中で、多様な意見を受け入れながら話し合ったり、協力したりする。

##### □社会参画

「主体的に計画・行動する力」

- ・社会の一員として自分に求められている役割を自覚し、社会の発展に貢献するために活動すること

・地域の文化財を継承していくことのよさや責任を感じ、今後の課題や自分にできることを考える。

#### 3 単元で扱う主な教育課題との関連

|              |   |
|--------------|---|
| 日本の伝統・文化理解教育 | ・地域の文化財の価値や、その保護に関わる人々の思いに触れることで多様な文化を尊重する態度を育てる。                 |
| 国際教育         | ・様々な人々と関わりながら、文化財の価値を伝える活動を進めることで、相手の立場を尊重しつつ、自分の考えや意思を表現する力を育てる。 |
| I C T 教育     | ・コンピュータによる授業等で地域の文化財について調べることを通して、I C T 機器を利活用する資質や能力を育てる。        |

#### 4 単元の指導計画（18 時間扱い）

| 時間        |                       | 主な学習活動・内容   | 育てたい資質・能力<br>◇自主・自律<br>◆人間関係<br>□社会参画<br>★評価                                      | 指導上の留意点  |
|-----------|-----------------------|---|---|--|
| 1次<br>(3) | 問<br>い<br>を<br>も<br>つ | <p>【地域の文化財の素晴らしさを伝える】</p> <p>○地域で大切にされている文化財を見学したり、その保護についての話を聞いたりする。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都指定の文化財</li> <li>・区市町村指定の文化財</li> <li>・獅子舞や御神楽などの民俗文化財</li> <li>・こんなに古い物があることをこれまで知らなかった。</li> <li>・後継者不足で、このままでは保護する人がいなくなってしまう。</li> </ul> <p>○学習課題の設定に向けてキーワードを整理する。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史</li> <li>・背景</li> <li>・価値</li> <li>・分布</li> <li>・保護</li> <li>・継承</li> <li>等</li> </ul> | <p>◇学びに向かう力</p> <p>★案内や見学に関わる人の話から地域にある文化財に興味・関心をもち、文化財の素晴らしさや保護に関する課題を考えている。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の文化財として代表的な地域の文化財を取り上げて、見学する際の視点を事前にもたせるようにする。</li> <li>・地域の文化財を保護する人の話から、文化財の保護・継承に関わる問題点にも着目させるようにする。</li> </ul> |
| 2次<br>(6) | 調<br>べ<br>る           | <p>【地域の文化財について調べる】</p> <p>○地域の文化財について調べる計画を立てる。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どのような歴史があるのか</li> <li>・どのようないわれがあるのか</li> <li>・どのように保護されているのか</li> </ul> <p>○地域の文化財について調べる。(5)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財の歴史やいわれ</li> <li>・文化財のもつ価値</li> <li>・文化財の保護</li> <li>・人々の役割</li> <li>等</li> </ul>  | <p>◆他者と協働する力</p> <p>★地域の文化財の調査やその素晴らしさを考える中で、多様な意見を受け入れながら話し合ったり、協力したりしている。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・調べる計画を立てる際に、グループの中での役割分担を行うようにする。</li> <li>・地域の文化財を調べる際には、地域の郷土博物館を利用するほかに、博物館のホームページを活用して調べることを助言する。</li> </ul>     |
| 3次<br>(6) | 実<br>践<br>す<br>る      | <p>【地域の文化財のよさを伝える】</p> <p>○役割を決めて、発表会に向けて準備をする。(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の作成</li> <li>・リハーサル</li> <li>等</li> </ul> <p>○地域の文化財について調べたことの発表会をする。(3)</p>   | <p>◇学びに向かう力</p> <p>★日本の文化財の素晴らしさを伝える発表会の実現に向けて、自分の役割を明確にもち、粘り強く活動している。</p>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財のもつよさや価値を伝えるといった趣旨をあらためて振り返らせ、発表内容の構成を考えさせるようにする。</li> </ul>  |
| 4次<br>(3) | 振<br>り<br>返<br>る      | <p>【地域の文化財の継承について考える】</p> <p>○地域の文化財の保護について自分の考えをまとめる。(1)</p> <p>○地域の文化財の保護に取り組む人との意見交換会を行う。(1)</p> <p>○地域の文化財の保護について自分の考えを再考し、意見文にまとめる。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作文</li> <li>・ワークシート</li> </ul>  | <p>□主体的に計画・行動する力</p> <p>★日本の文化を継承していくことのよさや責任を感じ、今後の課題や自分が取り組むべきことを考えている。</p>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財の保護・継承に関わる人の思いや願いに着目しながら意見交換会を行うように助言する。</li> <li>・意見文には、自分の関わり方や意識の変容を書くように助言する。</li> </ul>                      |

## 第3学年 総合的な学習の時間

### 「日本の伝統文化の価値を考えよう」(22時間)

#### 1 単元の目標

- ① 日本の文化財や伝統文化について友達と協力して調べたり体験したりすることを通して、自国の文化財や伝統文化を尊重する態度を育てる。
- ② 伝統文化を継承してきた日本人の心情や文化面での国際社会における貢献について考えることで、国際社会に生きる日本人としての自覚と誇りを高める。

#### 2 単元で育てたい資質・能力

##### ◇自主・自律

「学びに向かう力」

- ・自分でめあてを決めて、計画的に最後まで取り組むこと

- ・日本の特色のある文化財や伝統文化を調べたり体験したりすることを通して、文化財や伝統文化への理解を深め、保護・活用していく取組の実現に向けて方法と手順を考える。

##### ◆人間関係

「他者と協働する力」

- ・目標に向けて、多様な他者の考えや立場を理解して、進んで他者と協力して行動すること

- ・文化財の価値や保護・活用のために必要な情報を集めるために、友達と互いに協力したり、関わる他の人のことを考えたりして調べる。

##### □社会参画

「グローバル化に対応する力」

- ・日本人としての自覚をもって我が国の伝統や文化などのよさについて理解を深めること

- ・日本人として自国の伝統文化を尊重する態度をもって調べたり体験したりするとともに、文化財を保護・活用する方法を考え、発信する。

##### ■未来の創造

「持続可能な社会の実現に向けた実践力」

- ・身近な地域や社会で起きている問題を自分の生活と関連付けて捉え、自分に何ができるかを考え、実践すること

- ・文化財の価値やその保護の大切さについて、体験を通して理解を深め、文化財の素晴らしさを伝えたり、保護の重要性を手紙で発信したりする。

#### 3 単元で扱う主な教育課題との関連

|              |  |
|--------------|--|
| 日本の伝統・文化理解教育 | ・自国の文化財や伝統文化について学び、多様な文化を尊重する資質や能力を育てる。  |
| 国際教育         | ・自国の文化やそれを保護する取組の尊さを理解し、自らできることを考えたり実行したりすることで、国際社会の中で相手の立場を尊重しつつも、自分の考えや意思を表現する力を育てる。 |
| I C T教育      | ・コンピュータ等を使って、修学旅行で訪れる地域の文化財について調べることで、I C T機器を適切に活用する資質や能力を育てる。                        |

#### 4 単元の指導計画（22 時間扱い）

| 時間        |  | 主な学習活動・内容  | 育てたい資質・能力<br>◇自主・自律<br>◆人間関係<br>□社会参画<br>■未来の創造<br>★評価                                  | 指導上の留意点  |
|-----------|--|--|---|--|
| 1次<br>(4) | 問<br>い<br>を<br>も<br>つ                    | <p>【修学旅行で訪れる地域の文化財を調べる】</p> <p>○修学旅行で訪れる地域の文化財やそれに関わる人々の思いを調べる。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文化財の概要、歴史</li> <li>文化財の分布</li> <li>文化財を保護する取組</li> <li>文化財の保護に取り組む人々の思いや努力</li> </ul> <p>○文化財の保護のために必要なことを考え、調べる計画を立てる。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文化財の素晴らしさを多くの人に伝えることが大切である。</li> <li>保護や保全にかかる費用はどのようにすればよいのかについて考える必要がある。</li> <li>海外の文化財の保存の仕方はどのようなになっているのか。</li> </ul> | <p>◇学びに向かう力</p> <p>★文化財について調べる活動から、その素晴らしさを保護することの大切さに気づき、文化財の保護に向けた取組を考える計画を立てている。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>修学旅行で訪れる地域の文化財の写真を提示して、興味・関心をもたせるようにする。</li> <li>文化財を保護する人々の思いや努力に着目できるように、インタビューした映像を提示する。</li> <li>海外の文化財を保護する取組にも触れて、興味・関心をもたせるようにする。</li> </ul> |
| 2次<br>(5) | 調<br>べ<br>る                              | <p>【文化財を守る取組を調べる】</p> <p>○文化財を守る取組について調べる。(5)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の文化財を地域住民が守っている取組</li> <li>技術が失われないように、定期的に解体して補修をする取組</li> <li>海外の文化財を保護するための日本の支援</li> <li>文化財を守る上での課題とその背景 等</li> </ul>  | <p>◆他者と協働する力</p> <p>★情報を集める際に文化財に関わる多様な考えや立場を理解し、友達と協力して調べている。</p>                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>文化財の保護や観光業での活用など、いくつかの取組を考えさせる。</li> </ul>  |
| 3次<br>(8) | 実<br>践<br>す<br>る                         | <p>【現地での調査・取材、体験をする】</p> <p>○収集した情報を基に、文化財の調査・取材や伝統文化の体験を行うための計画を立てる。(3)</p> <p>○調査・取材や体験を通して、日本の文化財や伝統文化のよさについて話し合う。(5)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>茶の湯体験</li> <li>座禅体験</li> <li>観光地の訪問者へのインタビュー活動 等</li> </ul>  | <p>□グローバル化に対応する力</p> <p>★世界の中の日本人としての自覚をもって調査や取材、体験を行っている。</p>                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>活動をすぐに制限せず、実現可能かどうかを生徒自身が確かめながら進めるようにする。</li> <li>インタビューの際に留意することを事前に指導する。</li> </ul>   |
| 4次<br>(5) | 発<br>信<br>す<br>る<br><br>振<br>り<br>返<br>る | <p>【保護・活用の取組を発信する】</p> <p>○日本の文化財や伝統文化の素晴らしさ、その保護・活用の必要性について発信する。(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歴史、祭、食文化、文化財等について紹介するリーフレットの作成</li> <li>地域の博物館の広告の作成</li> <li>文化財の保護に取り組む団体への手紙の作成</li> </ul> <p>○活動を振り返り、考えたことを作文に書く。(1)</p>  | <p>■持続可能な社会の実現に向けた実践力</p> <p>★文化財や伝統文化をこれからも残していくために、自分にできることを考え、実践している。</p>            | <ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページによる発信や、文化財の保護に取り組む人への手紙の送付などにおける、意見発信時の責任について指導する。</li> </ul>   |

## 第3学年 総合的な学習の時間

### 「国際社会に生きる私たち」（13 時間）

#### 1 単元の目標

- ① 国際社会が抱える問題について理解することを通して、グローバル化する社会の中で、自分がどのように生きていけばよいかについて考え、国際協力の在り方について自分の考えを発信することができる。
- ② 国際社会が抱える問題の解決に向けて自分たちが協力できることを考える学習を通して、国際的視野に立って、主体的に行動するための資質や能力の基礎を育てる。

#### 2 単元で育てたい資質・能力

##### ◇自主・自律

「問題発見・解決力」

・課題を解決するための方法と手順を考え、これまでの経験や様々な情報を基に実行すること

・話し合いやゲストティーチャーの話から、国際社会の紛争や貧困などの問題に対して、自分たちが協力できそうな課題を設定し、解決の方法と手順を考える。

##### ◆人間関係

「他者と協働する力」

・目標に向けて、多様な他者の考えや立場を理解して、進んで他者と協力して行動すること

・互いのよさを認めながら、話し合いや調査活動を進めるとともに、国際的な視野に立ち、相手を尊重しながら、国際協力について自分のできることを考える。

##### □社会参画

「グローバル化に対応する力」

・国際的視野に立って、世界の中の日本人としての自覚をもって行動すること

・自国とともに他国の文化を尊重する態度をもつとともに、国際協力について考え、世界の中の日本人としての自覚をもって行動しようとする。

##### ■未来の創造

「持続可能な社会の実現に向けた実践力」

・身近な地域や社会で起きている問題を自分の生活と関連付けて捉え、自分に何ができるかを考え、実践すること

・国際社会で起きている問題を自分の生活と関連付けて捉え、自分に何ができるかを考え、発信する。

#### 3 単元で扱う主な教育課題との関連

|          |  |
|----------|--|
| 国際教育     | ・グローバル化していく社会の中で、自分がどのように生きていけばよいのかについて考えることを通して、相手の立場を尊重しつつ、自分の考えや意思を表現できる態度を育てる。 |
| I C T 教育 | ・コンピュータ等の I C T 機器を使って、国際社会の諸問題について考えるための情報を得ることを通して、I C T 機器を適切に活用する資質や能力を育てる。    |

#### 4 単元の指導計画(13 時間扱い)

| 時間        | 主な学習活動・内容  | 育てたい資質・能力<br>◇自主・自律<br>◆人間関係<br>□社会参画<br>■未来の創造<br>★評価                                  | 指導上の留意点   |
|-----------|--|---|---|
| 1次<br>(3) | 問<br>い<br>を<br>も<br>つ<br><br>【グローバル化の課題について考える】<br>○グローバル化によって、社会がどのように変わってきたかについて話し合う。(1)<br>・モノカルチャーとプランテーション<br>・世界各地への往来<br>・情報の増加 等<br>○ゲストティーチャーによる、グローバル化を考えるワークショップを行う。(1)<br>○スピーチ大会に向け、「グローバル化の中でどのように生きていけばよいか」をテーマに、自分で調べる計画を立てる。(1)<br>・将来、世界で働くにはどのような仕事があるのか。<br>・自分たちの生活の中で、外国の人と協力できることはあるのか。 | ◇問題発見・解決力<br>★話し合いやワークショップを通じて国際社会の抱える問題について自分たちが協力できそうなことを課題として設定し、解決するための方法と手順を考えている。 | ・グローバル化によって、社会生活が向上した点、格差が拡大した点など様々な面から変化を話し合わせる。<br>・外国の状況を調べることを通して、日本のことも振り返り考えさせるようにする。 |
| 2次<br>(4) | 調<br>べ<br>る<br><br>【グローバル社会について情報を収集する】<br>○グローバル社会の中で、国際社会が抱える問題を解決していくためには、どのような協力ができるか調べる。(3)<br>・青年海外協力隊の活動<br>・ユニセフなどの国際協力への参加<br>・経済協力につながる商品選択 等<br>○自分の考えを基に調べた情報を整理する。(1)   | ◆他者と協働する力<br>★目標に向けて、国際社会が抱える問題を解決するために、多様な考えや立場を理解して、友達と協力して情報を集めている。                  | ・国際協力として、直接現地で技術協力を行う場面や、消費活動につながる経済的な場面などを想定させる。   |
| 3次<br>(3) | 実<br>践<br>す<br>る<br><br>【国際協力について考える】<br>○国際協力で、これから大切にしていきたいことなどを話し合う。(1)<br>・相手国に行つての直接の協力<br>・グローバル社会の中での経済協力<br>○グローバル化してきている社会に対して、自分がどのように行動していきたいかについて作文を書く。(2)   | □グローバル化に対応する力<br>★国際的な視野に立って、世界中の日本人としての自覚をもって行動しようとしている。                               | ・社会科や家庭科などでこれまで学習したことを踏まえながら、スピーチの具体的な内容を考えさせるようにする。  |
| 4次<br>(3) | 発<br>信<br>す<br>る<br><br>【国際協力についてスピーチ大会を行う】<br>○クラスで発表会をする。(1)<br>○全校スピーチ大会を開催して、代表者が作文を発表する。(2)<br>・経済活動での自らの消費意識の大切さ<br>・相手を知るための交流の大切さや交流を続けるための努力<br>・自由に各国を往来できる平和の大切さと、技術協力の重要性  | ■持続可能な社会の実現に向けた実践力<br>★国際社会で起きている問題を自分の生活と関連付けて捉え、自分にできる国際協力について考え、発信している。              | ・スピーチ大会では、スピーチを全校生徒に聞かせることで、意欲を高めるようにする。  |



# 「カリキュラム環境」

## 題材とする主な教育課題

- 環境教育
- 持続可能な開発のための教育(ESD)
- 森林環境教育 ● 海洋教育
- 再生可能エネルギー教育 等

| 月   |   | 4月   | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|-----|---|--|----|----|----|----|----|
| 学年  |   |  |    |    |    |    |    |
| 小学校 | 3 | <p>〈夏の過ごし方を通して環境問題を考える〉 ● 環境教育 ● 再生可能エネルギー教育 ● 持続可能な開発のための教育(ESD) ● ICT教育 ● メディアリテラシー教育</p> <p>【必修】○国語「説明や報告の発表」(2)<br/>○理科「生物とその周辺の環境との関係」「成長の過程や体のつくり」「風の働き」「光の性質」(30)<br/>○道徳「自然愛護」(1)</p> <p>【選択】★総合「緑のカーテンを作ろう」(24)</p>     |    |    |    |    |    |
|     | 4 |  |    |    |    |    |    |
|     | 5 | <p>〈自然の恵みに感謝する〉 ● 環境教育 ● 持続可能な開発のための教育(ESD) ● 森林環境教育 ● ICT教育</p> <p>【必修】○社会「水産資源の保護・育成」「食料生産と国民の食生活」「森林の役割」他(13)<br/>○家庭「身近な環境とのかかわり」「物の使い方の工夫」(8)<br/>○道徳「自然愛護」(1)</p> <p>【選択】★総合「米作りからのおくり物」(29)</p>                           |    |    |    |    |    |
|     | 6 |  |    |    |    |    |    |
| 中学校 | 1 | <p>〈自然や風土が育む食文化〉 ● 食育 ● 環境教育 ● メディアリテラシー教育</p> <p>【必修】○国語「目的に応じた情報選択」(4)<br/>○社会「環境保全に対する意識や政策」(1)<br/>○技術・家庭「日常食の調理と地域の食文化」他(9)<br/>○道徳「自然愛護」(1) ○特活「望ましい食習慣の形成」(1)</p> <p>【選択】★総合「移動教室で訪れる地域の食文化を学ぶ」(14)</p>                   |    |    |    |    |    |
|     | 2 | <p>〈自然環境の大切さを学ぶ〉 ● 環境教育 ● 森林環境教育 ● 持続可能な開発のための教育(ESD)</p> <p>【必修】○社会「地域における環境保全の取組」「日本の林業の特色と課題」(3)<br/>○理科「電磁誘導と発電」(3)<br/>○技術・家庭「生物育成に関する技術の適切な評価と活用」「環境に配慮した消費生活の工夫」他(7)<br/>○道徳「自然愛護」(1)</p> <p>【選択】★総合「学校ビオトープを作ろう」(24)</p> |    |    |    |    |    |
|     | 3 | <p>〈環境問題に目を向けて〉 ● 環境教育 ● 森林環境教育 ● 持続可能な開発のための教育(ESD)</p> <p>【必修】○社会「地球環境の課題の解決のための経済的、技術的協力」(1)<br/>○理科「生物と環境」「自然環境の調査と環境保全」(12)<br/>○技術・家庭「社会や環境に果たしている役割と影響」(1)<br/>○道徳「自然愛護」(1)</p> <p>【選択】★総合「身近な環境について調査研究をしよう」(16)</p>     |    |    |    |    |    |

## 「カリキュラム環境」のねらい

- 環境保全に対する関心・意欲・態度を育成する。 ○持続可能な社会を築くために必要な知識・理解を深める。
- 自然環境を育み、これを維持管理することの重要性に関わる知識・理解を深める。
- 環境に働き掛ける実践力を育成する。

| 10月  | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|--|-----|-----|----|----|----|
|  |     |     |    |    |    |
| <p><b>〈地球にやさしく〉</b> ●環境教育●持続可能な開発のための教育(ESD)●再生可能エネルギー教育●森林環境教育</p> <p>【必修】○社会「ごみ処理やリサイクル」「ごみを減らす取組」他(11)<br/>○理科「光電池の働き」(3)<br/>○道徳「自然愛護」(1)</p> <p>【選択】★総合「ごみの減量化プロジェクトをしよう」(14)</p>                                       |     |     |    |    |    |
|  |     |     |    |    |    |
| <p><b>〈自然とくらしを見つめる〉</b> ●環境教育●持続可能な開発のための教育(ESD)●森林環境教育●ICT教育</p> <p>【必修】○理科「生き物のくらしと環境」「人のくらしと環境」「生物と周囲の環境とのかかわり」(22)<br/>○社会「環境問題」(1)<br/>○家庭「自分の生活と身近な環境とのかかわり」(6)<br/>○道徳「自然愛護」(1)</p> <p>【選択】★総合「自然の宝庫、私たちの多摩川」(20)</p> |     |     |    |    |    |
| <p><b>〈資源を大切に〉</b> ●再生可能エネルギー教育●環境教育●持続可能な開発のための教育(ESD)</p> <p>【必修】○社会「環境保全に対する意識や政策」(1)<br/>○理科「生物と環境とのかかわり」(1)<br/>○技術・家庭「技術の進展と環境との関係」(2)<br/>○道徳「自然愛護」(1)</p> <p>【選択】★総合「減らそう、学校の「もったいない」」(14)</p>                       |     |     |    |    |    |
|  |     |     |    |    |    |
| <p><b>〈環境に配慮した暮らし〉</b> ●環境教育●森林環境教育●持続可能な開発のための教育(ESD)</p> <p>【必修】○社会「よりよい社会を目指して」(6)<br/>○理科「エネルギー資源」「自然環境の保全と科学技術の利用」(6)<br/>○道徳「自然愛護」(1)</p> <p>【選択】★総合「地球のことを考えた私たちの生活」(19)</p>  |     |     |    |    |    |

※それぞれの教育課題は、現在も各教科等の学習内容を通して指導しており、その内訳を上段の【必修】の枠に示した。  
【選択】の枠には、各学校が特色ある教育活動として、総合的な学習の時間に位置付けて指導できるように、単元の指導計画例(★)を示した。なお、本カリキュラムモデルでは、複数の教育課題と教科等の指導を相互に関連付けて、効果的な指導が行えるよう、それらをつなぐための〈主題〉を設けた。

## 第3学年 総合的な学習の時間

### 「緑のカーテンを作ろう」(24時間)

#### 1 単元の目標

- ① 緑のカーテンを作ることを通して、地球温暖化という環境問題に関心をもち、友達の考えのよさを認めながら協力し合って調べ、地球温暖化を抑制するための方法を考える。
- ② 地球温暖化の環境問題に対して、自分にできることを考え、地球温暖化の抑制に向けた活動を実践することができる。

#### 2 単元で育てたい資質・能力

##### ◇自主・自律

「問題発見・解決力」

- ・提示された課題を基に、自分の課題を見付けること
- ・課題を解決するための方法を考え、実行すること

・地球温暖化という環境問題への対策について自分の課題を見付けるとともに、地球温暖化を抑制するための具体的な方法について考え、実践する。

##### ◆人間関係

「人間関係形成力」

- ・互いのよさを見付け、違いを認め、話し合うこと
- ・他者の気持ちを考えて行動すること

・友達と互いの考えのよさを認め合って、地球温暖化について調べたことを発表したり、緑のカーテンにふさわしい植物について話し合ったりする。

##### □社会参画

「主体的に計画・行動する力」

- ・集団や地域の一員として自分のことを考え、活動すること

・地域の人のお話を聞いたり、緑のカーテンを作って環境について考えたりする活動を通して、地域の一員として、地球温暖化を抑制するために自分にできることを考え、行動する。

##### ■未来の創造

「持続可能な社会の実現に向けた実践力」

- ・身近な生活体験や自然体験を通して、自分の考えをもち課題解決に向けて行動すること

・エネルギー消費に関する環境問題に関心をもちながら、持続可能な社会の実現のために自分にできることを実践する。

#### 3 単元で扱う主な教育課題との関連

|                    |   |
|--------------------|---|
| 環境教育               | ・環境に関わる問題を客観的かつ公平な態度で捉え、環境の保全に寄与する態度を育てる。                   |
| 再生可能エネルギー教育        | ・エネルギーの使用に関する問題の解決に向けて適切に判断し、自分にできる行動を考え、実践する態度を育てる。        |
| 持続可能な開発のための教育(ESD) | ・人間を取り巻く環境において、持続可能な社会が実現することの大切さについて考え、自分にできることを実行する力を育てる。 |
| ICT教育              | ・植物の成長をグラフ化することを通して、ICT機器を適切に活用する資質や能力を育てる。                 |
| メディアリテラシー教育        | ・学校図書館の活用を通して、地球温暖化について必要な情報を収集・処理し、発信・伝達する能力を育てる。          |

#### 4 単元の指導計画 (24 時間扱い)

| 時間         | 主な学習活動・内容   | 育てたい資質・能力<br>◇自主・自律<br>◆人間関係<br>□社会参画<br>■未来の創造<br>★評価   | 指導上の留意点  |
|------------|---|--|--|
| 1次<br>(3)  | 問<br>い<br>を<br>も<br>つ<br><br>【夏を涼しく過ごす工夫を考える】<br>○夏を涼しく過ごす工夫について、生活体験を基にして話し合う。(1/2)<br>・冷房機 ・扇風機 ・扇子 ・日よけ<br>○昔から暑さ対策として行ってきた取組がもつ日本人の知恵について調べる。(1/2)<br>・打ち水 ・すだれ ・よしず ・氷<br>○打ち水やよしずの効果について調べる。(1)<br>・気温の違い ・体感の違い<br>○地球温暖化について調べ、抑制するための夏のライフスタイルについて考える。(1)<br>・エアコンの使用を控える。<br>・エアコンの冷房の設定温度を上げる。   | ◇問題発見・解決力<br>★地球温暖化を抑制するための対策について自分の課題を見付けている。   | ・夏を涼しく過ごす工夫として、現在行われなくなってきた暑さ対策については写真などで紹介する。<br>・地球温暖化の原因については、発達段階を考慮して、絵図で提示して理解できるようにする。  |
| 2次<br>(15) | 調<br>べ<br>る<br><br>実<br>践<br>す<br>る<br><br>【緑のカーテンについて調べる】<br>○緑のカーテンの効果について調べる。(2)<br>○緑のカーテンの作り方を調べる。(3)<br>・ふさわしい植物 (ゴーヤ、ヘチマなどのウリ科の植物)<br>・作り方の手順や世話の仕方<br>○緑のカーテンについてまとめる。(1)<br>【緑のカーテンを作る】<br>○地域の方から緑のカーテンにふさわしい植物の育て方について話を聞く。(1)<br>○ゴーヤ等のウリ科の植物を窓際に植える。(2)<br>○緑のカーテンの効果について調べ、節電・省エネの取組について考える。(3)<br>・緑のカーテンを設置したことによる室内の環境の変化<br>○「緑のカーテン新聞」をつくる。(3) | ◆人間関係形成力<br>★緑のカーテンの効果や作り方について互いの考えのよさを見付け、違いを認め、話し合っている。<br><br>◇問題発見・解決力<br>★緑のカーテンを作ることに主体的に取り組むとともに、その効果について考えている。 | ・あらかじめ地球温暖化について調べることができる本を学校図書館に用意しておく。<br>・緑のカーテンを設置する場所や設置の仕方を確認しておく。<br>・室内に温度計等を設置し、気温をグラフ化してデータを整理し、緑のカーテンによる環境の変化に普段から関心がもてるようにする。 |
| 3次<br>(6)  | 振<br>り<br>返<br>る<br><br>発<br>信<br>す<br>る<br><br>【緑のカーテンプロジェクトを発信する】<br>○地球温暖化の抑制に向けて、節電・省エネの取組について、自分たちにできることを考える。(2)<br>・待機電力をストップする。<br>・シャワーの使用時間を短くする。<br>・使わない部屋の電気をこまめに消す。等<br>○地球温暖化防止に向けた節電・省エネの取組について発表する。(4)<br>・地球温暖化の原因や影響<br>・緑のカーテンの効果<br>・身近な生活での節電・省エネの取組<br>・地域の一員として取組への意見表明 等  | □主体的に計画・行動する力<br>★節電・省エネの取組について、自分たちにできることを考えている。<br>■持続可能な社会の実現に向けた実践力<br>★環境の形成者として節電・省エネの取組について実践しようとしている。          | ・家族や関係機関の人などに、節電・省エネの取組についてどのような取組があるかインタビューすることで、具体的な話合いができるようにする。<br>・節電、省エネの取組を継続して実践するように、朝の会等を利用して発表する機会を設定する。                      |

## 第4学年 総合的な学習の時間

### 「ごみの減量化プロジェクトをしよう」(14時間)

#### 1 単元の見目標

- ① ごみに関わる環境問題について調べることを通して、ごみ減量化について関心を持ち、友達の考えのよさを認めながら協力し合って調べることができる。
- ② 持続可能な社会の形成を目指して、ごみの減量化のために自分にできることを考え、環境の保全に向けて行動することができる。

#### 2 単元で育てたい資質・能力

##### ◇自主・自律

「問題発見・解決力」

- ・提示された課題を基に、自分の課題を見付けること
- ・課題を解決するための方法を考え、実行すること

・ごみに関する環境問題について自分が取り組む課題を決め、その課題の解決に向けて調べる計画を立て追究する。

##### ◆人間関係

「人間関係形成力」

- ・互いのよさを見付け、違いを認め、話し合うこと
- ・他者の気持ちを考え、行動すること

・ごみを減量化する取組について友達と協力しながら追究したり、話し合いによって友達と追究した内容を共有したりしている。

##### □社会参画

「主体的に計画・行動する力」

- ・集団や地域の一員として自分のことを考え、活動すること

・ごみに関する環境問題について調べたことから、地域の一員として、ごみの減量化のために自分にできる取組を考え、継続してできるように計画して取り組む。

##### ■未来の創造

「持続可能な社会の実現に向けた実践力」

- ・身近な生活体験や自然体験を通して、自分の考えをもち課題解決に向けて行動すること

・自分で決めたごみの減量化に向けた取組の報告を行い、環境の保全に向けた活動を実践する。

#### 3 単元で扱う主な教育課題との関連

|                     |   |
|---------------------|---|
| 環境教育                | ・ごみに関する環境問題に対して、自ら課題を発見し、その改善のために今できることを具体的に計画する力を養い、ごみ減量化に向けた実践を自ら進んで行う態度を育てる。 |
| 持続可能な開発のための教育 (ESD) | ・ごみに関する環境問題に関して調べた情報を収集・選択し、ごみの減量化について取り組む活動を実践する力を育てる。                         |
| 再生可能エネルギー教育         | ・持続可能な社会の構築を目指し、エネルギーや環境問題の解決に向け、主体的かつ適切に判断し行動できる資質や能力の基礎を培う。                   |
| 森林環境教育              | ・森林で起きているごみに関する環境問題について調べ、森林環境を守ろうとする態度を育てる。                                    |

#### 4 単元の指導計画（14 時間扱い）

| 時間        | 主な学習活動・内容   | 育てたい資質・能力<br>◇自主・自律<br>◆人間関係<br>□社会参画<br>■未来の創造<br>★評価  | 指導上の留意点   |
|-----------|---|---|---|
| 1次<br>(3) | 問<br>い<br>を<br>も<br>つ<br><br>【ごみの埋め立て地の課題を調べる】<br>○社会科でごみの処理について学習したことを振り返り、興味・関心のあることを話し合う。(1)<br>・ごみの廃棄量 ・ごみの廃棄の影響<br>・ごみを減量化する工夫や努力 等<br>○東京湾の埋め立て地の状況を調べる。(1)<br>・埋め立て地の広がり<br>・廃棄物処理の限界<br>○ごみの減量化のために、自分が取り組む課題を決め、調べる。(1)<br>・ごみを減量化する取組   | ◇問題発見・解決力<br>★ごみの廃棄に関する状況から、ごみの減量化に向けての自分の課題を見付けている。  | ・社会科のごみ処理についての学習のまとめに書いた学習感想を提示して、興味・関心をもてるようにする。<br>・埋め立て地の状況が分かるDVDを視聴して問題意識を高めるようにする。  |
| 2次<br>(5) | 調<br>べ<br>る<br><br>【ごみの減量化に向けた取組を調べる】<br>○ごみを減量化するための家庭、行政、企業の取組について調べる計画を立てる。(2)<br>○ごみを減量化するための家庭、行政、企業の取組について調べる。(3)<br>・家庭… ごみの分別の実行<br>リデュース、リユース、リサイクルといった取組<br>・行政… 資源の回収作業、回収ステーションの設置、啓発活動<br>・企業… 包装の縮減、回収ステーションの設置、エコポイントの発行   | ◇問題発見・解決力<br>★ごみを減量化する取組について取材や調査をして追究している。<br>◆人間関係形成力<br>★友達の考えのよさを認め協力しながら、追究した内容を共有している。                        | ・同じ課題に取り組んでいる児童でグループをつくり、計画を立てるようにする。<br>・実際に家庭、行政、企業がどのような取組をしているか取材ができるように、あらかじめ連携を取るようにする。   |
| 3次<br>(6) | 振<br>り<br>返<br>る<br><br>実<br>践<br>す<br>る<br><br>発<br>信<br>す<br>る<br><br>【ごみの減量化に向けたプロジェクトをする】<br>○ごみを減量化するためのプロジェクトの活動計画を立てる(1)<br>○ごみを減量化するためのプロジェクトに取り組む。(3)<br>・リデュース、リユース、リサイクルを家庭に呼びかけるポスターを作る。<br>・地域に古紙回収を呼びかけるポスターを作る。<br>・買い物にはマイバックを持参するように保護者に手紙を書く。<br>・家庭にごみの分別を呼び掛ける。 等<br>【ごみの減量化プロジェクト発表会をする】<br>○実際に取り組んだ活動を全校児童に向けて発表する準備をする。(1)<br>・家庭や地域でできる減量化の取組 等<br>※全校朝会や児童集会において発表をする。<br>○地域の一員として取組への意見文を書く。(1) | □主体的に計画・行動する力<br>★地域の一員として、ごみの減量化に向けて自分にできることを考え、取り組んでいる。<br><br>■持続可能な社会の実現に向けた実践力<br>★自分が決めたごみの減量化の取組を実践しようとしている。 | ・家庭や地域でもごみの減量化に協力してもらうための取組を進めるために、PTAや地域の自治会と連携を取るようにする。<br>・全校朝会や児童集会で呼びかけたり、ポスターなどを掲示したりして全校児童に伝えるように助言する。<br>・発表会では、伝える相手を意識して発表内容や方法を考えるように助言する。 |

## 第5学年 総合的な学習の時間

# 「米作りからのおくり物」(29 時間)

### 1 単元の目標

- ① 学校の水田から収穫された米やわら、もみがら、ぬかを使って生活に生かせるものを考えたり、作ったりすることを通して、自然の素晴らしさを理解する。
- ② 米作りで体験したことを発表する活動を通して、自分の身近な自然環境を大切にする自覚を高める。

### 2 単元で育てたい資質・能力

#### ◇自主・自律

「問題発見・解決力」

- ・課題を見付けること
- ・課題を解決するための方法と手順を考え、これまでの経験を踏まえて実行すること

・生活経験を生かしながら普段食べている米の作り方を考えるとともに、米作りによってできた、わら、もみがら、ぬかから生活に生かせる物について情報を収集する。

#### ◆人間関係

「人間関係形成力」

- ・互いのよさを発見し、違いを認め、話し合うこと
- ・他者とのことを考えて行動し、互いに認め合うこと

・友達と米がどのように作られているのか話し合ったり、役割を分担して稲を水田やバケツで育てたりする活動において、友達の考えを尊重したり協力したりして行動する。

#### □社会参画

「主体的に計画・行動する力」

- ・集団や地域の一員として自分に求められている役割を自覚し、自分にできることを考え、活動すること

・米作りで体験したことや米作りによりできた、わらを使って生活に生かせるものを作ったことについて、集団の一員として自分が担ってきた役割を振り返り、発表する。

#### ■未来の創造

「生命を大切にする力」

- ・生命のかけがえのなさに気づき、生命あるものを慈しみ、畏れ、敬い、尊び、環境保全に寄与すること

・米作りの体験や米作りによりできた、わら、もみがら、ぬかから生活に生かせる物を作る体験を通して、生命の尊さを感じる。

### 3 単元で扱う主な教育課題との関連

|                     |  |
|---------------------|--|
| 環境教育                | ・米作りを通して、水や土などの環境との関わりについて考える力を養うとともに、自然の恵みから作られた物は自然環境を汚さずに還元できることを理解させ、豊かな環境とその恵みを大切に思う心情を育てる。 |
| 持続可能な開発のための教育 (ESD) | ・米作りの大変さや満足感を感じるとともに、地域の人と交流し、米作りに主体的に参加しようとする態度を育てる。  |
| 森林環境教育              | ・自然からとれた物は、様々な利用できることや、最後は土に還るなど、自然界の循環の仕組みについて理解することで、森林と人とが共存する社会を実現する資質や能力の基礎を培う。             |
| I C T 教育            | ・コンピュータを使って米作りや自然界の循環を調べることを通して、I C T 機器を適切に利活用する資質や能力を育てる。                                      |

#### 4 単元の指導計画 (29 時間扱い)

| 時間         |                                     | 主な学習活動・内容   | 育てたい資質・能力<br>◇自主・自律<br>◆人間関係<br>□社会参画<br>■未来の創造<br>★評価   | 指導上の留意点   |
|------------|-------------------------------------|---|--|---|
| 1次<br>(16) | 問<br>い<br>を<br>も<br>っ<br>つ          | <b>【水田やバケツで稲を育てる】</b><br>○普段食べている米が、どのように作られているか話し合う。(1)<br>・田んぼで作られている。<br>・農家の人が作っている。<br>・苗を植えている。<br>○米の作り方を調べる。(1)<br>○稲を水田やバケツで育てる。(6)<br>・稲の生長 ・水の管理 ・除草 等<br>○稲刈りをする。(2)<br>○米を収穫する。(2)<br>○わらを集める。(2)<br>○玄米を精米し、ぬかを取る。(2)   | ◇問題発見・解決力<br>★普段食べている米の作り方に関心をもち、作り方を考えている。<br>◆人間関係形成力<br>★稲を育てる過程で、他者の気持ちを考えて協力しながら行動している。                       | ・社会科の農業生産の学習と関連させて、作り方について想起するように助言する。<br>・苗の段階から生長の記録を継続して書くことで、自分たちが育てている米として愛着をもたせるようにする。                          |
| 2次<br>(7)  | 調<br>べ<br>る<br><br>実<br>践<br>す<br>る | <b>【わら、もみがら、ぬかで、生活に生かせるものを作る】</b><br>○生活に生かせる物について情報を収集する。(2)<br>・もみがら、ぬかを肥料として使う。<br>・ぬかで石鹼を作る。<br>・もみがらを湿気取りに使う。<br>・わらで草履を作る。<br>○自分が作りたい物を決め、グループに分かれて計画し、準備する。(1)<br>○生活に生かせる物を作る。(3)<br>○作った物を実際に使ってみる。(1)  | ■生命を大切にする力<br>★米作りによりできた、わら、もみがら、ぬかが生活に生かせる物に還元することから、生命の循環に対する偉大さに気付いている。   | ・地域や校外学習で知り合った農家の人から、情報を収集する。<br>・実物を提示して、興味・関心をもてるようにする。<br>・作った物は、学校だけではなく、家庭生活の中で実際に使用してみるように助言する。                 |
| 3次<br>(6)  | 発<br>信<br>す<br>る                    | <b>【自然の恵みを発表会で伝える】</b><br>○体験したことや調べたことを発表する活動の準備をする。(3)<br>・発表原稿の作成<br>○自然の恵みを伝える発表会をする。(2)<br>・稲の生長 ・手入れ<br>・もみがら、ぬかを利用した肥料<br>・ぬかを利用した石鹼<br>・わらを利用した草履<br>・もみがらを使った除湿 等<br>○活動を振り返り、学習感想文を書く。(1)<br>・米だけではなく、わらやもみがらも生活の中で役立つことが分かった。<br>・米ができるまでに、長い時間がかかり、様々な苦労があることが分かった。<br>・今後、自然の恵みに感謝して、自然を大切にしていこうと思う。 | □主体的に計画・行動する力<br>★集団の一員として、発表会で自分が担ってきた役割を振り返り、発表している。<br><br>◇問題発見・解決力<br>★米作りの過程を振り返り、自然からとれた物のよさについて自分なりに考えている。 | ・体験したことや調べたことを伝える相手を考え、実物を提示するなど、発表する方法や伝える手段を考えるように助言する。<br><br>・苗から米ができるまでの過程をまとめた図表を提示して、その過程での工夫や努力にも着目するように助言する。 |



## 第6学年 総合的な学習の時間

# 「自然の宝庫、私たちの多摩川」(20時間)

### 1 単元の見目標

- ① 多摩川的环境について興味・関心を持ち、観察や調査活動を通して、多摩川がもたらす自然の恵みについて理解する。
- ② 多摩川的环境を改善してきた人々の営みに気付き、人々の暮らしと自然との共生を持続させるための行動について考え、実践しようとする態度を育てる。

### 2 単元で育てたい資質・能力

#### ◇自主・自律

「学びに向かう力」

- ・自分でめあてを決めて、見通しをもって取り組むこと
- ・集中力や持続力を発揮して取り組むこと

- ・多摩川について自分の興味・関心のある学習課題を選択し、見通しをもって計画的に調べるとともに、調べたことの内容を取捨選択しながら、根気強くパンフレットにまとめる。

#### ◆人間関係

「他者と協働する力」

- ・目標に向けて、多様な他者の考えや立場を理解して、他者と協力して行動すること

- ・多摩川について同じ学習課題を選択した友達の考え等を理解し、協力して調べるとともに、多摩川的环境保全に取り組む人との関わりを通して、礼儀のある行動や感謝の意を表す。

#### ■未来の創造

「生命を大切にする力」

- ・生命のかけがえのなさに気付き、生命あるものを慈しみ、畏れ、敬い、尊び、環境保全に寄与すること

- ・多摩川の恵みが、人々の暮らしや動植物に豊かさを与えていることに気付くとともに、川の汚れをきれいにした取組を踏まえて、未来に向けて環境保全のための行動を考え、発信・実践する。

### 3 単元で扱う主な教育課題との関連

|                     |  |
|---------------------|--|
| 環境教育                | ・多摩川的环境と人々の暮らしや動植物との関わりに気付き、身近な環境に関心をもつとともに、多摩川的环境をよりよくするための環境保全に寄与する態度を育てる。 |
| 持続可能な開発のための教育(E SD) | ・多摩川的环境についての過去から現在の改善の様子を理解するとともに、その環境を持続させるための取組について関心を持ち、実践しようとする態度を育てる。   |
| 森林環境教育              | ・多摩川の恵みは、上流部の水源林によって維持されているため、水源林の手入れが重要であることに気付き、協力的な態度を育てる。                |
| I C T教育             | ・コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を用いて、多摩川的环境や環境保全の取組について調べること、I C T機器を活用する資質や能力を育てる。 |

#### 4 単元の指導計画 (20 時間扱い)

| 時間        |                                     | 主な学習活動・内容   | 育てたい資質・能力<br>◇自主・自律<br>◆人間関係<br>■未来の創造<br>★評価  | 指導上の留意点  |
|-----------|-------------------------------------|---|--|--|
| 1次<br>(5) | 問<br>い<br>を<br>も<br>つ               | <p>【多摩川を見学し、イメージマップを作る】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○多摩川へ行き、その環境に触れたり観察したりする。(2)</li> <li>○多摩川で観察して分かったことや疑問に思ったことを発表する。(1) <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥が休んでいた。 ・魚釣りをしていた。</li> <li>・ごみがあった。 ・水が冷たかった。</li> <li>・大きな堰があった。 ・水はきれいなのか。</li> </ul> </li> <li>○多摩川についての「イメージマップ」を作り、発表し合う。(2)</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>◇学びに向かう力</li> <li>★多摩川で観察したことを記録して、分かったことや疑問に思ったことを発表している。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全に配慮して観察するように指導するとともに、気付いたことや分かったことを記録するように助言する。</li> <li>・児童が観察した内容の写真を提示して、発表したことが具体的に伝わるようにする。</li> </ul>  |
| 2次<br>(9) | 調<br>べ<br>る                         | <p>【多摩川を調べる計画を立てる】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「イメージマップ」を基に、多摩川について調べたい学習課題を話し合う。(2) <ul style="list-style-type: none"> <li>・どのような生き物がいるのか。</li> <li>・川の水はどのように使われているのか。</li> <li>・川の上流や下流の様子はどうか。</li> <li>・昔の多摩川の様子はどうか。</li> <li>・多摩川の水はきれいなのか。</li> <li>・ごみをなくすにはどうすればよいのか。</li> </ul> </li> <li>【多摩川について自分の課題を調べよう】</li> <li>○課題別グループで調べる計画を立てる。(2)</li> <li>○課題別グループで調べたことをパンフレットにまとめる。(5) <ul style="list-style-type: none"> <li>・多摩川の生き物・自然</li> <li>・多摩川の歴史</li> <li>・多摩川の水質・利水</li> <li>・多摩川 138 キロメートルの旅</li> <li>・多摩川を守る取組 等</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>◇学びに向かう力</li> <li>★多摩川について自分の興味・関心のある学習課題を選び、見通しをもって計画を立てている。</li> <li>◇学びに向かう力</li> <li>★グループで調べた内容を取捨選択しながら、まとめている。</li> <li>◆他者と協働する力</li> <li>★友達と協力しながら調べている。</li> <li>■生命を大切にする力</li> <li>★多摩川と人の暮らしとの関係に気付き、未来に向けて環境保全のための行動を考えている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童から出た個々の学習課題を関連させながら、大きな学習課題として見出しをつけるようにする。</li> <li>・学校図書館に多摩川に関する図書資料を整備するとともに、ICT機器も活用するように指導する。</li> <li>・パンフレット作成に当たっては、グループごとに内容別の役割分担を明確にするように助言するとともに、作成途中で互いに内容を点検し、話し合う場面を設定する。</li> </ul> |
| 3次<br>(6) | 調<br>べ<br>る<br><br>話<br>し<br>合<br>う | <p>【過去の多摩川の様子から未来を考える】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○昭和 35 年頃の多摩川の様子を調べる。(2) <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭からの排水で川が汚れた。</li> <li>・洗剤の泡が浮いている。</li> <li>・汚れに強い魚以外は姿を消した。</li> </ul> </li> <li>○多摩川の水質をきれいにする取組を調べる。(2) <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政や家庭、地域の取組</li> </ul> </li> <li>○未来に向けて多摩川の自然を守るための自分たちの取組を考える。(2) <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭からの排水に気を付けて、排水口に水切り袋を付ける。</li> <li>・生態系を守るために外来種の魚を放すことをやめるように注意する。</li> </ul> </li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆他者と協働する力</li> <li>★多摩川の環境保全に取り組む人に礼儀のある行動や感謝の意を表すことができる。</li> <li>■生命を大切にする力</li> <li>★多摩川と人の暮らしとの関係に気付き、未来に向けて環境保全のための行動を考えている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和 35 年頃の多摩川の状況が分かるDVDを視聴し、現在と比較しながら、その原因について考えるように助言する。</li> <li>・多摩川の環境保全に取り組む人の思いや考えに触れるような場面を設定し、未来に向けて環境をどのように守っていけばよいかという視点から自分の行動を考えられるようにする。</li> </ul>  |

## 第1学年 総合的な学習の時間

### 「移動教室で訪れる地域の食文化を学ぶ」(14時間)

#### 1 単元の見目標

- ① 移動教室で訪れる地域の食文化に触れることから、その土地の自然を生かした生活や習慣、歴史などの風土について興味や関心をもち、追究することができる。
- ② 移動教室で訪れる地域の食文化から、その土地に根付く食文化のよさを見だし、継承していこうとする態度を育てる。

#### 2 単元で育てたい資質・能力

##### ◇自主・自律

「問題発見・解決力」

- ・日常生活や社会状況から課題を見付けること
- ・課題を解決するための方法と手順を考え、これまでの経験や様々な情報を基に実行すること

- ・日本各地には独特の食文化があることに気付き、興味や関心のある学習課題を選んで方法や手順を考えながら追究する。

##### ◆人間関係

「対人関係力」

- ・時と場に応じた適切な言動を行うこと
- ・相手の痛みや感情を共感的に受け止めて行動すること

- ・食文化を体験する場面において、地元の講師の人から話を聞く際には、適切な言葉遣いで質問したり、感謝の意を言葉や態度で表したりしながら対応する。

##### ■未来の創造

「新たな価値を創造する力」

- ・興味や関心、意欲をもって、独創的で知的な活動を行い、新たな価値を見いだすこと

- ・日本各地にある独特な食文化について興味や関心をもって体験するとともに、食文化の価値を継承することについて自分なりの考えをもち、発信する。

#### 3 単元で扱う主な教育課題との関連

|             |   |
|-------------|---|
| 食育          | ・日本各地の伝統的な食文化に興味・関心をもち、それが生まれた歴史的・環境的な風土を理解し、環境と調和した食文化を継承していこうとする態度を育てる。 |
| 環境教育        | ・自然環境に適応しながら暮らす日本各地の人々の暮らしの豊かさを感じる心情をもち、環境と人との共生について考え、環境に働きかける実践力を育てる。   |
| メディアリテラシー教育 | ・学校図書館の活用を通して、日本各地の伝統的な食文化について必要な情報を収集・処理し、発信・伝達する能力を育てる。                 |

#### 4 単元の指導計画（14 時間扱い）

| 時間        |  | 主な学習活動・内容  | 育てたい資質・能力<br>◇自主・自律<br>◆人間関係<br>■未来の創造<br>★評価  | 指導上の留意点  |
|-----------|--|--|--|--|
| 1次<br>(6) | 問<br>い<br>を<br>も<br>つ<br><br>調<br>べ<br>る | <p>【移動教室で訪れる地域の食文化を調べる】</p> <p>○移動教室で訪れる地域（訪問地）で、食べられている餅について話し合う。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材料 ・大きさ ・味 等</li> </ul> <p>○訪問地の「もち暦」を見て話し合い、学習課題を設定し、餅を食べる回数が多い理由を予想する。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正月、桃の節句、十五夜、端午の節句、冠婚葬祭等で餅を食べる。</li> <li>・餅の種類も多い。</li> <li>・米の生産が多い。</li> <li>・昔からの習慣がある。</li> </ul> <p>○訪問地の食文化について、課題を選択して調べる。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気候や地形</li> <li>・餅の歴史</li> <li>・行事や祭り</li> <li>・言い伝え、風習</li> </ul> <p>○訪問地の食文化についてパンフレットにまとめる。(2)</p> | <p>◇問題発見・解決力<br/>★訪問地の「もち暦」から、年間で餅を食べる回数が多いことに着目し、食文化への興味・関心を高めている。</p> <p>◇問題発見・解決力<br/>★学習課題を解決するために必要な情報を収集し、計画的に調べている。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問地からの餅紹介のDVDを視聴したり、実物を提示したりすることで、興味・関心を高める。</li> <li>・「もち暦」を見ながら、自分たちが年間を通じて餅を食べる回数と比較させ、訪問地と自分たちの地域の食文化の違いに問題意識をもてるようにする。</li> <li>・学校図書館にある訪問地の食文化や、風土に関連する図書資料を自主的に選択・活用できるようにする。</li> </ul> |
| 2次<br>(4) | 実<br>践<br>す<br>る                         | <p>【移動教室で訪れる地域の食文化を体験する】</p> <p>○移動教室で訪れた地域で、実際に餅作りの体験をする。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・餅米を蒸す。 ・餅をつく。</li> <li>・具材にからめる。</li> </ul> <p>○餅作りを指導してくれた講師から、餅を食べる文化について話を聞き、分かったことをまとめる。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昔からの風習</li> <li>・自然の恵みの具材</li> <li>・祝い事でのふるまい 等</li> </ul>   | <p>◆対人関係力<br/>★講師の人から話を聞く場に応じて、適切な言葉遣いで質問したり、感謝の意を言葉や態度で示したりしている。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各班で役割分担を明確にして、安全に気を付けて活動に取り組むように指導する。</li> <li>・事前に講師に質問する事項を班で決めるとともに、適切な言葉遣いや態度などについて確認する。</li> </ul>  |
| 3次<br>(4) | 振<br>り<br>返<br>る                         | <p>【食文化の継承についての自分の考えをまとめ、発表する】</p> <p>○訪問地の食文化についての現状と対応について調べる。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継承するにあたっての問題点</li> <li>・地元での普及啓発活動</li> <li>・学校給食への導入</li> </ul> <p>○訪問地の食文化の継承について自分の考えをまとめ、発表する。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食文化の継承についての考えの提案</li> </ul>  | <p>■新たな価値を創造する力<br/>★食文化を継承する上での問題点を踏まえ、その価値の継承に自分なりの考えをもたせる。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・餅作りを指導してくれた講師の方が、食文化の普及に尽力していることを取り上げ、食文化の継承についての現状と対応について関心をもたせる。</li> </ul>  |

## 第1学年 総合的な学習の時間

# 「減らそう、学校の「もったいない」」 (14 時間)

### 1 単元の目標

- ① 学校生活における水やエネルギー資源の利用状況や、ごみ処理の状況を調べることを通して、自分たちの暮らしや産業を支える水やエネルギー資源などの重要性と有効利用の必要性を理解する。
- ② 水やエネルギー資源などを効率よく利用するための方法を提案し、自ら実行することを通して、社会の一員として循環型社会の実現に向けた資質や能力を身に付ける。

### 2 単元で育てたい資質・能力

#### ◇自主・自律

「問題発見・解決力」

- ・日常生活や社会状況から課題を見付けること
- ・課題を解決するための方法と手順を考え、これまでの経験や様々な情報を基に実行すること

・日本や学校における水やエネルギーの消費、ごみ処理上の課題を理解し、自分たちができる省エネや節水などの方法を提案し、進んで実行する。

#### □社会参画

「主体的に計画・行動する力」

- ・社会の一員として自分に求められている役割を自覚し、社会の発展に貢献するために活動すること

・学校で使用する水やエネルギー資源の利用状況等に関する調査活動を通して、資源と自分の暮らしとの関わりを理解し、社会の一員として環境保全や循環型社会の実現のために自分たちができることを考え、提案する。

#### ■未来の創造

「持続可能な社会の実現に向けた実践力」

- ・身近な地域や社会で起きている問題を自分の生活と関連付けて捉え、自分に何ができるかを考え、実践すること

・暮らしに必要なエネルギー資源の確保や、ごみ処理上の課題を自分の生活と関連付けて理解し、課題の解決に向けて自分たちができることを考え、自ら実践する。

### 3 単元で扱う主な教育課題との関連

|                    |  |
|--------------------|--|
| 再生可能エネルギー教育        | ・身近な事象からエネルギー資源を取り巻く諸情勢に関する知識と科学的知見を深め、エネルギーや環境問題の解決に向けて、生涯を通じて主体的かつ適切に判断し、行動できる資質や能力の基礎を培う。 |
| 環境教育               | ・学校における水やエネルギー資源の消費や、ごみの処理について調査する活動を通して、自然の恵みを大切に思う心情を育み、環境保全に寄与する態度を育てる。                   |
| 持続可能な開発のための教育(ESD) | ・資源の確保やごみ処理等の課題を自分たちの暮らしと結び付けて理解することで、循環型社会や環境保全への興味や関心を高め、持続可能な社会をつくる担い手としての資質や能力を育てる。      |

#### 4 単元の指導計画（14 時間扱い）

| 時間        |                       | 主な学習活動・内容  | 育てたい資質・能力<br>◇自主・自律<br>□社会参画<br>■未来の創造<br>★評価  | 指導上の留意点  |
|-----------|-----------------------|--|--|--|
| 1次<br>(4) | 問<br>い<br>を<br>も<br>つ | <p>【自分たちの暮らしに必要なエネルギーや水の使い方について話し合う】</p> <p>○日本の水やエネルギー資源の利用、ごみの廃棄・処理における課題から、自分たちが生活していく上での問題点を考える。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギー資源の枯渇、環境汚染</li> <li>・節電や節水等による生活改善の必要性</li> </ul> <p>○学校における水やエネルギー資源の使用状況等の調査から、グループで課題解決に向けた提案を行うための計画を立てる。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電気、ガス、水道の使用状況と課題</li> <li>・ごみ処理の状況と課題</li> <li>・学校で取り組むべき生活改善策の検討</li> </ul>             | <p>◇問題発見・解決力</p> <p>★日本や学校における水やエネルギー資源の消費、ごみの処理上の課題を理解し、具体的に調査する課題を設定している。</p>                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの生活とエネルギー資源や環境問題とのつながりが理解できるような身近な事例を提示し、課題意識を高める。</li> </ul>                              |
| 2次<br>(7) | 調<br>べ<br>る           | <p>【校内における水やエネルギー資源の使用状況やごみの処理について調査する】</p> <p>○グループごとに計画に沿って、校内の水やエネルギー資源などの使用状況、ごみ処理の状況を調査する。(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水道メーターやガスの検針票の確認</li> <li>・ごみの処理の状況や電気等の使用状況の把握</li> </ul> <p>○調査結果を分析し、課題解決に向けての提案をまとめ、報告会に向けたポスターを作成する。(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冷暖房を使う季節は電気の使用量が多い。こまめな温度設定を行ったり、必要のないときには消したりする。</li> <li>・水はトイレや流し場での使用量が多い。節水を心掛ける必要がある。</li> </ul> | <p>□主体的に計画・行動する力</p> <p>★調査を通して、エネルギー資源と自分の暮らしとの関わりを理解し、社会の一員として環境保全や循環型社会の実現のために自分たちができていることを考えている。</p>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の実情に応じて、調査方法を設定できるように配慮する。</li> <li>・学校で生活する一員として、エネルギー資源の消費等を自分の問題として考えるように助言する。</li> </ul> |
| 3次<br>(3) | 話<br>し<br>合<br>う      | <p>【報告会で調査結果を踏まえ、自分たちができることを話し合う】</p> <p>○グループごとに調査結果と校内に向けた提案を話し合い、ポスターセッション形式で発表する。(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電気を作る過程でも地球に大きな負荷をかけるので、教室の電気をこまめに消そう。</li> <li>・物は作る時だけではなく、廃棄する際もエネルギー資源が消費され、地球に大きな負荷をかける。まだ使えるものは大切にしよう。</li> <li>・作成したポスターを校内の適切な場所に掲示しよう。</li> </ul>  | <p>■持続可能な社会の実現に向けた実践力</p> <p>★エネルギー資源の確保やごみ処理上の課題を自分の生活と関連付けて理解し、課題の解決に向けて自分たちができていることを考え、自ら進んで実践しようとしている。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境を守ることに取り組んでいる人の活動を紹介し、実践への意欲を高める。</li> <li>・作成したポスターを関係する場所に掲示する。</li> </ul>                 |

## 第2学年 総合的な学習の時間

# 「学校ビオトープを作ろう」(24時間)

### 1 単元の目標

- ① 身近な環境の変化を調べることで環境保全についての問題意識をもち、学校の中にビオトープを作る活動を通して、社会の形成者として環境保全に参画しようとする意欲を高める。
- ② ビオトープ作りを計画し、その完成に向けて、友達の多様な考えを理解して、協力しながら活動することができる。

### 2 単元で育てたい資質・能力

#### ◇自主・自立

「問題発見・解決力」

・課題を解決するための方法と手順を考え、これまでの経験や様々な情報を基に実行すること

・環境保全の取組を学ぶために、ビオトープを作って観察するという趣旨を理解し、既習の知識を生かしてビオトープ作りの計画を立て、実行する。

#### ◆人間関係

「他者と協働する力」

・目標に向けて、多様な他者の考えや立場を理解して、進んで他者と協力して行動すること

・ビオトープの完成に向けて、様々な友達のことを理解して、協力しながら活動する。

#### □社会参画

「主体的に計画・行動する力」

・社会の一員として自分に求められている役割を自覚し、社会の発展に貢献するために活動すること

・身近な環境の変化を調べることで環境保全についての問題意識をもち、社会の一員として環境保全に参画しようとする。

#### ■未来の創造

「生命を大切にする力」

・生命の尊さを理解し、かけがえのない自他を含め、生命ある全てのものを尊重し、環境保全に寄与すること

・ビオトープ作りやそこでの観察を行うことで生命の尊さを理解し、環境保全に寄与する旨の意見文を書く。

### 3 単元で扱う主な教育課題との関連

|                    |   |
|--------------------|---|
| 環境教育               | ・ビオトープ作りやそこでの観察を通して、環境保全についての理解と関心を深め、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する資質や能力を育てる。                    |
| 森林環境教育             | ・動植物が生息するための条件を考えながらビオトープを作ることを通して、森林の大切さについての理解を深め、森林と人が共生する社会の実現を目指そうとする資質や能力の基礎を培う。      |
| 持続可能な開発のための教育(ESD) | ・ビオトープ作りの活動を通して、生命の尊さや環境保全の大切さについての理解を深め、自分たちの暮らしとの関連を考えさせることで、持続可能な社会をつくる担い手としての資質や能力を育てる。 |

#### 4 単元の指導計画 (24 時間扱い)

| 時間         |  | 主な学習活動・内容   | 育てたい資質・能力<br>◇自主・自律<br>◆人間関係<br>□社会参画<br>■未来の創造<br>★評価  | 指導上の留意点  |
|------------|--|---|---|--|
| 1次<br>(5)  | 問<br>い<br>を<br>も<br>つ<br><br>調<br>べ<br>る | <b>【地域での生物や環境の変化を話し合い、ビオトープ作りを計画する】</b><br>○身の回りで見られる生物や生息している環境の変化について話し合う。(2)<br>・現在見られるもの、昔は見られたもの<br>・自然の減少と環境保全の重要性<br>○ビオトープについて調べる。(1)<br>・ビオトープのもつ環境と意義<br>・ビオトープの作り方<br>○ビオトープ作りの計画を話し合う。(2)<br>・生息してほしい生物の想定<br>・設置場所や必要な資材、作業工程<br>・設計図や作業の役割分担<br>・専門家の協力 等 | □主体的に計画・行動する力<br>★身近な環境の変化から、環境保全についての問題意識を高めている。<br>◇問題発見・解決力<br>★ビオトープを作ることの意義を理解し、制作に向けた計画について話し合い、実行している。 | ・昔の写真や図鑑等を用意して、地域環境の変化と見られる生物の減少に気付かせる。<br>・ビオトープや環境保全に詳しい専門家に助言を依頼する。<br>・生物が生息している身近な場所を想起させ、ビオトープ作りのイメージを膨らませる。     |
| 2次<br>(13) | 実<br>践<br>す<br>る                         | <b>【計画に沿ってビオトープを作る】</b><br>○計画に沿ってビオトープを作る。(9)<br>・作業状況の確認と実行<br>・専門家からの助言<br>・記録<br>○ビオトープの維持の仕方について話し合う。(2)<br>・草の移植、虫や鳥の止まり木の設置<br>・水涸れ対策<br>・役割を知らせる看板等の設置<br>○ビオトープを維持するための作業をする。(2)   | ◆他者と協働する力<br>★ビオトープの完成を目指し、様々な友達のことを理解して、協力しながら活動している。  | ・単元の実施に先立って、予算等の調整を進めておく。<br>・既にビオトープが設置されている学校においては、取組内容を「ビオトープの整備」として学習を進めるようにする。<br>・作業の際の安全策について事前に確認する。           |
| 3次<br>(6)  | 発<br>信<br>す<br>る                         | <b>【ビオトープからの情報発信を行う】</b><br>○「ビオトープ開き」を行う。(2)<br>・完成報告及びメダカの放流<br>・維持管理事項の確認<br>○計画的に観察し、発見したことや考えたことを新聞に発行して伝える。(3)<br>・メダカの産卵や渡り鳥の飛来<br>・野生の生物と環境保全の重要性<br>○ビオトープの活動を振り返り、環境保全の視点に立って、校内に向けた意見文を書く。(1)<br>・自然を再生する大変さや素晴らしさ<br>・環境保全に向けて一人一人ができることを考えていくことの大切さ        | ■生命を大切にする力<br>★ビオトープ作りやそこでの観察を行うことで生命の尊さを理解し、環境保全について寄与する旨の意見文を書いている。   | ・「ビオトープ開き」には活動を支えてくれた地域の人や他の学級・学年の生徒にも参加を呼びかけ、今後のビオトープの維持管理に向けた意識を高める。<br>・自然の循環や環境保全の大切さの視点から、環境保全に対する自分の考えをもつよう指導する。 |



## 第3学年 総合的な学習の時間

# 「身近な環境について調査研究をしよう」(16時間)

### 1 単元の目標

- ① 地域の環境調査を通して環境保全への理解と関心を深め、地域社会の一員として環境保全や持続可能な社会の創造に主体的に参画する態度を育てる。
- ② 自らの生活経験を基に地域の環境に対する課題意識をもち、調査したい事象を選んで、計画的に調査活動を行うことができる。

### 2 単元で育てたい資質・能力

#### ◇自主・自律

「問題発見・解決力」

- ・日常生活や社会状況から課題を見付けること
- ・課題を解決するための方法と手順を考え、これまでの経験や様々な情報を基に実行すること

- ・自分たちの生活経験を基に、地域の環境について調査したい事象を決め、調べる方法や手順を考えながら調査する。

#### □社会参画

「主体的に計画・行動する力」

- ・社会の一員として自分に求められている役割を自覚し、社会の発展に貢献するために活動すること

- ・環境と自分の暮らしとの関わりを理解し、地域に暮らす一員として環境保全や持続可能な社会の創造のために、自分にできることを考え、活動する。

#### ■未来の創造

「生命を大切にする力」

- ・生命の尊さを理解し、かけがえのない他を含め、生命ある全てのものを尊重し、環境保全に寄与すること

- ・調査活動を通して、環境が人間をはじめとした動植物の生命に深い影響を与えていることを理解し、生命ある全てのものを尊重する精神に基づき、環境保全に向けた自分の意見を作文にまとめる。

### 3 単元で扱う主な教育課題との関連

|                     |   |
|---------------------|---|
| 環境教育                | ・地域の環境を調査する活動を通して、環境保全についての理解と関心を深め、生命を尊び、自然を大切に、環境保全に寄与する態度を育てる。                     |
| 森林環境教育              | ・身近な自然環境を保全する重要性に気付き、森林と人とが共生する社会の実現に向けた資質や能力の基礎を培う。                                  |
| 持続可能な開発のための教育(E SD) | ・地域の環境調査を通して、環境問題と自分たちの暮らしとの関わりを理解し、循環型社会や環境保全への興味・関心を高め、持続可能な社会をつくる担い手としての資質や能力を育てる。 |

#### 4 単元の指導計画（16 時間扱い）

| 時間        | 主な学習活動・内容   | 育てたい資質・能力<br>◇自主・自律<br>□社会参画<br>■未来の創造<br>★評価  | 指導上の留意点  |
|-----------|---|--|--|
| 1次<br>(5) | 問<br>い<br>を<br>も<br>つ<br><br>【身近な環境問題について考える】<br>○自分たちが知っている環境問題について発表し合う。(1)<br>・地球温暖化、酸性雨、森林伐採、廃棄物処理に関わる問題 等<br>○地域を歩き、環境問題につながる恐れがある事象を見付ける。(2)<br>・川の汚れ、排気ガス、自然の減少 等<br>○身近な環境の調査に取り組み、現状と暮らしへの影響を伝える計画を立てる。(2)<br>・水質：家庭排水の行方や川の水質調査<br>・大気：空気の汚れの測定、粉じん調査<br>・自然：地域の動植物の生態マップ 等 | ◇問題発見・解決力<br>★自分たちの生活経験を基に、地域の環境について調査したい事象を決め、調べる方法や手順を考えている。                           | ・地域調査を行う際には、事前に注意事項を確認し、安全面への指導を徹底する。<br>・東京都環境白書（東京都環境局）等の環境に関する資料を準備し、計画立案の参考にするように助言する。 |
| 2次<br>(8) | 調<br>べ<br>る<br><br>【自分たちの地域の環境調査を行う】<br>○計画に沿って、環境調査を進める。(6)<br>・実地踏査やインタビュー調査<br>・実験や観察によるデータ収集<br>・数値や映像による記録<br>○調査結果をまとめ、報告会に向けた準備を行う。(2)<br>・データの集計や分析、解釈と評価<br>・報告用資料の作成<br>・発表原稿の作成とリハーサル  | □主体的に計画・行動する力<br>★調査を進める過程で、環境と自分の暮らしとの関係に対する理解を深め、地域に暮らす一員として、環境保全のために自分ができていることを考えている。 | ・地域の実情に応じて、調査方法を設定できるように配慮する。<br>・環境と自分の暮らしとの関わりに着目させ、調査結果の考察に反映させるようにする。                  |
| 3次<br>(3) | 振<br>り<br>返<br>る<br><br>【報告会で調査結果について話し合い、環境保全についての意見文を書く】<br>○報告会でグループごとに調査結果を発表し、学級内で意見交換をする。(2)<br>・地域のヒートアイランド現象<br>・見られる生物の減少<br>・自分たちの責任や使命 等<br>○地域社会の一員としての立場で環境保全に対する意見文を書く。(1)<br>・自分にできることから始めたい。<br>・調査結果を伝え、環境保全に協力するよう地域の人に呼びかけたい。                                      | ■生命を大切にする力<br>★環境が動植物の生命に深い影響を与えていることを理解し、生命のある全てのものを尊重する精神に基づき、環境保全に向けた自分の意見を作文にまとめている。 | ・話し合いでは意見の共通点や相違点を明確にし、環境保全を進める上での課題を明確にする。<br>・自分が実際に取り組むことを表現することによって、環境に配慮した行動の実践化を図る。  |

## 第3学年 総合的な学習の時間

# 「地球のことを考えた私たちの生活」(19時間)

### 1 単元の目標

- ① 地球環境に配慮した暮らしの実現に向けて、自分たちの暮らしと関連付けながら課題解決の方策を考え、提案したり実践したりすることができる。
- ② 他者と協力して循環型社会の形成や環境保全に向けた方策を考えることで、社会の一員としての自覚を高め、持続可能な社会の実現に向けた活動を行うことができる。

### 2 単元で育てたい資質・能力

#### ◇自主・自立

「問題発見・解決力」

・課題を解決するための方法と手順を考え、これまでの経験や様々な情報を基に実行すること

・環境問題を解決するための方策を提案するために、これまでの学習経験を生かして課題解決の手順を考え、実現可能な提案を行う。

#### ◆人間関係

「他者と協働する力」

・目標に向けて、多様な他者の考えや立場を理解して、進んで他者と協力して行動すること

・地球環境に配慮した暮らしの実現という目標に向け、様々な人の立場や考えを尊重し、協力し合って循環型社会の形成や環境保全に向けた方策を考える。

#### □社会参画

「主体的に計画・行動する力」

・社会の一員として自分に求められている役割を自覚し、社会の発展に貢献するために活動すること

・循環型社会の形成や環境保全に向けた方策を考えることで社会の一員としての自覚を深め、持続可能な社会の実現に向けて活動する。

#### ■未来の創造

「持続可能な社会の実現に向けた実践力」

・身近な地域や社会で起きている問題を自分の生活と関連付けて捉え、自分に何が出来るかを考え、実践すること

・環境問題の解決方法を自分の暮らしと関連付けて考えることで、自分たちに何が出来るかを考えて提案し、実践する。

### 3 単元で扱う主な教育課題との関連

|                    |   |
|--------------------|---|
| 環境教育               | ・環境問題の現状とその原因を調べて、一人一人が地球に与えている負荷を理解し、環境を守るために自分ができることを考え、解決策を実践していく力を育てる。        |
| 森林環境教育             | ・環境問題を解決するための方策を考える中で、森林の役割や森林を守ることの大切さを理解し、森林と人とが共生する社会を実現しようとする態度を育てる。          |
| 持続可能な開発のための教育(ESD) | ・環境問題と自分たちの暮らしとの関わりを見つめ、循環型社会や環境保全の必要性への理解を深めることを通して、持続可能な社会をつくる担い手としての資質や能力を育てる。 |

#### 4 単元の指導計画（19 時間扱い）

| 時間         |  | 主な学習活動・内容   | 育てたい資質・能力<br>◇自主・自律<br>◆人間関係<br>□社会参画<br>■未来の創造<br>★評価  | 指導上の留意点  |
|------------|--|---|---|--|
| 1次<br>(6)  | 問<br>い<br>を<br>も<br>つ                    | <p>【環境問題について話し合う】</p> <p>○環境問題について話し合う。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京都や日本の問題、地球規模の問題</li> <li>・自分たちの暮らしと関連した環境問題</li> </ul> <p>○自分が解決すべきと考える課題の設定に向け、どのような環境問題があるのか調べる。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大気汚染、水質汚濁、ヒートアイランド現象、オゾン層の破壊、自然環境の悪化 等</li> </ul> <p>○グループで課題を決定し、調べることや解決策を提案することの計画を立てる。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査や取材、現状把握と解決策の検討</li> </ul> | <p>◇問題発見・解決力</p> <p>★これまでの経験を生かし、環境問題を解決するための提案に向けた計画を立てている。</p> <p>◆他者と協働する力</p> <p>★課題解決に向けて様々な人の立場や考えを尊重し、協力し合っ<br/>て活動している。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの社会や理科、技術・家庭の学習と関連させながら、環境問題を想起させる。</li> <li>・東京都教育委員会「啓発資料（暮らしと環境）ホームページ」を参考として紹介する。<br/><a href="http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/buka/shidou/kan-kyo/index.html">http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/buka/shidou/kan-kyo/index.html</a></li> </ul> |
| 2次<br>(10) | 調<br>べ<br>る                              | <p>【解決策を調べたり、考えたりする】</p> <p>○計画に沿って、課題を調べる。(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題解決の重要性</li> <li>・自分たちの生活との関係</li> <li>・身近な取組事例 等</li> </ul> <p>○調べたことから解決策を話し合う。(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・結果のまとめと解決策の検討</li> <li>・実現可能な取組かどうかの検討</li> </ul> <p>○ポスターセッション形式の報告会に向けた準備を行う。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表原稿や提示資料の作成</li> </ul>                               | <p>□主体的に計画・行動する力</p> <p>★循環型社会の形成や環境保全に向けた方策を考えることで社会の一員としての自覚を深め、持続可能な社会の実現に向けて活動している。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの生活と関連付けた解決策を提案するように指導する。</li> <li>・自分たちが実際に取り組むことを前提として、提案事項を考えるように助言する。</li> </ul>   |
| 3次<br>(3)  | 振<br>り<br>返<br>る<br><br>実<br>践<br>す<br>る | <p>【解決策を提案し、みんなで実践する】</p> <p>○自分たちが考えた環境保全の取組や循環型社会を実現するための方策を、ポスターセッション形式で提案する。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他のグループの提案を聞く。</li> <li>・参観者との意見交換をする。</li> </ul> <p>○友達の提案を聞いて、自分が実際に取り組むことを作文にまとめる。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地球温暖化防止に向けたこまめな節電</li> <li>・水質汚濁防止に向けた食器の洗い方</li> <li>・ごみの削減に向けたマイバッグの携帯</li> </ul>   | <p>■持続可能な社会の実現に向けた実践力</p> <p>★環境問題の解決方法を自分の暮らしと関連付けて考えることで、自分たちができることを提案し、実践している。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各グループの方策の提案のよい点や改善点について、検討・議論するように指導する。</li> <li>・自分が実際に取り組むことを表現することで、環境に配慮した行動の実践化を図る。</li> </ul>  |

# 各学校の教育課程の編成における 本カリキュラムモデルの活用のポイント

12 頁の 2 (2) の「多様な教育課題の教育課程上の位置付けの考え方」で示したように、シティズンシップ教育、食育、環境教育、日本の伝統・文化理解教育等といった多様な教育課題の指導は、学習指導要領に示されている各教科等の内容と関連させて実施することが前提になります。

そのため、本カリキュラムモデルでは、多様な教育課題の指導で扱う内容の教育課程上の位置付けについて、【学校必修】と【学校選択】の考え方を示しています。

- **【学校必修】** …全ての学校で各教科等の指導において学習する内容
- **【学校選択】** …学校の教育活動の特色化を図るための取組に位置付け、  
**【学校必修】** で扱う内容を広げたり深めたりして学習する内容

このことを基本に据えて、各学校では、特色ある教育活動を進めていくために創意工夫して教育課程を編成・実施していくことが求められます。

ここでは、各学校の教育課程の編成における、本カリキュラムモデルの活用のポイントを示します。

## ポイント

①

多様な教育課題を【学校必修】〈標準授業時数内〉として指導するに当たって、どの教科等の内容と関連付けて実施するのか、また、どの時期に実施するのかといった、各教科等の年間指導計画を作成する際に、第2章で示した【学校必修】として扱っている、各教科等の年間指導計画例にある指導内容を参考にしてください。

## ポイント

②

学校の特色化を図るために、多様な教育課題を【学校選択】〈標準授業時数内〉として総合的な学習の時間で指導するに当たって、年間指導計画や単元の指導計画を作成する際に、第3章で示した【学校選択】として扱う、総合的な学習の時間の「カリキュラム市民」、「カリキュラム国際」、「カリキュラム環境」の中から、各学校が地域の特色や児童・生徒の実態に合ったカリキュラムを選択し、その年間指導計画例や単元の指導計画例を参考にしてください。

## 【カリキュラム・マネジメントを行うに当たっての留意事項】

1

カリキュラム・  
マネジメントとは

学校教育の目標に向けて、カリキュラムを編成・実施・評価し、改善を図る一連のサイクルを計画的・組織的に推進していく考え方であり、その手法です。

また、そのための条件づくり・整備であり、学校経営の中核に位置付くものです。

学校においては、カリキュラム・マネジメントの考え方を教員全体で共有することが重要です。

2

PDCAサイクルを  
確立すること

Plan (①) - Do (②・③) - Check (④) - Action (⑤) のPDCAサイクルに、学校教育の質を向上させる観点から、Plan では、①学習指導要領を踏まえた重点指導事項例の提示、Do では、②教師が児童・生徒と向き合う時間の確保などの教育条件の整備、③教員の共通理解に基づいた教育課程の編成・実施、Check では、④教育成果の適切な評価、Action では、⑤評価を踏まえた教育活動の改善を取り入れることが大切です。

3

教育活動を全体的に  
捉えること

学校には各教科等の指導計画や学級・学年における経営計画があり、また、道徳教育や人権教育、体育・健康に関する全体計画など、様々な計画が存在しています。

これらを束ねて教育課程全体を統括する機能をどのように創り出して維持していくかが、学校のマネジメントにおける重要な課題です。

そこで、教育課程全体を統括する機能を生み出し高めるために、まず、学習指導要領総則の内容を教員全体で共通理解を図ることが重要です。このような取組を行うことが、カリキュラム・マネジメントの環境を整える観点からも大切です。

4

カリキュラムを核に  
協働すること

教員一人一人に、カリキュラム編成の主体者であるという意識を醸成していくことは、学校のマネジメントにとって大きな課題です。

そのための手だてとして、それぞれの学級経営が学年経営や学校経営との関係において、また、教科等の授業が学年や学校全体の教育活動と、それぞれ相互に結び付いていることを認識させる働き掛けや環境づくりを通して、教員の意識を向上させていくことが重要です。

# 「カリキュラム市民」「カリキュラム国際」 「カリキュラム環境」を配置した年間指導計画例

市民

環境

国際

※本指導計画を参考にすることで、幅広い教育課題に対応した教育課程の編成が可能となる。

| 月           |                          | 4月   | 5月 | 6月  | 7月 | 8月 |
|-------------|--------------------------|--|----|---|----|----|
| 学年          | 全学年<br>共通で実施             |  |    | ふれあい月間<br>いじめ防止教育                         |    |    |
| 小<br>学<br>校 | 第3学年<br>(総合70<br>道35特35) | <p>〈夏の過ごし方を通して環境問題を考える〉●環境教育●再生可能エネルギー教育●持続可能な開発のための教育(ESD)●ICT教育</p> <p>【必修】○国語「説明や報告の発表」(2)<br/>○理科「生物とその周辺の環境との関係」「成長の過程や体のづくり」「風の働き」「光の性質」(30)<br/>○道徳「自然愛護」(1)</p> <p>【選択】★総合「緑のカーテンを作ろう」(24)</p>   |    |   |    |    |
|             | 第4学年<br>(総合70<br>道35特35) | <p>【選択】★学校の特色化を図るために、<br/>総合的な学習の時間で扱う内容</p>   |    | <p>【必修】各教科等において指導している<br/>教育課題に関連する内容</p> |    |    |
|             | 第5学年<br>(総合70<br>道35特35) | <p>〈自然の恵みに感謝する〉●環境教育●持続可能な開発のための教育(ESD)●森林環境教育●ICT教育</p> <p>【必修】○社会「水産資源の保護・育成」「食料生産と国民の食生活」「森林の役割」他(13)<br/>○家庭「身近な環境とのかかわり」「物の使い方の工夫」(8)<br/>○道徳「自然愛護」(1)</p> <p>【選択】★総合「米作りからのおくり物」(29)</p>   |    |   |    |    |
|             | 第6学年<br>(総合70<br>道35特35) |  |    |   |    |    |
| 中<br>学<br>校 | 第1学年<br>(総合50<br>道35特35) | <p>〈自然や風土が育む食文化〉●食育●環境教育●メディアリテラシー教育</p> <p>【必修】○国語「目的に応じた情報選択」(4)<br/>○社会「環境保全に対する意識や政策」(1)<br/>○技術・家庭「日常食の調理と地域の食文化」他(9)<br/>○道徳「自然愛護」(1) ○特活「望ましい食習慣の形成」(1)</p> <p>【選択】★総合「移動教室で訪れる地域の食文化を学ぶ」(14)</p>                                       |    |   |    |    |
|             | 第2学年<br>(総合70<br>道35特35) | <p>〈職場体験を通して自分の生き方を考える〉●キャリア教育●シティズンシップ教育●消費者教育●金融教育(金銭教育)</p> <p>【必修】○技術・家庭「消費者の基本的な権利と責任」「家庭生活と消費」(7)<br/>○道徳「遵法精神・公德心」「社会参画・公共の精神」(2)<br/>○特活「学ぶことと働くことの意義」「望ましい勤労観・職業観の形成」(2)</p> <p>【選択】★総合「自己実現を目指して」(33)</p>                            |    |   |    |    |
|             | 第3学年<br>(総合70<br>道35特35) | <p>〈伝統的な文化の価値を伝える〉●日本の伝統・文化理解教育●国際教育●ICT教育</p> <p>【必修】○国語「古典を読む」(9) ○社会「国際社会とのかかわり」「世界平和と人類の福祉の増大」(10)<br/>○数学「標本調査の方法」(2) ○美術「日本の伝統的な美術」(6)<br/>○音楽「我が国の伝統的な歌唱」「我が国や郷土の伝統音楽」(5)<br/>○道徳「国際理解・国際親善」(1)</p> <p>【選択】★総合「日本の伝統文化の価値を考えよう」(22)</p> |    |   |    |    |

※安全・防災・避難訓練については毎月実施(\*副読本「地震と安全」の活用[小3・小5・中1])

安全教育・防災教育

# 児童・生徒に「育てたい資質・能力」

## 自主・自律

- 学びに向かう力
- 問題発見・解決力
- 生活をよりよくする力

## 人間関係

- 対人関係力
- 人間関係形成力
- 他者と協働する力

## 社会参画

- 規範意識
- 主体的に計画・行動する力
- グローバル化に対応する力

## 未来の創造

- 命を大切にする力
- 新たな価値を創造する力
- 持続可能な社会の実現に向けた実践力

| 9月           | 10月  | 11月   | 12月          | 1月  | 2月  | 3月 |
|--------------|--|---|--------------|---|---|----|
| 防災週間<br>防災教育 |  | ふれあい月間<br>いじめ防止教育   | 人権週間<br>人権教育 |   | ふれあい月間<br>いじめ防止教育   |    |
| ●メディアリテラシー教育 | <b>〈町のバリアフリーを考える〉</b> ●福祉教育●シティズンシップ教育●ICT教育<br>【必修】○社会「働く人とわたしたちの暮らし」(4)<br>○道徳「規則の尊重」「公正・公平・社会正義」(2)<br>○特活「望ましい人間関係の形成」(1)<br>【選択】★総合「みんなにやさしい町」(12)  |   |              |   |   |    |
|              | <b>〈地球にやさしく〉</b> ●環境教育●持続可能な開発のための教育(ESD)●再生可能エネルギー教育●森林環境教育<br>【必修】○社会「ごみ処理やリサイクル」「ごみを減らす取組」他(11)<br>○理科「光電池の働き」(3)<br>○道徳「自然愛護」(1)<br>【選択】★総合「ごみの減量化プロジェクトをしよう」(14)                                  |   |              | <b>〈世界の国々の生活や文化を知る〉</b> ●国際教育●日本の伝統・文化理解教育●ICT教育<br>【必修】○国語「短歌」(2)<br>○社会「地域の発展に尽くした先人の具体的事例」(2)<br>○音楽「和楽器の音楽を含めた我が国の音楽」(7)<br>○道徳「国際理解・国際親善」(1)<br>【選択】★総合「世界の国々の生活・文化ガイドブックを作ろう」(14)             |   |    |
|              | <b>〈消費を通して自分を見つめる〉</b> ●金融教育(金銭教育)●消費者教育●シティズンシップ教育<br>【必修】○家庭「物や金銭の使い方と買物」(7)<br>○道徳「規則の尊重」「公正・公平・社会正義」(2)<br>【選択】★総合「私たちに掛かるお金はいくら」(16)  |   |              |   |   |    |
|              | <b>〈外国の人々との交流〉</b> ●国際教育●日本の伝統・文化理解教育<br>【必修】○国語「漢文」(1) ○社会「我が国の歴史」(20)<br>○音楽「和楽器の音楽を含めた我が国の音楽」(6) ○図工「我が国の美術作品」(1)<br>○道徳「国際理解・国際親善」(1)<br>○外国語活動「世界の様々な文字や祭・行事」等(4)<br>【選択】★総合「世界に広げよう おもてなしの心」(19) |   |              | <b>〈よりよい地域住民の一人として〉</b> ●シティズンシップ教育●租税教育●主権者教育●キャリア類<br>【必修】○社会「私たちの願いを実現する政治」(8)<br>「私たちの暮らしを守る日本国憲法」(7)<br>○道徳「規則の尊重」「公正・公平・社会正義」(2)<br>○特活「清掃などの当番活動等の役割と働くことの意義」(1)<br>【選択】★総合「これからの自分の暮らし」(13) |   |    |
|              | <b>〈町の暮らしをよくするために〉</b> ●シティズンシップ教育●防災教育●主権者教育●キャリア教育●住教育<br>【必修】○社会「自然災害と防災への努力」「地域の自然災害に応じた防災対策」<br>「調査の活動を通じた地域の課題の発見」(3)<br>○道徳「遵法精神・公德心」「社会参画・公共の精神」(2)<br>【選択】★総合「将来の町づくりのために」(19)                |   |              |   |   |    |
|              |  |   |              |   | <b>〈社会貢献の意義〉</b> ●福祉教育●シティズンシップ教育●ICT教育<br>【必修】○国語「適切な情報を得て、考えをまとめる」(3)<br>○理科「電気と電磁」(5) ○美術「映像メディアの活用」(1)<br>○道徳「遵法精神・公德心」「社会参画・公共の精神」(2)<br>○特活「社会の一員としての自覚と責任」(1)<br>「ボランティア活動の意義の理解と参加」(1)<br>【選択】★総合「ボランティアのすすめ」(20) |    |
|              |  | <b>〈社会を形成する一員として〉</b> ●シティズンシップ教育●キャリア教育●主権者教育●租税教育<br>【必修】○社会「私たちの生活と社会保障」「これからの日本の財政と納税」<br>「現代の民主政治」「住民としての地方の政治」「合意形成 きまりの意義」他(20)<br>○道徳「勤労」「遵法精神・公德心」「社会参画・公共の精神」(3)<br>○特活「望ましい勤労観・職業観の形成」「男女相互の理解と協力」(2)<br>【選択】★総合「20年後の私・未来の創造」(17) |              |   |   |    |

※それぞれの教育課題は、現在も各教科等の学習内容を通して指導しており、その内訳を上段の【必修】の枠に示した。【選択】の枠には、各学校が特色ある教育活動として、総合的な学習の時間に位置付けて加えて指導できるように、単元の指導計画例(★)を示した。なお、本カリキュラムモデルでは、複数の教育課題と教科等の指導を相互に関連付けて効果的な指導が行えるよう、それらをつなぐための(主題)を設けた。



---

(小学校・中学校) 多様な教育課題に対応したカリキュラムモデル  
東京都教職員研修センター 印刷物登録27年度 第2号

平成27年9月 発行

編集・発行 東京都教職員研修センター研修部 教育開発課  
所在地 〒113-0033 東京都文京区本郷一丁目3番3号  
電話 03(5802)0319

印刷所 株式会社シンソークリエイト  
所在地 〒161-0032 東京都新宿区中落合一丁目6番8号  
電話 03(3950)7235

